令和元年度　取組報告　　**春日中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**地域とのかかわりを大切にする子･自分を大切にする子･なかまを大切にする子･学習を大切にする子**

取組目標　**地域との交流やフェスタを通して、子どもたちが主役として活動することができるよう学校園と地域が協働して取り組むとともに、地域人材を積極的に活用する。**

今年度の取組紹介

地域交流事業である「せいびっ子祭り」、「スポーツinせいび」、「大安寺フェスタ」、「済美南フェスタ」、「春日ふれあい文化祭」などの各フェスティバルを校区内の小中学校で開催しました。（春日ふれあい文化祭は、台風接近のため１日に短縮開催。）これらの事業では、子どもを主役として地域と家庭、学校が協働して取り組んでいます。普段の学習ではなかなか経験できないようないろいろな体験を通して、子どもたちと地域の方々との交流を深めることができました。

また、青少年の健全育成を願い、地域から様々な立場の方々が集まって研修を行ったり、情報や意見の交流を行ったりする「地域別懇談会」が年に３回開催され、今年度で１１４回目を数えました。

さらに、清掃活動や図書館整備などの支援に多くの地域ボランティアの協力を得て取り組むことができました。

「春日ふれあい文化祭」

「第 114 回地域別懇談会」

今年度のまとめ

各フェスティバルでは、子どもたちが主役となり地域の方々と協力して生き生きと活動し交流している姿が見られました。地域の方々の「地域の子は地域で育てる」という想いのもと、各フェスティバルや地域別懇談会などに参加、協力していただくことにより、地域と学校とのつながりをより一層深めることができました。

子どもたちは、地域の方々の「子どもたちのために」と各事業に取り組んでくださる姿を目にして、地域の方々に見守られ育てられていることを感じ取ることができました。これらの取り組みを通して、子どもたちは自尊感情を醸成し、将来への目標や価値観を持てるようになりました。

来年度に向けて

今年度までの事業を検証し、より発展させることで、地域と学校園、家庭の連携をさらに強いものにしていきたいと考えています。また、地域人材の活用については、地域との連携を深めることで、新たな人材の発掘に取り組んでいきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立春日中学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域とのかかわりを大切にする子･自分を大切にする子･なかまを大切にする子･学習を大切にする子**

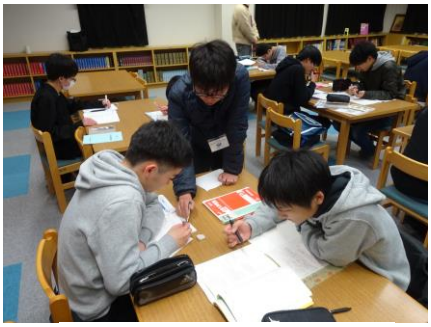
取組目標　**地域との交流やフェスタを通して、子どもたちが主役として活動することができるよう学校園と地域が協働して取り組むとともに、地域人材を積極的に活用する。**

今年度の取組紹介

学習活動支援事業として、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図るための放課後学習会である「わかるわかる学習会」やキャリア教育としての「福祉体験」、「職場体験」などの各種体験学習に取り組みました。

また、バドミントン部やギターマンドリン部などが小学校や保育園、福祉施設などを訪問して交流する「出前で部活」にも取り組みました。

「わかるわかる学習会」は、基礎学力の定着を図る「こつこつコース」、発展的な学習に取り組む「どんどんコース」に分かれて学習に取り組んでいます。自学自習を基本としますが、大学生を中心としたボランティアスタッフにアドバイスをもらいながら熱心に学習に取り組んでいました。また、「出前で部活」では、スポーツや文化活動を通して小学生や地域の方々と交流することにより、学校では体験できないさまざまなことを学ぶよい機会となりました。



「わかるわかる学習会」

「出前で部活」

今年度のまとめ

学ぶ意欲のある生徒からの「勉強がわかるようになりたい」という思いを受けて始まった「わかるわかる学習会」も１０年の節目を迎えました。生徒たちは、ボランティアスタッフとともに学習に取り組み、「勉強がわかるようになった」と実感するとともに、自信が芽生え、学習意欲の向上につなげることができました。また、「出前で部活」では、小学生や地域の方々と触れ合うことで、「自分も役に立っている」、「周りから頼られている」といった自尊感情を醸成するうえで大きな成果を上げることができました。

来年度に向けて

今年度の取組への成果と課題をふまえ、来年度も「わかるわかる学習会」や「各種体験学習」などの学習活動支援事業や「出前で部活」などの地域交流事業に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立済美小学校運営委員会**

めざす子ども像

〇地域とのかかわりを大切にする子

〇自分を大切にする子

〇なかまを大切にする子

〇学習を大切にする子

取組目標

済美の町と人、そして奈良の町と人と関わる体験活動を行うことで、地域に誇りを持つ取組を進めていく。

今年度の取組紹介

全学年　「読み聞かせ」

地域の方々に読み聞かせ活動をしていただきました。子どもたちは、この読み聞かせの時間を毎回とても楽しみにしていました。教卓にテーブルクロスを敷き、大きな蠟燭を立てるなど物語の世界へ誘う様々な工夫をして下さいました。この読み聞かせ活動を通して、本の楽しさを知るとともに、思いやりの心も育てていただきました。

全学年　「ありがとう集会」

今年度は、全校児童による歌、６年生を中心とした劇やスライドを使用した安全を呼びかける取り組みの発表を行い、地域の方々へ感謝の気持ちを伝えました。最後には、児童が作ったプレゼントを受け取っていただきました。子どもたちは、この機会に改めて日々地域の方々にお世話になっていることを実感し、感謝の気持ちで心がいっぱいになった時間を過ごしました。

今年度のまとめ

今年度も、「学校は、地域と連携して、教育を進めようとしている」という項目で高い評価をいただきました。地域の方々の支援・協力のおかげで、多くの児童が自分たちの住む地域に愛着を持ち、誇りに思う心を育んでいます。

来年度に向けて

これからも、地域連携を大切にし、児童の心を豊かに育み、「済美・奈良を誇りに思う子ども」を育てる取り組みを進めていきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立大安寺小学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域とのかかわりを大切にする子**
自分を大切にする子
なかまを大切にする子
学習を大切にする子

取組目標　**大安寺っ子，地域で学び，つながろう**

今年度の取組紹介

今年度も昨年度に引き続き，地域交流事業として「大安寺から学ぶ」に取り組みました。万年青年クラブなど各種団体はじめ，地域の民生委員やたくさんの地域の方々との出会いや関わりを通じて，交流を深め，体験学習ができました。　1年生は，「昔あそび体験」で，あやとり・けん玉・おはじき・カルタなどを教えていただきました。2年生は，身近な大安寺を見学したり笹酒祭りに参加したりしました。3年生では，社会科の「昔の暮らしや道具」学習の中で，地域の方々とともに七輪を使ってかきもちを焼いて一緒にいただきました。4年生は，春日中の夜間学級のみなさんを招き，「学ぶこと」の意味や大切さを学習しました。5年生は，「米作り」に取り組み，田植えから稲刈りまでを体験し，収穫したお米をいただきました。6年生は大安寺地区敬老会へ参加しました。「地域・仕事に学ぶ」事業では，「今，自分たちが何をすべきか・何ができるのか」を考えました。

今年度は，各学年で「地元　大安寺」と交流し，学ぶということにも取り組みました。今年度の取組の成果をもとに来年度はしっかりとした計画を立て，さらに深いつながりができるようにできればと考えています。

今年度のまとめ　　今年度も年間を通じて，たくさんの地域の方々のご協力をいただき，校庭や中庭の環境整備ができました。昨年度結成した「チーム大安寺」を中心に，教育環境支援事業として校舎内（廊下の壁のペンキ塗り）・外の環境整備もさらに進めることができました。学習活動支援事業では，家庭科の授業での実習補助として授業に入っていただきました。さらに，学校図書館の整備活動を進めることができたことにより，図書室を訪れる児童が増えました。児童が，この地域で学んだことを誇れるように，様々な「地域の人」との出会いや関わりを意図的につくり，交流を深め，体験学習に取り組んでいきたいと考えています。今後もこの取組を大切にし，充実させていきたいと考えています。

来年度に向けて　　校区・地域の様々な方々との交流を大切にし，地域の事や伝統・文化について学び，地域社会から学ぶことの大切さを身につけ，児童自身が自分が生活している地域について，誇りを持って語れるように，育んでいきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立済美南小学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域とのかかわりを大切にする子/自分を大切にする子/なかまを大切にする子/学習を大切にする子**

取組目標　**教育環境支援事業、学習活動支援事業等での、地域の方々とのふれ合いを通して基本的生活習慣や規範意識を育んでいく。また、子どもとの関わりを通して、子どもと地域、学校と地域、地域同士のつながりを深めていく。**

【今年度の取組紹介】

今年度、「チーム済南」は、昔遊び教室や校区探検(安全マップたんけんたい)でも、多くの方にご協力いただき、学習活動支援ボランティアとして子どもたちに指導していただくことができました。また、昨年度までの取り組みを継続し、家庭科クラブ、室内ゲームクラブ、パソコンクラブで、ボランティアとして地域の方に教えていただきました。

子どもたちは、優しく教えていただけることで地域の方々との会話が弾み、楽しい活動を通して地域の方々のぬくもりを感じることができました。ボランティアの方々は、子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちの思いを受け止めながら、それぞれの子どもたちに丁寧に助言してくださいました。地域の方々には、授業の様子や児童の真剣な態度にふれることで学校をより身近に感じていただくよい機会となりました。

【安全マップたんけんたい(2年)】

教育環境支援活動でも、たくさんの地域の方に集まっていただき、花壇やプランターの手入れ樹木の剪定等、子どもたちとともにきれいにしてくださいました。また、運動会前には、児童会活動の石拾い集会に合わせて、運動場の草引き・草刈りをしてくださいました。年間を通じて花壇のきれいな花で子どもたちを迎え、見守り続けてくださっています。

【親子・地域学校環境整備】

今年度のまとめ

今年度も地域の多くの方が「チーム済南」として、子どもたちに関わって下さいました。大変精力的に活動していただいた事で、子どもたちは地域の方々に親しみを持って楽しく活動することができました。子どもたちの自尊感情を高めるために、挨拶や一緒に活動することを大事にして自己効力感を持てるように取り組みを進めてきました。学校と地域が協力して積み重ねてきた取組の結果が、わずかではありますが、子どもたちの自信を持った思いやりのある行動に表れ始めています。

来年度に向けて

地域の子どもたちの健全育成のため、「チーム済南」の活動をより一層広げていきたいと思います。ホームページや学校便りを活用し取組や成果をより積極的に地域に向けて発信したいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立済美幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**〇地域とのかかわりを大切にする子　〇自分を大切にする子**
〇なかまを大切にする子　〇学習を大切にする子

取組目標　**子ども達にとって地域とのつながりを意識できるふれあい活動事業を中心に、様々な体験や経験を通して地域とのつながりを強く感じられる取組を行う。**

今年度の取組紹介

◆済美幼稚園ならではの取組があります。『ならまちたんけん』です。地域の方に案内してもらい、十念寺・鳴川地蔵堂・庚申堂・からくりおもちゃ館、元興寺・興福寺などをめぐります。子ども達は地域の方からその由来や言い伝えを聞いたり、時には触れたりしながら興味を持って見ていました。身近にある地域の良さを見たり聞いたり体験したりすることでいろんな事を知ることができました。また、保護者も一緒に参加する姿が見えています。今後も、子ども達にとって地域が、地域の方々が身近に感じ取れ、小学校での世界遺産学習につないでいけるものにしていきたいものです。

◆『新年を祝うお茶会』は、子ども達にとっては厳かな中で日本の伝統文化に触れる体験です。地域の方々が、フルートと琴の生演奏を聴かせてくれます。続いて、地域のお茶の先生に作法を見せてもらったり、お茶の点て方を学んだりします。その後、５歳児はお茶を点てて味わいます。緊張しながらも、「たてるのはむずかしかった。」「ちょっとにがいけど、おいしかった。」「もっと飲んでみたい。」と、感想を出していました。

今年度のまとめ

子ども達にとって、地域とのつながりを意識できる活動（「ならまちたんけん」・「新年を祝うお茶会」・「いきいき済美っ子」・「親子花苗植え」・「絵本の読み聞かせ」・「子育て支援」・「ダンス・サッカークラブ」・「昔遊び」・「押し花教室」等）を今年度も地域の方からの支援をいただきました。たくさんの方々とのかかわりを通して、子ども達に豊かな心が育ってきています。また、自分たちで遊びや生活を進めていこうとする気持ちを持てるようになってきました。保護者からは、「ならまちたんけんや昔遊び、お茶会等親が教えられないことを地域の方から学んで貴重な体験をさせてもらっている」という意見が多く聞かれるようになっています。子ども達は、さまざまな経験から、思いやりの心・挑戦する心を持てるようになってきていると感じています。

来年度に向けて

地域の方々から多くのことを学び、引き続き幼稚園が地域の子育て支援の拠点となるよう、取組の精選を含めて、連携をさらに深めていきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立大安寺幼稚園運営委員会**

めざす子ども像

〇地域とのかかわりを大切にする子
〇自分を大切にする子
〇なかまを大切にする子
〇学習を大切にする子

取組目標　**家庭・地域・幼稚園が一緒になって子育ての大切さや楽しさを感じる**

【今年度の取組紹介】

地域・親子ふれあい事業として、ＰＴＡとの共催で「幼稚園祭り」を行いました。今年度は、園児や未就園児が手作り神輿を担ぎ、「わっしょい、わっしょい」と元気いっぱい声を響かせ、園周辺の道路や小学校までの道のりを歩きました。職場体験に来ていた春日中学校の生徒や未就園児も、園児と一緒に歩きました。当日は、地域や保護者の方々が「わっしょいわっしょい」と掛け声をかけたり一緒に歩いて盛り上げてくださったりしたので、子どもたちは、お祭りのにぎわいを感じ楽しみながら歩くことができました。大安寺小学校では校長先生や子どもたちに迎えて頂き、自分たちの作った神輿について得意げに話をしたり、力強く担ぐ様子を見せたりしました。小学校までの沿道は大安寺地区自治連合会の役員の方々が警備に出てくださり、安全確保のためにご協力いただきました。園に戻ってからは、保護者の方々が準備してくださった遊びコーナーを巡ったり、民生児童委員の方々と一緒にげたぽっくりや羽根つきなどの昔遊びをしたりして、楽しく遊ぶことができました。多くの方々にご協力頂いたおかげで子どもたちは、素敵な一日を過ごすことができました。

【今年度のまとめ】

今年度も地域の方の協力を得ながら楽しく学び活動したことで、幼稚園祭りをはじめ、万年青年クラブの方々とのふれあい会・お茶会・キッズサッカー・菜園活動・未就園児子育て支援など様々な活動が充実した取り組みとなりました。普段一緒に生活をしている人以外とのいろいろな経験や、専門的な知識をもつ人々と触れ合い、一緒に過ごすことで、子どもたちは人の温かさや受け止めてもらえる喜びを実感することができ、この経験を更なる「話したい気持ちやかかわりたい気持ち」へとつなげることができました。地域の方々を含め多くの人との温かいかかわりは、子どもたちの意欲的に行動をする姿となり、この経験を普段の遊びや行事の中に進んで取り入れ楽しむ姿が見られました。

【来年度に向けて】

今年度の取り組みの一つとして、絵本の部屋を落ち着いた空間へと整え新書を購入させていただきました。引き続き、絵本を通した親子の触れ合いや情操教育面に力を注いでいきたいと考えています。今後も地域の方とのかかわりの中で得たことをもとに、子どもたちが自己を十分に表現しながら、様々な経験や普段の遊びの中で力を発揮できるようにしていきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　三笠中学校区地域教育協議会

めざす子ども像　**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標　**合言葉を『三笠はひとつ、三笠はならのまほろば』とし、奈良の中心地としての伝統や文化・誇りを再確認し、新たな郷土愛や誇りを育む**

【今年度の取組紹介】

○子ども未来会議

「これからのメディアの活かし方」をテーマに、はぐくみセンターにて開催、情報を受け取るだけでなく発信するすべでもある現代のメディア、その活用法や未来について考え、意見交換を行いました。後半の全体会では、三笠中学校の卒業生の司会によって各グループの討議の様子や出された意見、様々な楽しいメディアの活用法が発表されました。

○なら三笠まほろば文化祭

幼稚園・小学校・中学校・地域の文化交流会を 100 年会館で開催しました。日頃の練習の成果を存分に発揮、客席からは拍手や声援が送られ、子どもたちは素晴らしい出会いと感動を感じることができました。また、司会や進行、裏方の仕事を地域の方と中学生が「協働」で行い、三笠中学校区の子どもたちが大きな達成感を味わえるイベントとなりました。

【今年度のまとめ】

今年度も、ドッジボール大会により学校間の交流を深めたり、校区内の幼小中で「ノーメディアデー」キャンペーンや「思いやり」あふれるメッセージの取組を実施し、各家庭への働きかけを行ったり、未来会議を通じて、大人と意見交流をして自分の考えを伝えたり、100 年会館の大ホールで日頃練習してきた成果を披露したり、様々な視点で地域の子どもたちへの取組を進めていくことができました。各事業とも回を重ね、コーディネーターの動きもスムーズに行われています。さらに運営も小学校区ごとにもち回り、各々スキルアップしています。今年度も、校区内の教職員と地域の合同研修の実施など教職員の意識改革を推進していく取組も行いました。これらの事業や日々の活動を三笠中学校のＨＰや広報紙「三笠はひとつ」の発行などを通し広く情報公開に努めました。

【来年度に向けて】

本年度、事業がスタートして 10 年目となる節目の年を迎えました。各事業をさらに魅力あるものとするため、「事業を共に作っていく」という参加者の協働意識を育めるよう各事業に取り組んでいきます。また、地域の方も各種団体の委員を兼ねている方が多く、教職員の人事異動も考えると関わる人材の裾野を広げ、幅広い方々に関わっていただけるよう展開していく必要があります。今年はいくつかの事業で三笠中学校の OB、OG が運営スタッフとして参加してくれました。各事業の継承、運営する人材の確保という観点からも、これからの取組の情報発信により力をいれ、さらに地域と共にある学校づくりに努めていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立三笠中学校運営委員会**

めざす子ども像　**郷土を愛し 夢と希望をもち 自分自身に誇りをもって 未来を切りひらく子ども**

取組目標　**保護者・地域と連携し特色ある学校・地域づくりを協働する。**

今年度の取組紹介

本校は地域教育協議会を『コミュニティ・スクール』の四つの部会である「学び支援」「育ち支援」「地域連携」「学校評価」の実働組織である「地域連携」として位置づけ活動しています。部会は、学校の教育目標を学校・家庭・地域で共有し、組織的・機能的に運営していくことで職員、保護者、地域の協働意識を高めるとともに、生徒の抱かえている課題をそれぞれの立場で把握し、具体的な活動に取り組み、課題の解決に努めています。教員が子どもと向き合う時間確保のため、図書ボランティア、放課後や土曜日などの課外授業から、キャリア教育など教育課程内にも支援を広げています。さまざまな実社会で経験を持つ大人が工夫を凝らした授業を展開することにより、子どもだけでなく教員も課題解決力の向上や、明確な教員としての目的意識・責任感を養うことにつながっています。また、地域行事・清掃活動等に参加し、地域の方々との活動を通して、社会性やコミュニケーション能力を育み「生きる力」を培ってきています。特に進路に向けた面接練習として、企業勤務経験者などの地域住民が、面接官となり、目前の高校進学だけでなく勤労観・職業観を養い、社会自立をしていくことに対する目的意識を持たせることにつながっています。

（土曜学校）

（労働に学ぶ）

（面接練習）

今年度のまとめ

生徒が地域に出向いてボランティア活動を行い、地域の中で存在感を発揮することによって、地域や周りの方々に喜んでもらえるだけでなく、自分自身をさらに成長させることができました。地域行事等では、参加して楽しむだけの側ではなく、地域の大人や教員と一緒に運営・主催する立場として参加し、司会をはじめとする運営スタッフとして地域に貢献しました。このような活動を通して、多くの大人たちに評価をいただき、自己有用感を味わい、地域や保護者の方々に支えられながら、生徒ひとりひとりが育ち成長することにつながりました。

来年度に向けて

これまで培った地域コミュニティでの協働体制を大切にし、子どもたちのため、学校や地域のために活動することを通して、『みんなで支え、みんなで育てる』と同時に『学校・地域のみんなが育つ』ための核となる組織づくりを目標にさらに取り組んでいきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立椿井小学校運営委員会**

めざす子ども像　**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標　**世界にはばたく世界で活きる椿井っ子**

今年度の取組紹介

奈良の中心部に位置し、多くの寺社や観光名所が校区内にある本校は、長い歴史と伝統を有する学校であり、地域の方は愛校心が強く、また学校教育に対する関心も高いです。そのため何事にも協力的です。こういった素晴らしい環境や地域の教育力を生かし、自分たちのまちに誇りをもつとともに、積極的に活動し、表現や発信のできる児童の育成を目指して取組を進めました。

今年度は今までの取り組みを踏襲する形で事業を進めました。名人に学ぶ事業、手話交流会では1年を通じて地域の方においでいただき、ゲームや歌を通じて手話に親しむ活動を行っていただきました。コミュニケーションの一つの手段として手話に触れるというのは、児童にとって大変有意義な活動となりました。また名人に学ぶ事業では、普段からお世話になっている民生児童委員の地域の方を講師にお招きして、おん祭りについてお話を聞かせていただきました。

手話交流会

おん祭りのお話

今年度のまとめ

学校の教育活動に非常に協力的な地域の方々に支えられて取組を進めていくことができています。校区の椿井小学校のためならばと、講師等を引き受けていただきました。「環境を整える」事業においても、学校や地域を大切に思う方々の存在に子どもたちが改めて気づき、感謝する気持ちを育てることができました。

来年度に向けて

来年度は、今まで続けてきた取組の見直しを行い、継続を基本線として可能な範囲での精選を検討していきます。これまで協力していただいた地域の方々を大切にしながらも、新たな地域人材の活用など取組をより発展させ、本校の教育目標の達成をはかれるようにしていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立大宮小学校運営委員会**

めざす子ども像　**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標　**夢を持ち、夢を語り、夢を叶える たくましい子どもを育てる大宮アクション**

今年度の取組紹介

＜大宮まつり　キッザニア ｉｎ大宮まつり＞

・「子ども盆踊り」を楽しむ地域の方とともに、計画を含め祭りに参加・参画することで、地域の人たちとふれあい、体験を通して自ら進んで実践できる力を培うことを目的として行っています。今年度は祭り当日、心配していた雨が上がり、子どもたちが計画段階から活動に参加したキッザニアはたいへん賑わいました。

＜ふれあい会＞

・６年生が世界遺産学習で学んだことを地域の高齢者を招いて発表会を行い交流しました。

＜大宮未来塾＞

・夏休みと冬休みに自主学習会を開きました。大学生も含めた地域の方々が、自分たちで復習を進める子どもたちをサポートしてくださいました。

＜学校園応援サポーター＞

・２年生の地域の名人さんに学ぶ学習や６年生の平和学習、校外学習時や休み時間の見守り、児童の学習の補助などの支援を行っていただきました。

今年度のまとめ

・地域の方々との交流や協働を通して、多くの人とのつながりの中で生きているということに気付き、大宮を誇りに思い、大宮小学校で学んで良かったと思える児童が増えてきています。また、地域主体のキャリア教育である「キッザニア in 大宮まつり」等を通して、自分もこの大宮地域の一員であることを自覚するとともに、自ら考え、行動する児童の育ちも現れてきています。
・高齢者の方々とのふれあいを通して、地域の方に喜んでもらえることは、自分の幸せにつながるということに気付き、地域のためにできることを考えていこうとする意識が醸成されつつあります。

来年度に向けて

・児童がアイディアを発信し、企画などに参加・参画していく活動を地域の方々と協働で一層充実させ、自分たちができることを考え、行動できる児童の育成を今後も図っていきます。
・今後さらに地域の方と一緒に活動する場面を増やし、大宮を誇りに思い、大宮小で学んで良かったと思える児童を増やす取組を行っていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立大安寺西小学校運営委員会**

めざす子ども像　**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標　**自尊感情をもち、地域・仲間とつながって健やかに生きる児童を育成するための地域教材や人材を生かした取組の充実**

今年度の取組紹介

本校の取り組みの特色の１つであるのが、「雅楽体験」を取り入れた音楽教育を活用した教育活動です。今年は、より学習を深め、実際に演奏をしたい有志の児童が対象となりました。南都楽所の講師の先生の指導も受けながら、取り組むことができました。日本の伝統芸術文化を体験できる貴重な機会になっているのはもちろんですが、大西小の伝統を受け継ぐ誇りを感じ、地域・仲間とつながる思いを味わうことができています。

また、本校の前を流れる佐保川とその自然環境をテーマにした「佐保川環境学習」にも継続して取り組んでいます。１学期の３年生佐保川環境学習に地域の方を講師としてお招きし、自らが住む「ふるさとの川」としてのお話を聞く取り組みも定着しています。11 月の「川辺のまちづくり」と並行して行う川辺の学習会には今年も数多くの児童が参加し、保護者・地域の方とともに魚や水辺の生き物を捕獲し観察しました。地域の方々と共に行う「佐保川清掃」活動なども含め、「わが町を流れるふるさとの川を大切に思う心」を育むことができ、「大好きな大西小を誇りに思う心」の育みにつながっていることを実感する取り組みとなっています。

今年度のまとめ

豊富な行事に学年間で参加体制を調整し、地域の環境保全の取組や行事を各学年の教育課程に効果的に組み込んで実施できました。美しい佐保川の川辺で四季を通じて集えるのは、「佐保川清掃」をはじめとする日頃の様々な取組があってのことという保護者・児童の意識の広がりをさらに定着させていきたいと考えています。

また、一年を通してクラブ活動・体験学習・読書活動・実技指導支援等幅広い内容で地域の方々に協力していただき、充実した学習活動が展開できました。第７回目を迎えた校区成人式ではなつかしい校舎に集い、地域の方とともに和やかなひとときを過ごしました。

来年度に向けて

地域の高齢化などに伴い、地域人材の確保が厳しくなっている状況があります。一昨年度から始めた「地域ボランティア募集」の呼びかけをさらに充実していきたいと思います。また、各取り組みを今後も継続して無理なく発展・充実させていく上でも、地域・学校・家庭とが熟議を重ねながら、より効率的かつ効果的な事業となるよう、今後も検証・改善を行い、地域・学校・家庭が一体となり、『ふるさとを誇りに思い、大切にする心』を育んでいきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立佐保川小学校運営委員会**

めざす子ども像　**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標　**地域にある自然環境や文化的歴史遺産、さらには、地域の豊かな人材を活用しながら、心豊かで人や物にやさしく、地域を愛する子どもを育む。**

今年度の取組紹介

1　地域と共におこなう佐保川清掃活動

佐保川の環境を守る活動として、地域の方々と共同で取り組む佐保川清掃は、生きた学習環境を提供してくれる佐保川をみんなで大切にする心を育みます。そして、この気持ちを地域の方々とつなげる大切な取組でもあります。今年度も、3 年生以上の本校児童が月曜日の清掃時間に集まり、佐保川の掃除をしました。

2　とんど焼き

児童支援団体チェリーネットを中心に自治会や PTA の皆さんの協力で、今年も1月15日（水）に、とんど焼きを行うことができました。行事のお知らせから竹の切り出し、わらの手配、竹組み、正月飾りの処理など、様々な準備を共同で行うことができました。全校児童が見ている中、大きな炎が燃え上がりました。初めて竹のはぜる音を聞いた子どもたちは、その音にも驚いていました。地域行事を学校行事として行うことで、子どもたちと地域の協力者との距離が今まで以上に縮まりました。

今年度のまとめ

日々の登下校時の見守り活動、本の読み聞かせ、昔遊び体験やミシン授業のお手伝い、平城宮跡でのマラソン大会納会における安全確保のための引率などを通して、子どもたちがより身近に地域の方々と接し、感謝の気持ちを育てる取組を進めることができました。今後も、地域と学校との繋がりを深める行事や事業を進めていきたいと考えます。

来年度に向けて

子どもたちの学習活動や学校行事は、地域の方々からの多くの支援もあり、成り立っています。今後も、コミュニティスクールとして小中一貫教育を推進する上で、地域の各種団体や自治会などとの連携を密にし、佐保川小学校の校区を愛し、校区に誇りをもつ子を育ててきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立大宮幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標　**地域の人材や教育力をいかした多様な体験活動を進めながら、人とかかわる楽しさを感じ、豊かな感性やたくましい心を育む取組の充実**

【今年度の取組紹介】

《子育て支援事業より》

『音楽に親しもう』と題して、『マリオネット&ミュージック』劇団の方に来ていただき、人形劇を楽しみました。園児、保護者、未就園児の親子、地域の方もご招待し、一緒に観劇しました。動物やキャラクターなど、生きているかのように音楽に合わせて動く様はとてもコミカル且つリアリティーがあり、話や歌の世界に吸い込まれるように、見入っていました。また、人形の動きやマジックショーにも仕掛けがあり、後日の生活発表会でも子ども達が真似て活動するなど、とても有意義な活動内容でした。今回、地域の方や未就園児親子も一緒に観劇できたことは、地域の方々に地域で決める学校予算事業を知っていただく良い機会となりました。

《地域で学ぼう事業より》

『イングリッシュを楽しもう』と題して、地域で活躍されているゲストティーチャーに来ていただき、6・10・12 月の年 3 回実施しました。毎回季節や行事を踏まえ、趣向を凝らした内容で子ども達もとても楽しみにしています。10 月のハロウィンや、12 月のクリスマスなど、子ども達の身近で親しみのある行事に出てくるものや、人、動物などの名前を音楽に合わせ声に出して発音したり、動きを英語で発言し、体で覚えたりと、目で見て、体で感じ、全身で楽しんでいます。地域の方の教育力をお借りしながら、異文化について親しみの気持ちをもつことができました。

【今年度のまとめ】

地域の方の協力を得て、今年度も多様な体験活動を計画実施しました。大宮地域ならではの体験活動に重点を置きながら、地域の方と関わり、親しみの気持ちをもてるようなコミュニケーション力の向上にもつながりました。また、子育て支援事業については、日曜参観や未就園児の親子体操教室、在園児・保護者・未就園児・地域の方の音楽に親しもう活動『マリオネット&ミュージック』など、保護者や地域の方々を巻き込んだ取組を実施できたことで、保護者アンケートの『園は保護者や地域の方々と連携して、子どもを育てようとしている（地域で決める学校予算事業なども含む)』という項目で『そう思う、まあそう思う』に 100%の回答を得ることができました。

【来年度に向けて】

地域の方々の協力や支援をいただきながら、充実した体験活動を実施することができました。来年度も事業を継続しながら、子ども達が地域の方に親しみを感じ、人と関わることで得られる喜びや温かさ、安心感が大宮で生活する子ども達の心の糧となり、地域・家庭・幼稚園とが連携し、めざす子ども像に向けて努力していきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立大安寺西幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標　**様々な環境に関わり心を動かす感動体験を通して、たくましい心と体・豊かな感性をはぐくむための遊びの創造。**

今年度の取組紹介

〔音楽触れ合い事業〕

子どもたちに豊かな感性をはぐくみ、音楽を通して親子で触れ合う機会を持ちたいと考え、土曜参観に親子で楽しめる「ミュージックケア」を実施しました。最初は少し緊張もありましたが、リズムにあわせて自然に身体を動かしたり、楽器を使って楽しんだりする経験ができ、保護者の方々も子どもたちと一緒に心も身体もほぐれて楽しい時間を共有することができました。終わってからも日々の保育の中に、歌やリズム表現、楽器遊び等を取り入れ楽しんでいます。

（体力づくり事業）

地域を拠点に活動している、グラミーゴ主催の「チャレンジクラブ」（サッカー教室）を行いました。日頃から体を動かして活動することが年々減少していて、子どもたちの体力づくりのため、「ボールとおともだちになろう」から始めていただきました。足の間を転がしたり、ボールと一緒に散歩に出かけたり、楽しみながら親しんで経験することができました。
最後の時には、保護者の方々にも参観してもらい、降園時の会話も弾みました。

今年度のまとめ

様々な方々と触れ合い交流することで温かい心が育ち、人と関わる心地よさを味わうことができました。地域の方々の協力のおかげで体力づくり・お茶・英語・わらべうたと幼児期に必要な体験が幅広く積み重ねることができました。今年度は保護者も一緒に活動できる事業を計画したことで、保護者の理解を得、協力体制も整いつつあります。保護者の方の地域や事業への意識に少し変容がみられた様に感じています。また、ホームページや地域の会合等で園生活の様子や園児の成長を発信してきたことが、“地域の中の幼稚園”としてより地域の方々の理解や協力を得られたと思っています。

来年度に向けて

地域の方や保護者も園児の成長を感じ、高い評価と共に事業の継続を望む声が届いています。回数や行事の精選を考えながら地域の方との打ち合わせを丁寧にしていきたいと考えています。今年度の成果を受けて保護者も一緒に参加できる活動を考えていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立若草中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標　**『奈良を知る　地域を知る』－世界遺産と環境－**
～クロスオーバー若草　点から線へ、線から面へ～

今年度の取組紹介

・地域合同文化講演会

今年度は、若草中学校元教員の北村雅昭先生を講師にお招きし「松永久秀と多聞城」と題し、ご講演いただきました。戦国大名である松永久秀がこの地に多聞城を築いたことや織田信長などの歴史上の人物が訪れた際の逸話など大変興味深い貴重なお話をしていただきました。生まれ育った地域に対する誇りと深い学びをいただきました。地域外の方々も多く参加され熱心に講演を聴かれておられました。

・コーディネーター会議

年間6回の「地域コーディネーター会議」を継続して開催し、和やかに活動することができました。地域のコーディネーターが集まり情報交換や意見交換することでよりつながりが深まってきていることを実感できました。

今年度のまとめ

今年度も地域コーディネーター会議の実施や 10 回目を迎える地域合同文化講演会の開催など計画どおりの活動ができました。これらの長年の継続的な活動に対して文部科学省から文部科学大臣表彰をいただいたことは地域にとっても誇りであり大変喜ばしいことでした。地域と学校、地域と地域の連携をさらに深め人々のつながりをつくっていきたいと考えています。

来年度に向けて

・地域コーディネーター会議の開催により、コーディネーターのつながりをさらに深めていきます。
・地域の歴史を学んだり地域のことをよく知った人材の発掘等をすすめキャリア教育に繋げていけるよう地域全体の理解を深める取り組みを模索していきます。
・広報活動を活性化し、幅広く地域を知ってもらう機会を持ちます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立若草中学校運営委員会**

めざす子ども像　**生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標　・学びをはぐくむ

今年度の取組紹介

〇学習支援

・学習支援冊子「学びのはぐくみ」の作成・配布

・「中３学習会」ボランティア

３年生では進路実現に向けてより確かな学力をつけるために地域ボランティアに協力いただき学習会を行っています。

〇地域と共に取り組む行事

・「ゲストティーチャー」から学ぶ

２年生で職場体験の事前学習会、障がい者理解講演会にゲストティーチャーをお迎えし、学びました。

〇環境整備

・「図書室と校地環境の整備」

PTA や地域の方々がボランティアとして図書室の蔵書整備や飾り付け、校舎壁面のペンキ塗り、季節の花の植え替えなど生徒と共に学習環境をより美しく整備していただきました。

〇安全支援

・学校行事等の見守りや「部活動巡回ボランティア」

学校行事や部活動の場に顧問が付けない職員会議時など、保護者が巡回ボランティアとして見守っていただいています。見守り活動をしていただきました。

今年度のまとめ

保護者･地域の方々に学校にきていただいて生徒の様子を見ていただき、学習環境の整備など多くの支援をしていただきました。また、生徒たちはゲストティーチャーなど多方面でご活躍の方々から多くのことを学ぶことができました。支援事業を通じて地域の方々とのつながりを感じながら将来に向けての学びをはぐくんでいくことができました。

来年度に向けて

来年度も地域コーデーネーターをはじめ地域の方々との連携をより深め、生徒たちが将来の進路選択に向けての学びをはぐくんでいけるよう継続的な支援をしていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立鼓阪小学校運営委員会**

めざす子ども像　**生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標　**自分たちの育った校区に誇りを持ち、その素晴らしさを校区内外に発信し、より地域のきずなを深め合えるようにする**

☆今年度の取組紹介

・つざかフェスタ（地域連携事業発表会）を通して

本校は、低学年は生活科、中学年・高学年はつざかタイム（総合的な学習の時間）で、自分たちが知り得たことや地域の方から教えていただいたことを基に、自分たちの考えや思いをこのフェスタで発信しました。１・２年生は「本を読む」をテーマに『日本むかし話を読んでみよう。声に出して読んでみよう。日本の昔話を知ろう。』を目標に練習し、昔話の朗読と演技を発表しました。また、鼓阪の馴染みの鹿についてのお話と鹿苑での学びも伝えました。３・４年生は「大切な命を守るために」をテーマに消防と警察について、学習し、私たちの『大切な命を守るために』できること・知ってほしいことをミニ劇やクイズを通して発表しました。５年生は「夢を信じて」をテーマに、今、がんばっていること、今、目指していること、今、大切にしたいことにスポットを当てた発表をしました。６年生は「私たちがつくる平和」をテーマに、戦争の怖さ、悲しさについて学んできました。そして、二度と戦争が起きないように、自分たちが平和な世界をつくっていくという覚悟を発表しました。

・バラタナゴ保全活動事業を通して

平成２２年２月に奈良県産ニッポンバラタナゴ里親第１号に本校が認定され、それ以来、近畿大学農学部の北川先生のチームに協力していただき、今年で９年目、絶滅の危険のある「命」の大切さを学ぶ学習を続けています。

☆今年度のまとめ

本校区は、世界遺産に囲まれた素晴らしい環境の中にあり、様々な行事・伝統等、地域が守り続けてきた事柄が多い。このような環境の中で、学校が、子どもたちの為に、様々な「ひと」「もの」「こと」との出会いを演出することで地域との結びつきを深めることができ、生まれ育った地域に誇りを持ち、地域の方々とのつながりが深まったように思います。地域の方々との「であい」の演出を今後も大切に、この活動を進めていきたいです。

☆来年度に向けて

地域の「ひと」「もの」「こと」と出会い、生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもを育てる取組をどんどん進めていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立佐保小学校運営委員会**

めざす子ども像　**生まれ育った地域に誇りを持ち，多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標　**佐保に生きる（地域と共に）**

【今年度の取組紹介】

地域連携事業～「佐保っ子かるた大会」でのふれあい」～

日頃お世話になっている地域の方々とのふれあい，交流を深める場として実施しました。奈良にちなんだ大きなかるたでの遊びや，児童のマーチングバンドで日頃の感謝の気持ちを伝えました。

地域連携活動～マーチングバンドの演奏～

本校の伝統マーチングバンドの活動は，講師や教員の指導の下，地域や保護者の協力を得ながら，イベントや学校行事・PTA 行事の場で日頃の練習の成果を披露し，地域とのつながりや地域の活性化にも貢献しています。地域の伝統を守り受け継ぐ心が子ども達にも根付いています。

自然環境学習～ビオトープを通して～

９年目を迎えるビオトープでの自然環境学習では。NPO 法人や専門家の指導を受けながら，子ども達が佐保の自然や環境から課題を見つけ，自らの問題として捉えながら、一人一人が自分にできることを考え、実践していくこと学んでいます。

放課後学び舎事業～地域学生によるサイエンスオープンラボ～

今年度からの新たな事業で，地域の大学生の指導による学びの場「サイエンスオープンラボ」を実施しました。科学的・数学的な課題を楽しく学び，新学習指導要領の「アクティブラーニング」につながる場として活動できました。

【今年度のまとめ】

○「子ども達の成長を見るのが楽しみ」と声をかけてくださる地域の方が増えてきました。
○マーチング OB の方から，「まだ続けてくれていてとても嬉しい」と応援していただきました。
○地域からたくさんの声かけを頂けるようになり，学校の活性化につながっています。

【来年度に向けて】

○ビオトープ学習を地域に発信していく場を，さらに広げていきます。
○放課後学び舎事業を継続して，地域の学校との連携を深めていきます。
○さらに地域の人材や歴史・風土の活用材を発掘して，教育に生かしていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立鼓阪北小学校運営委員会**

めざす子ども像　**生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標　**地域とのふれあい、人・もの・こと　との豊かな体験活動を通して、学び合い支え合いながら主体的に学ぶ児童を育てる**

【今年度の取組紹介】

本校では、児童数の減少に伴い、学校が核となり地域ぐるみで活性化することが喫緊の課題となっています。地域の方々や保護者との連携を取るために、今年度も教職員と地域・保護者との交流の場を設定し、それぞれの取組について理解を深め、課題を共有し合うことができました。隣接する幼稚園も休園となっていますが、中学校区でのこ・幼・小・中の連携による学習活動の活性化、相互の育ち合いを大切にしています。

本校では、①生活科や総合的な学習の時間を中心とした多様な体験や多くの方々との出会いの場の設定、②図書室や学年園を中心とした学習環境整備を進めています。新興住宅地が多くを占める本校区において、これらの学習を通して児童に地域への理解を深め、愛着や誇りを持たせることを主眼としています。そのために、中・長期的な視点で、より多くの学校協力者やボランティアによる学校支援の輪を広げようと努めています。本校の特色の一つである「菜の花プロジェクト」は、これを核として世界遺産学習、環境教育へと体系的につなぎ、魅力ある総合的な学習の時間を構築し、特色ある学校づくりをめざしています。今年も、とれた菜種油を、お世話になった地域の方々やボランティアの方々とともに、５年生が東大寺と春日大社に灯明油として届けました。子どもたちにとって大変貴重な機会を与えていただくことができました。

【今年度のまとめ】

「菜の花プロジェクト」を中心に、安全見守り活動、地域交流活動等、各活動を深化・発展させてきました。特に、今年度は中央図書館から月２日来られる司書の先生とボランティアの方々との協力により、図書室がより使いやすく改善されました。また、特色ある活動や日々の安全活動により、子どもたちと地域との繋がりもより深くなり、今年度も手紙や感謝状を贈り感謝の気持ちを伝えました。これらの取組は、コミュニケーション力や表現力の向上にも繋がっています。

【来年度に向けて】

さらに地域とともにある学校づくりを進めていくためには、運営協議会との連携により各取組を充実させていく必要があると考えています。特に、地域・家庭・学校が一体となって、子どもの教育や地域の在り方について意見交流ができる場である地域交流会の活性化に努め、多様な分野で協力していただけるよう、今までの積み重ねを大切にしながら、さらに深化・発展させていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立佐保幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**生まれ育った地域に誇りをもち、多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標　**幼稚園・保護者・地域の連携を大切にしながら、地域の自然環境様々な人々との関わりをいかした体験を重視し、豊かな心と体を培い、友達と過ごす喜びを育む。**

【今年度の取組紹介】

○英語で遊ぼう＜異文化ふれあい事業＞

今年で2年目になる英語で遊ぼうでは、ゲストティーチャー指導の下、体を動かしたり、ゲームや歌、絵本を活用したりしながら、英語に楽しく親しむことを目的に取り組んできました。はじめは緊張気味の子ども達も、次第に先生が来られるのを楽しみに待つようになりました。また、教えてもらった英単語を得意気に友達と話す姿や、英語の挨拶を先生や友達と楽しそうに交わす姿も見られ、英語を身近に感じるようになりました。

○さほっ子クラブ＜伝統文化ふれあい事業＞

年間7回、地域の方々の地域の方々に「茶道」「華道」「柔道」「剣道」の指導をいただいています。日本の伝統文化に触れながら、挨拶や礼儀作法も学び、人と触れ合う楽しさや豊かな人間性を育てたいと願い行っています。子ども達は、自分が選んだクラブで一年間通していろいろな経験をし、新しい事を教えてもらう喜びや上手くなっていく満足感を感じることができました。

【今年度のまとめ】

地域の方々の温かいご指導や触れ合いを通して、子ども達は、地域の方を身近に感じ、大切にされている喜びや感謝の気持ちをもつなど、地域の方とのつながりが深まりました。新しい技術を身につけることだけでなく、地域の方が、子ども達の姿を優しく受け止め、関わってくださっていることから、子ども達の自信や達成感に繋がっています。また、年間を通した活動により、保護者と地域の方とのコミュニケーションも高まり、地域で子ども達は育まれていることを感じる機会にもなっていると思われます。

【来年度に向けて】

次年度も継続して、地域の教育力をいただきながら「地域の中の幼稚園」として、より一層、園・家庭・地域と連携を図り、様々な感動体験ができるように取り組んでいきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立若草こども園運営委員会**

めざす子ども像　**生まれ育った地域に誇りを持ち、多様な進路選択ができる子どもの育成**

取組目標　**地域や小学校との連携を密にし、世代を超えたふれあいや体験を通し、豊かな心と夢を育む。**

【今年度の取組紹介】

○伝統文化ふれあい事業では、和太鼓宝亀殿の方々を招いて和太鼓の演奏を聞かせていただいた後、バチの持ち方、良い音の出るたたき方など和太鼓の指導をしていただきました。伝統文化を体験できる貴重な機会になっているのはもちろんですが、力強い和太鼓の音色を全身で感じ、友達と一緒に合わせる心地よさを味わうことができました。

○体力づくり事業では、子どもたちの体力向上、体幹を意識した運動能力の向上を目的に体操教室の先生に来ていただきました。運動器具による指導やうまくなるコツを一人一人丁寧にアドバイスしてもらうことで、様々な運動遊びに積極的に取り組み、体を動かして遊ぶ楽しさを感じることができました。

○畑づくり事業では、畑の先生として地域の方に来ていただき、苗の植え方を教えてもらいました。夏には水やりや草引きなどの世話をし、秋になると大きく育ったサツマイモを収穫することができました。１１月には焼き芋パーティーの準備もしていただき、地域の方と一緒に焼きたてを味わう嬉しい経験となりました。畑の土や苗の生長、野菜に触れることで収穫の喜びと食への感謝など豊かな心の育ちと共に、水やり・草引き・虫探しなど世話や発見をする喜びは貴重な体験となりました。

【今年度のまとめ】

こども園として開園し２年が経ち、地域の方に来ていただく機会が増えました。熱心で温かい地域の方々との連携を大切にしながら、様々な生活体験を広げることができました。畑づくりの活動では、地域の方からの丁寧な指導を通して生長や収穫の喜びなど様々なことを教えていただいたことは、学び多い体験となりました。また、体力づくりの活動では、年齢に応じた運動遊びに繰り返し取り組む中で、やればできる喜びが自信となり、次の活動に向かう意欲へと繋がっています。

【来年度に向けて】

これまでの事業を継続し、様々な体験を通して豊かな心と夢を育むために、来年度はさらに園・家庭・地域の連携を深めながら、内容の充実を図り、子どもの体力向上と笑顔あふれるこども園をめざしていきたいと思います。地域の方々の力をお借りしながら、地域に開かれたこども園としての役割を果たしていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市伏見中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標　**「つながる力を育てよう」**

今年度の取組紹介

★図書室の充実

各小学校区では、熱心なボランティアの協力による絵本の読み聞かせや、図書の修理、図書室の整備が行われました。また、中学では定期的に来られる図書館司書と、書棚レイアウトについて話し合い、よりよい図書室づくりに努めました。

★漢検受検資格の拡大（右写真上）

漢字や英語検定の資格が、将来の受験や就職活動において重要視される見通しの中で、今年度から保護者や児童の要望に応え受検対象を小学５年まで広げました。

今後、さらに受検対象を広げていきたいと思います。

★公民館との連携（右写真下）

伏見小・こども園の子ども達が、公民館サークルの指導の下、和楽器に触れ体験することで、より日本の伝統音楽への興味の幅を広げました。

今年度のまとめ

コーディネーター自身が、「子どもと触れ合うのが楽しい！」と思いながら活動できているのが一番のポイントです。公民館との連携に置いても、箏や尺八といった和楽器に触れる機会がめったにない小学生にとって、とても興味深く、是非来年度も続けてほしいという子供たちの声を聴いています。

図書に関しても、読み聞かせはもちろん、司書さんを招き、図書室の整備に力を注ぎました。

コーディネーターのきめ細やかな各幼小との連携によって、常にそれぞれのニーズに耳を傾け、十分な話し合いをしながら、できる範囲の活動が今年度もできたと思います。

来年度に向けて

中学生が地域の活動に参加する目的は、将来地域を支える一員となることの自覚と、責任感を持つことです。地域清掃や、自治会の防災訓練にも積極的に参加し、地域とのつながりを深めてほしいと思います。また、コーディネーターも、先生方と話し合いながら、地道な活動ではありますが、息の長い活動を、地域に発信し続けていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立伏見中学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標　**「つながる力を育てよう」地域と共に育つ生徒の育成**

今年度の取組紹介

本年度は、地域連携の充実を目指し「地域に開かれた信頼される学校づくり」を推進し、生徒が活動する場の提供と支援の体制の活性化を進めてきました。

伏見中学校区では、地域の担い手としての中学生に対する地域の期待は大きく、生徒がボランティア活動や地域交流活動に生徒が積極的に参加することで、地域からの信頼が高まるとともに、生徒自身が「地域から必要とされる人材である」ことを肌で感じ、自己有用感や達成感を得ることにつながっています。地域交流活動としては、2 学期に実施される「伏見まつり」と「西大寺北地区防災訓練」が、地域の大きな行事として位置づけられています。

伏見まつりへの参加

また、ふれあい行事（文化発表会・体育大会・合唱コンクール）など地域との交流を深める機会が増えました。

また、部活動支援として、主に職員会議が行われる日の午後、地域や保護者の方々に部活動の巡回ボランティアとして参加していただき、部活動の見守り活動を実施した。図書ボランティアとして、1 年生全学級への読み聞かせ活動と、図書室の開設、本の貸出、ブッカーの取り付け等に取り組んでいただきました。

西大寺北防災訓練への参加

今年度のまとめ

昨年度の「全国学力学習状況調査の質問紙」において、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問の回答が、実際の参加状況を鑑みても想定より低く、また、生徒は地域から評価されているという実感を持てないという課題がありました。一学期に実施した花植え活動や、野神公園清掃では、生徒が地域の方々とふれあい、自治会長さんからボランティア参加についての感謝の手紙を受け取ることができました。（校長室前に掲示）生徒たちは「自分たちが地域の中で役立っている」ことを実感できました。このことにより、地域の方々とのふれあいの機会を増やすことが、本校の課題を克服することに直結することがわかり、環境整備事業等の拡充を行いました。

来年度に向けて

生徒会では「つなげていこう自分の道へ」というスローガンを創り、生徒それぞれが主体的につながる力を養おうとしています。地域の方々と全校生徒が協同で物事に取り組むという学びの機会を増やすことは現在の伏見中学校にとっては非常に重要なことです。その際、安心・安全な事業実現のために健康面での配慮を行いながら交流の機会を創出し、生徒たちの活動の支援をしていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立伏見小学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標　**「いきいきわくわく地域とともに」～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子～地域に根ざした「自ら学ぶ子ども　心豊かな子ども　たくましい子ども」の育成**

今年度の取組紹介

主な柱を「地域連携による伏見まつりの開催～子どもの笑顔が地域を笑顔に～」「地域文化遺産学習等を通じた学校教育活動の充実」「夏季清掃や本の補修作業等を通じた学校環境整備」とし、取組を進めてきました。

「伏見まつり」を、地域の諸団体、PTA、学校が連携して開催しました。伏見中学校ギターマンドリンクラブによる演奏会、自主防犯・防災協議会による防災訓練等多くの内容を盛り込み、地域の方々、子どもたち、保護者、教職員が、笑顔あふれる充実した一日を過ごしました。

学校教育活動充実の側面からは、地域の方々による家庭科学習支援や絵本の読み聞かせ活動、昔あそび大会等を行いました。このことによって、学習の場が和やかになり、互いに協力し合う雰囲気が形成される等の効果を得ています。子どもたちも、地域の方とふれ合ったり、一緒に活動したりすることをごく自然なこととしてとらえていました。

学校環境整備の側面からは、夏季清掃や季節環境づくり図書室の蔵書補修等を行いました。多くの方々が、より良い学校環境づくりに力を尽くしてくださいました。

今年度のまとめ

教育活動の活性化、地域拠点としての学校の機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係形成の面において、次のような様子から、一定の効果を得ることができたと考えています。

・子どもたちの地域に対する愛着、関わってくださる方々への感謝の気持ち等が育ってきました。
・ホームページの充実等、学習成果の発信を積極的に行えるようになってきました。
・地域の方々の学校教育活動への参加や、学校の地域行事への参加を円滑に行えました。
・伏見まつりへの教職員の参加等を通じて、地域の方々と学校との連携や協働の姿を、具体的な形で子どもたちに示すことができました。

来年度に向けて

諸活動に携わってくださる方の世代交代や新たな人材の参加は徐々に進みつつありますが、継続的かつ安定的な人材の確保が課題であると考えます。また、毎年予算が減額されることや働き方改革の観点からも、事業の見直しの必要があると考えます。地域の方の今まで以上のボランティア的協力や教職員の地域行事への参加方法を検討していく必要があると考えます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立あやめ池小学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標　**「出会いと体験から豊かな学びを」－地域ぐるみの子育て－**

【今年度の取組紹介】

○「学習支援ボランティア」事業が年間を通して展開されています。５月２８日の「芋苗さし」では、１年生とわくわく学級の児童で作物を作る学習をしました。さつま芋のつるを見せてどの部分を土の中に入れればよいのか教えていただき一人１本ずつつる苗を畑にさしました。

○１月２９日に１年生の「昔の遊びをしよう」がありました。１年生７５名が体育館で駒回し、あやとりなど１１種類のコーナーを回って地域の方々に遊び方を教えてもらいました。作り方や遊び方、ルールなど、手本を示しながらやさしく教えていただき、子どもたちにとって、とても楽しい学習の時間となりました。

○他にも２年生が町探検で地域の方にあやめ池神社の歴史について教えてもらったり、６年生が環境教育の一環として EM 団子を活用したプール清掃を行ったり地域の方々から支援していただきながら、様々な体験学習を行っています。

○今年度から、『キッズ英語教室』『ブックトーク』『絵本と音楽の広場』など、ボランティアの協力もと新しい取り組みを行いました。子どもたちにとっては新鮮で、わくわくする体験ができました。

【今年度のまとめ】

本校の教育活動に、たくさんの地域のみなさまのご協力を得て、様々な行事を行うことができました。図書館ボランティア活動や学習支援ボランティア活動など、年々充実しています。学校と地域の連携が深まり交流の幅が広がることで、子どもたちにとって効果的な取組となっています。関わってくださったボランティアさんの累計は 1800 名を超え、めざす子ども像の「心豊かに、共に生きぬく子ども」を育てることにより迫ることができたと感謝しています。

【来年度に向けて】

次年度も「地域ぐるみの子育て」を大切にして継続した取組を進めたいと考えています。本年度以上に学校と地域との連携を深めて、人々と繋がり、交わる活動を推し進めていきます。また、ＰＴＡ・保護者に対しても「地域から学び、地域に誇りをもつ」児童の育成を目指す本事業への理解をさらに深めていただくよう、取組を充実していきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立西大寺北小学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標　**自分たちが暮らす地域に親しみを持ち、自分たちが地域の人たちに支えられていることを感じられるような行事を作っていく。**

【今年度の取組紹介】

◆能体験・鑑賞（１月２４日木曜日）

日本の伝統芸能である能を体験・鑑賞する取組を継続しています。地域にお住まいの金春穂高さんはじめ１０名ほどの方々に来校いただき、４年生は、能のお面をつけての歩き方や所作、和楽器の演奏などを教わりました。体育館で各ブースに分かれ、子どもたちは順番に体験していました。その後、能の鑑賞として目の前で迫力ある演目「高砂」を見せていただきました。日頃できない貴重な体験でした。

◆昔あそび（１月２４日金曜日）

毎年子どもたちに「昔あそび」を教えに、地域のボランティアの方々がご来校くださいます。子どもたちも楽しみにしている行事の一つです。コマ回し、あやとり、百人一首（ぼうずめくり）、折り紙、お手玉など、様々な遊びを教えていただき、一緒に楽しむことができました。

この交流を通して、地域の方々と子どもたちとの繋がりが深まり、子どもたちが自分の町を好きになる大切な行事となっています。

【今年度のまとめ】

本校は水曜日の放課後に運動場や体育館、北っこルームを開放して「放課後子ども教室」、土日は「わんぱく広場」があり、地域コーディネーターのおかげで、子どもたちは様々なスポーツや遊びに取り組んでいます。地域の防災訓練では本校を会場に、小中一貫教育の取組として伏見中学校が参加、クラブ活動には平城中学校が参加してくれました。本校は２つの中学校に進学するため、地域も２つにまたがり交流を深めています。その他には、「ぶっくらばこ」による本の読み聞かせや図書室の本の整理といった活動も子どもたちにより良い環境を作っていただいています。

このような様々な取組により、子どもたちは地域の方々に支えられていることを感じ、自尊感情が育ち、人や土地、地域を愛する心が育まれています。

【来年度に向けて】

今年は昨年度に比べ、ホームページでの学校の取組や地域との交流の紹介が少なくなってしまいました。地域や保護者の方々楽しみにしておられます。来年度は昨年度のように少しでも多く発信することで、子どもたちの様子を多くの方々に知っていただきたいと思います。そして、地域の方との繋がりを強くしていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立伏見こども園運営委員会**

めざす子ども像　**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生き抜く子ども**

取組目標　**地域の方と心を通わせ、様々な感動体験を通して豊かな心を育む**

【今年度の取組紹介】

◇　地域交流事業　いきいき広場（文楽鑑賞）

地域の高齢者と交流する「いきいき広場」では、コーディネーターの方を通して、たくさんの地域の方に来園していただき、６月に文楽の鑑賞をし、伝統ある日本の人形にとても興味をもちました。講師の方々や地域の方とペアをつくってふれ合い遊びをして「お名前はなんていうの。」「かわいい手だね。」と、笑顔で声をかけてくださる一言一言に、地域の方の温かさを感じ、子ども達も喜んで関わりながら、歌を歌ったり手遊びをしたりして、子ども達を日頃から見守ってくださっているたくさんの方とふれ合って過ごすことができました。

◇体験活動　お茶会・サッカー教室

今年度からこども園となり、新しい体験活動の取組として、９月に講師を招き「お茶会」と「サッカー教室」を実施しました。

お茶会では、日本人の心として挨拶を丁寧にすることや、自然の恵みに感謝する気持ちをもつ大切さを教えていただき、地域の方や友達とお茶を点て合いました。地域の方も、子ども達を微笑ましく見守ってくださり、温かい雰囲気の中で、古くから伝わる文化に触れることができました。サッカー教室では、たくさんの地域の方や保護者に温かい声援をいただくことで、意欲的にボールを追いかけたり、諦めずに取り組んだりする姿も見られるようになり、少し難しいことにも挑戦しようとする気持ちに繋がり、たくましい心と体を育むことができました。

◇世界遺産学習　蚕の飼育

地域の方に飼育方法を教えていただきながら蚕を育てました。子ども達が毎日欠かさず餌やりや世話を行い大切に育て、地域の方が唯一の餌である桑の葉をくださることもありました。日々成長する蚕を見て「そっと優しくだったら触っていいよ。」と伝え合い、蚕が繭になり、成虫となった時には、餌も食べず子孫を残し、命が尽きるまでただじっと待つ蚕を子ども達は最後まで見届け、一つ一つのはかない命へのいたわりの気持ちが芽生え、この経験を通して、大切に育てたからこそ、命の大切さに気付くことができました。

【今年度のまとめ】

今年度からこども園に移行し、昨年度とは同じようにできないことも地域の方は「子ども達のためなら」と、協力を惜しまずご尽力くださいました。年間を通しての「いきいき広場」は、地域の高齢者とふれ合える貴重な時間で、回数を重ねるごとに子ども達が心待ちにして、たくさんの人の優しさにふれ、思いやりの心が芽生えました。また、講師を招き、英語を使って遊んだり、伝統文化に触れたり、体を思いきり動かしたりする活動が、子ども達の興味や関心の意欲を高め、豊かな心を育むことにつながりました。

【来年度に向けて】

今年度取り組んだ、地域交流事業、世界遺産学習事業、地域学習事業、体験活動事業、絵本読み聞かせ活動などは、活動方法を見直したり、工夫したりしながら継続できるように取り組み、地域との関わりがさらに深まるように、地域力を活かした様々な計画を進めていきたいです。そして、取り組みの中の子ども達の様子を掲示し、地域の力が、子ども達にとって大きな力となっていることを、啓発できるようにしたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立西大寺北幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標　**身近な人と人との輪の中で、豊かに学び、自ら考え行動する子どもを育成する。**

今年度の取組紹介　　～地域の人と一緒に楽しもう事業～

【みんなで運動遊び】

土曜参観日に、ゲストティーチャーに来ていただき、親子で運動遊びを行いました。体操やふれあい遊び、ゲーム遊びや競走など、いろいろな動きや活動があり、子どもも大人も歓声をあげながら、体を思い切り動かして楽しむことができました。親子体操では、家庭で遊びながら体のバランス機能をアップする遊びなどの説明もあり、保護者の感想では「家でも子どもと遊んでみたい。」「大人もとても楽しく参加できた。これからも子どもとたくさん触れ合いたい。」などの感想が聞かれました。園の保育でも、楽しんで体を動かす活動をたくさん取り入れるように心がけたので、苦手なことにも挑戦しようとする姿が見られました。

【お茶を楽しもう】

年に３回、挨拶の仕方からお茶の作法など、日本の伝統文化に触れる体験をさせていただきました。今年度は４歳児も１回お茶を頂く体験をし、初めての経験で少し緊張した様子でしたが、お茶を頂くと「お抹茶、おいしい。もっと飲みたくなるなあ」と美味しくいただきました。５歳児の３回目は親子で行い、お家の方にお茶を点て、飲んでいただきました。「美味しかったわ。ありがとう」と声をかけてもらうと、とても嬉しそうな姿がありました。お茶を通して相手のことを考えたりいろいろな人や物に感謝をしたりすることが大切であると教えていただきました。

今年度のまとめ

地域の方と一緒に年間通して様々な経験する中で、子どもたちが興味や関心をもち、活動を楽しみにしたり、自分なりに取り入れやってみようとしたりする姿につながりました。また、地域の方との触れ合いの中で、親しみをもち自分から挨拶をしたり話しかけたりして積極的に関わろうとする姿が見られました。地域の教育力を活かしたゲストティーチャーの様々な体験活動を保護者にも参加や参観などを通して知らせていくことで、園教育の理解も深まり、有意義な活動となりました。

来年度に向けて

より豊かに学び、自ら考え行動する子どもの育成をめざして、引き続き活動を継続したり、見直ししたりして、園や地域、家庭が連携して充実した活動となるようにしていきたいと思っています。

令和元年度　取組報告　　**富雄中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**『命や人を大切にする子』『感謝の気持ちを大切にする子』『夢に向かって進める子』『富雄を愛する子』**

取組目標　**幼稚園から中学校までの 11 年間を一貫して見守る体制を堅持し、地域のより多くの教育力の発掘に努め、地域と学校の協働体制の確立を図る。また外部教育資源を積極的に取り入れる。**

今年度の取組紹介

昨年度、地域の皆さんにも子どもたちにも好評であった「富雄子ども避難所生活体験」の第 2 回を、昨年度同様 3 つの地域の防災に関わる大人が 5 月より実行委員会を立ち上げ、実施しました。今年度は子どもの学びを重視するとともに、大人の関わり方を十分に協議し、昨年度の反省も踏まえ、よりつながりを広げることができました。また、大学のボランティアセンターの学生の参加もあり、子ども達の学びに広がりを持たせることができ、昨年度に引き続き参加した子どもたちの成長を見ることができました。

今年度開催した「歴史講座」では地域の子どもたちからご年配の方まで 120 名の皆さんが公民館を会場に集い、地域の歴史について学びました。『富雄を愛する子』を育てるということは「地域の歴史を語れる子どもを育てる」ということにつながると考え、大人と子どもが共に学ぶ機会になりました。昨年度実施した『考古学博士と巡る　歴史体感ウォーク』でお世話になった泉森博士にご指導いただき、富雄川沿いに中学校から北側の地域に伝わる歴史について学び、改めて地域に誇りを感じることができました。

今年度のまとめ

今年度も様々な取り組みで多くの協力を得ることができました。特に今年度は大人の関わり方や共通理解についての協議、働きかけをすることにより、子どもの学びに関わることが地域をつなぐことにもなるという認識を持つことができました。

来年度に向けて

今年度はすべての取組をキャリア教育の視点を持って見直すことにより反省点が明確になりました。このことから来年度は「知る」ことの重要性を意識し、学びのサイクルの構築を目指して「人を育てる広報」に力を入れたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄中学校運営委員会**

めざす子ども像　**命や人を大切にする子　夢に向かって進める子**
感謝の気持ちを大切にする子　富雄を愛する子

取組目標
地域と一体になった活動をとおし、めざす子ども像に合わせた取組の充実。

今年度の取組紹介

昨年に続き充実した活動を行うために CN の方々と本校区のめざす子ども像について、話し合いを重ねました。地域の大人と少しでも触れ合う機会をつくり、たくさんのボランティアさんから学校を支援していただく事ができました。

今年度は、地域の人材のさらなる活用ということで、放課後だけでなく、地域の方々に授業にも積極的に関わってもらうことにしました。

キャリア教育支援の 2 年生の職場体験学習において、事業所への依頼だけでなく、事前学習のマナー講習会もコーディネートしていただきました。生徒たちも熱心に学習し充実した時間となりました。おかげさまで事業所からも体験の姿勢が素晴らしかったと好評でした。

他にも、大学の先生をされている地域の方から地震による液状化について、実験を交えて授業をしていただいたりもしました。こちらも生徒たちはたいへん興味深く学習していました。

今年度のまとめ

地域の方たちの熱心な取り組みで、富雄中学校の教育活動の充実ぶりは目を見張るものがあります。特にキャリア教育の分野では、地域の事業所とコーディネーターさんとの長年の関わりが効果を発揮していると思われます。
ただ、協議会の活動が長くなってきている中で、協議会・教員の双方にとって、そのことが当たり前になってきているように感じることがありました。

来年度に向けて

地域と学校の関係をもう一度見直し、「支援する・される」から「ウィンウィン」になっていくように、本当の意味での「協働」ができるように、話し合いを深めていきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄北小学校運営委員会**

めざす子ども像　**〇命や人を大切にする子　〇夢に向かって進める子**

〇感謝の気持ちを大切にする子　〇富雄を愛する子

取組目標　**〇地域の人材や保護者ボランティアを活用した体験型学習の充実**

〇学んだことや取り組んだことを地域や保護者ボランティアに伝える機会をもつ

今年度の取組紹介

富雄地区自主防災防犯協議会の方の協力を得て、５年生は「防災学習」を行いました。

・災害を（いつどこにおいても起こりえる）自分のこととして捉える。
・富雄での防災に対しての備えを体験的に理解する。
・災害が起こった時に、どのように行動すればよいのか、自分にできることは何かを考える。

を子どもたちにつけさせたい力としました。学習は、①防災士さんのお話を聞く。②防災体験学習を行う。③地域の方や保護者の方に今回の学習で学んだこと、自分たちにできること、地域や家庭に知らせたいことなどを発表する。の流れで取り組みました。①防災士さんのお話は、２名の方に来校していただき、「自分の命は自分で守る」「自助・共助・公助」といった防災の心得、近所の助け合いや準備の大切さをわかりやすく説明してもらいました。また、説明に先立ち、地域の防災倉庫に保管されている防災グッズの展示をしていただき、子どもたちに防災に取り組むきっかけ作りもしていただきました。②防災体験では、「毛布担架体験」「水消火器体験」「水の大切さ体験」「トイレ体験」など、子どもたちが主体的に学べるコーナーを作り、たくさんの自主防や地域の方が講師となり子どもたちに教えてくれました。③発表については、グループで地域や保護者の方に、学んだこと、伝えたいこと、知ってほしいことを「自分にできることは何か」考えて取り組むことができました。発表のために地域の防災倉庫に保管されている物を調べたり、自分の家で準備している物を紹介したりしました。地域の方は、「子どもたちが防災を『自分のこと』として発表してくれた。素晴らしかった。」保護者の方は、「うちもちゃんと準備しないといけない。もっとたくさんの保護者に聞いてもらいたい内容だった。」とおっしゃってくださいました。

今年度のまとめ

どの学年も取組目標を踏まえて学習を行うことで、めざす子ども像にしっかり迫れたと思います。「昨年通り」ではなく、パートナー会議を通して、「よりよいものを」目指すことで、子どもたちのよりよい学びに繋がり、教員もしっかりスキルアップすることができました。

来年度に向けて

来年度もパートナー会議（教員とコーディネータとの学習の事前・事後、年度末に行っている打合せ）を行い、効果的に PDCA サイクルを回して、めざす子ども像や子どもたちの学びに繋げていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立鳥見小学校運営委員会**

めざす子ども像

命や人を大切にする子　感謝の気持ちを大切にする子
夢に向かって進める子　富雄を愛する子

取組目標　**多様な人との関わりを通して，より良い人間関係を作り，夢をもって自ら学ぼうとする児童を育成する。**

今年度の取組紹介

○図書活動支援事業

委員会の時間に地域の方に来ていただき，図書の本のブッカーのかけ方や図書室の整備の仕方について教えていただきました。

○福祉体験（４年）

４年生は，総合の学習で「福祉」について学習しました。地域の方に来ていただき，車いす体験・アイマスク体験・足装具やゴーグルをつけての高齢者体験ができました。体験の後，サポーターさんのお話を聞かせてもらいました。これらの多様な体験学習をした子どもたちから「お年寄りの方は，困っておられることが多いので自分から声をかけてみよう。」「お年寄りの方に優しく接していきたい。」との感想が聞けました。

○ゲストティーチャー（１年～６年）

獣医さんや助産師さんをゲストティーチャーとして来ていただいて，命に関する学習をしました。また，地域の方を講師に招き，昔の生活体験や福祉体験等の体験活動を行いました。

今年度のまとめ

今年度も地域コーディネーターの方が窓口となり，地域ボランティアの方に多数来校していただき，花植え・木々剪定・伐採などの環境整備や図書ボランティアによる図書の本の整理・修繕，家庭科・図工科の授業補助などに協力していただきました。その中でも昨年と今年は図書活動支援事業に力を入れて取り組んでいただき，奈良市で開かれたブックフェスタでは，鳥見小学校の学校図書館の取り組みをモデルとして発表されました。

来年度に向けて

来年度も今年度同様，体験学習事業，環境整備事業，学習ボランティア事業，子ども安全見守り事業の４つの事業を中心に取組を展開していきます。来年度，富雄中学校区では，広報活動に注視し，たくさんの地域の方に来ていただくように HP 等を活用し地域の方に呼びかけるとともに，活動に参加していただいた方がとてもよかったと感じていただくような取り組みを行い，参加していただいた方がさらに周りの人へ広報していただくことも視野に入れた取り組みを行っていきます。そして，子どもたちが地域の方と出会う喜びを感じ，改めて，地域の良さを感じることができるように進めていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄北幼稚園運営委員会**

目指す子ども像 **〇命や人を大切にする子〇感謝の気持ちを大切にする子〇夢に向かって進める子〇富雄を愛する子**

取組目標 **子どもたちが地域やいろいろな人とかかわり、活動や遊びを通して、感動体験ができる保育内容の工夫と人とのつながりが深められる取組の充実を図る。**

今年度の取組紹介

○　異文化・多文化に親しむ取組

今年度から年３回を計画した『みんなでABC』では、英語で挨拶を交わしたり、歌を歌ったり、歌に合わせて動きを楽しんだりと、外国の方と触れ合いながら楽しく活動しました。子どもたちの発達段階を考慮し進めてくださるので、１回目には緊張も見られていましたが、回を重ねる毎に、積極的に自分から挨拶したり知っている英語を話してみたりする姿が見られました。

○　幼児期にこそ大切にしたいお話の世界・絵本の部屋の充実を図る取組

ボランティアの方が集まり、絵本の整理や修理をしてくださいました。子どもたちに興味を持ってもらいたいお話や季節の本や図鑑などを、定期的に並べかえてくださったことで、子どもたちの絵本を借りる回数も増えています。また今年は、古くなったインデックスを新しく作りなおしてくださり、明るく一新された雰囲気の中で絵本を見られるようになりました。

今年度のまとめ

○　ゲストティーチャーを招いてリズム遊び、剣道、茶道、英語など様々な体験活動を行いました。親子で参加する機会を持ったことで、活動への期待、活動を通して感じたことを友達と話し合う姿や、自ら積極的にかかわろうとする姿につながり、「大きくなったらアイドルになってかわいく踊りたい」「私は英語の先生になりたい」と夢を語り合う会話が聞かれました。

○　地域の商店街への買い物体験や花咲きロード、収穫パーティーなど様々な人とかかわりながら、体験をする中で、温かい雰囲気や眼差し、そして言葉がけに、人とかかわる心地よさを感じることができました。感謝する気持ちや富雄を愛する気持ちにつながったと感じています。

○　取組の様子や内容を地域・保護者の方に発信しました。中でも、子どもの成長を見守ってくださっているコーディネーターの方が、保護者に子どもの様子を発信してくださることが、保護者の子育ての安心感につながりました。

来年度に向けて

○　取組の様子や内容をタイムリーに情報発信し、ボランティアの方の協力が必要であることや楽しく活動できることを知らせ、より多くの方が参加できるようにしていきたいです。地域の教育力を引き続き保育内容に取り入れ、子どもたちが人とのつながりを感じながら、遊びや活動を通して感動体験が積み重ねられるよう、また、園が地域の子育て支援の拠点となるように、コーディネーターの方と連携を図りながら進めていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立鳥見幼稚園運営委員会**

めざす子ども像

命や人を大切にする子　感謝の気持ちを大切にする子
夢に向かって進める子　　富雄を愛する子

取 組 目 標

〇地域の方との活動や行事を通して、様々な方々との触れ合いを深められるような取組の充実。

〇幼児の心身の発達を促す直接体験ができるような保育内容の工夫。

今年度の取組紹介

〇「体力つくりの会」

年４回講師を招き、子どもたちの体づくりを行っています。とても楽しい雰囲気の中、体を動かすことが苦手な子も徐々に笑顔で参加することができました。本園では、体幹づくりを意識した保育を行っていることもあり、講師の先生とも相談しながら、子ども達の体幹を意識した内容を中心に行っていただきました。その内容を日々の保育にも取り入れ、子ども達の体だけでなく、心の安定にもつながる体験を積み重ねることができました。

〇「ハーモニカコンサート」

毎年、地域の方が子どもたちにハーモニカを聞かせてくださいます。日頃ハーモニカに触れることがほとんどない子が多く、きれいな音色に聴き入っていました。また、奈良市交通安全指導員をされていることから、帽子や防犯ベストを着用して保護者や地域の方が子どもたちを大切に思う気持ちや交通安全についてのお話もしてくださいました。地域の方に話していただく経験は、子ども達にとって新鮮で話に興味をもち、真剣に聞くことができ、地域の方にも見守られていることを実感する経験の１つとなりました。

今年度のまとめ

ゲストティーチャーを招いての活動を充実させることで、体幹づくりや英語等、子ども達の活動がより充実し、保育内容も深めることができました。また、地域の方々が子どもたちにかかわってくださる機会が年々増え、地域の方の温かさや愛情を子どもたちが感じることはもちろんですが、地域の方にとっても「子ども達から元気をもらった。」「自分にできることがあればいつでも園に来るよ。」と充実感を味わっていただけたように感じました。

来年度に向けて

今年度同様、コーディネーターの方々と連携し、小学校以降の学びにつながる幼児期にふさわしい心身を育む豊かな体験を積み重ねていきたいと思います。その中で、地域の方の特技等を保育活動に取り入れ、伝統文化に触れる機会も増やしたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**都南中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像

○ みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
○「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
○ 感性豊かで、たくましく自立する子ども
○ 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
○ 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

すべての園児・児童・生徒に 15 年間の連続した「学び」を保証するために、地域の力を活用しながら学校園の教育活動を支援する。また、学校園を核とした地域コミュニティの活性化と、地域の教育力を高めるための協働により、地域に園児・児童・生徒が活躍できる場を作ることで「自己有用感」の育成を図る。

今年度の取組紹介

地域合同行事としてＳＡＫＵＲＡ夢フェスタ 10th.を都南中学校で開催しました。ステージでは天理大学創作ダンス部の様々なダンスパフォーマンスがあり、みんなで楽しくおどりました。またＳＡＫＵＲＡ夢スクール英会話教室の英語劇、中学校３年生生徒有志によるソーラン節、中学校吹奏楽部の演奏が行われ、午後からは地域の各団体・企業による模擬店があり、中学生有志による「カレー都南」も出店しました。最後にグランドでは地域対抗・部活対抗の大綱引き大会が行われました。地域の方々に多く来場していただき、前日の会場準備・当日の後片付けも中学生が中心となり、地域の方々と一緒に行いました。

また、ＳＡＫＵＲＡ夢フォーラム(夏期研修会)を南部公民館との共催で行い、ＮＰＯ法人きららの木 相談支援専門員 田崎智咲斗氏に講演していただきました。中学校に設置されたコミュニティルームの運営支援として、ＳＡＫＵＲＡ夢スクールを実施しました。英会話・編み物の２講座を開催し地域の多くの方々に中学校に来ていただきました。

地域事業所のイベントの模擬店に「カレー都南」で参加しました。カレーの仕込み、販売を中学校ボランティア部と一緒に行いました。

今年度のまとめ

今年度の取組の成果としては、ＳＡＫＵＲＡ夢フェスタでの「カレー都南」の仕込み、模擬店の運営、前日準備や後片付けを地域の方々や仲間と一緒に協力して行うことができ、良い交流の場となったと思います。また、地域の方々から良い感想をたくさんいただきました。

中学校ボランティア部と一緒に、地域事業所のイベントに参加することができました。ＳＡＫＵＲＡ夢フェスタ・ＳＡＫＵＲＡ夢スクールを通して中学校に来てくださる地域の方々が増えました。

来年度に向けて

地域で子どもを育てるというねらいのもと、広くこの事業を知ってもらうために、地域へ向けてＳＡＫＵＲＡネットワークの活動をアピールする事と同時に、生徒・保護者にもＳＡＫＵＲＡネットワークをより一層知ってもらう機会を増やしていきたいです。

地域の各種団体の行事や、事業所へ中学校ボランティア部と一緒に参加できる機会を増やしていきたいです。

南部公民館と連携し、公民館で活動している自主グループやサークルの方々とも相互に紹介し合える機会をつくり、学校園・公民館・地域の距離を縮め、つなぐ存在になりたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立都南中学校運営委員会**

めざす子ども像

- **みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども**
- **「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども**
- **感性豊かで、たくましく自立する子ども**
- **地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども**
- **共に汗して働くことのできる子ども**

取　組　目　標

自己有用感を育成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

今年度の取組紹介

「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに様々な活動を行いました。中でも地域教育協議会が主体となり、中学校を会場として、地域の各団体や小学校などの方々と一緒になり作り上げてきたＳＡＫＵＲＡ夢フェスタも節目の１０回目を迎えました。
校区単位でのこのような取組は他に例がなく、誇れるものであり、生徒たちはこういった行事を通して地域の方々とふれあい、自分の学校・地域を思う心が育てられていると感じます。

地域の方々による英語劇

また、健全な心の育成のため、生徒たちが地域に出向き、清掃を行う「クリーンキャンペーン」や地域と共催で行う体育大会などの取組も年間を通じて行いました。
図書館運営においては、継続的に地域ボランティアの方々によるご協力のおかげで読書推進活動が行われており、多くの生徒が図書室を利用し、本に触れ合う機会を持てています。

図書室の様子

今年度のまとめ

「地域で子どもを育てる」のスローガンの下、地域の方々とともに行う様々な取組を通じて、生徒たちは、地域の方々との交流を持ち、その成果として自己有用感を感じることができ、自己形成において大きな成果があったと思います。
これらにおいてボランティアの方々を始め、多くの地域の方々が学校へ足を運んで下さり、「あいさつが良くなった」「手伝いもよく動いてくれる」などご意見を頂けました。

来年度に向けて

昨年度に引き続き、来年度も「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに掲げ、事業を推進していこうと考えています。地域の人にさらに学校へ足を運んでもらう取組を継続しながら、その中で地域の方々との触れ合いを通じて、生徒たちが「自己有用感」を感じ、さらには地域の一員としての認識の向上や規範意識の醸成につながればと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立東市小学校運営委員会**

めざす子ども像

〇みんなで力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
〇「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
〇感性豊かで、たくましく自立する子ども
〇地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
〇共に汗して働くことのできる子ども

取 組 目 標

学校と地域が連携・協働して学習環境を整備することを通して、子どもが地域の一員であることを自覚し地域に誇りをもって生きようとする姿勢を育む。

今年度の取組紹介

本校の地域の方々は「子どもは地域で育てる」ということを大切にされており、今年度も学校と地域と家庭が連携・協働して事業を進めてきました。

〇「絵本のひろば」

11 月 1 日（金）、5 日（火）、6 日（金）の 3 日間、「絵本のひろば」を図書室で開きました。会場づくりや最終日の片づけを手伝っていただいたり、いつでも絵本を読み聞かせができるように図書室に待機していただいたりするなど、多数の地域の方々に協力していただきました。数名に読み聞かせる方や 1 対 1 で読み聞かせる方など読み聞かせ方も様々で、子どもたちは自分の好きな場所で、「読みたい絵本・聞きたい絵本」を満喫することができました。

〇「東市まるごと子どもフェスタ」

今年で１８回目を迎えた「東市まるごとフェスタ」が 10 月 6 日（日）に開かれました。日曜参観の後、地域の方、TNP（東市日本一プロジェクト）、PTA、教職員が協働して模擬店や展示、様々な体験等を催しました。地域の方々と触れ合う機会を通して、子どもたちは自分たちの住む地域の一員であることを実感しました。

今年度のまとめ

地域の方々の協力により地域と学校が連携・協働して様々な事業を実施することができました。今年度も「東市おはなしの国」や「菜の花プロジェクト」といったこれまでにも取り組んできた活動に加え、これまでの活動をもとに新しく「まるごと探求合宿」を実施し、子どもの「学び」の力を高める活動に取り組みました。学校の環境整備など多数の事業を通して子どもの学習環境を整えることができました。

来年度に向けて

子ども一人ひとりが自立し能動的に生きる自信を育むことができるように、これまでの取り組みを大切にしつつ、新しい視点に立った事業を計画・実施していきたいと思います。また、より多くの地域ボランティアの方々に参加していただけるように、取り組みを発信することに力を入れたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立辰市小学校運営委員会**

めざす子ども像　**〇みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども**
〇「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
〇感性豊かで、たくましく自立する子ども
〇地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
〇共に汗を流して働くことのできる子ども

取組目標　**活動の中で子どもたちが地域とのつながりも感じられるような地域と密に連携した環境整備、学習支援活動等の取組の充実**

今年度の取組紹介

〇環境整備事業

季節ごとに玄関や職員室前の廊下の飾り付けをしていただき、きれいな手作りの飾りに、みんな足を止めて見入っていました。また、年末には松の剪定もしていただきました。夏のペンキ塗りでは、地域、保護者、児童、職員が一丸となって廊下床面のペンキ塗りをしました。

〇学習支援活動事業

生活科、社会科、家庭科、総合等で協力いただき、なかでも校区探検や昔の道具体験、むかしあそび体験では、民生児童委員、万年青年クラブからたくさんの参加があり、地域や昔の道具や遊びのことについて詳しく児童に教えていただきました。また、家庭科では裁縫の実習の際にボランティアの方に補助をしていただき、ミシンの使い方等を優しく教えていただきました。

〇読書力向上事業

絵本の読み聞かせボランティア「お話ドラゴン」のみなさんが毎週水曜日に朝の学習時間を使って絵本の読み聞かせをして下さりました。児童も楽しみにし、児童の読書力向上へつながってきています。

〇児童の安全指導事業

毎日の登下校時に児童の見守りをしていただきました。また、１年生の給食が始まるまでは地域ごとに分かれ、一緒に下校していただきました。

今年度のまとめ

今年度も地域の方々に様々な面でご協力いただきました。ペンキ塗りや職員室前廊下の飾りつけははっきりと実感できる変化でしたし、登下校時の見守り活動や校区探検の補助、家庭科の実習補助、冬の集い等においては地域の方々と触れ合いながら活動したので、児童はたくさんの地域の方々に支えていただいているということを実感できたようでした。６年生児童は地域の方への感謝の気持ちを学習発表会等で伝えました。

今年度も２月末におそうじ☆ドラゴン(旧ありがとう集会)で通学路を中心とした校区の清掃活動を行うことにより地域の方々へ感謝の気持ちを伝えました。

来年度に向けて

活動ボランティアが高齢化し、ボランティアを卒業される方が増えてきているという現状があります。新たな人材を発掘し、現状並みの人数を確保できるよう地域に働きかけていく必要があります。また、多くのボランティアの方に力を発揮していただき、人材を有効に活用することができるよう運営委員会を中心に活動内容や連絡体制を見直していく必要もあります。そして、より活動の活性化を図れるようボランティアの皆さんの意見を聞き、取り入れていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立明治小学校運営委員会**

めざす子ども像	○みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども ○「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども ○感性豊かで、たくましく自立する子ども ○地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども ○共に汗して働くことのできる子ども
取組目標	○確かな学力の育成をめざす（学力向上推進事業） ○強い体の育成をめざす（体力向上推進事業） ○花いっぱいの学校づくりをめざす（環境整備事業）

今年度の取組紹介

○　確かな学力・豊かな心の育成をめざす取組

学力向上の目標を達成し、確かな学力に結び付けるため、地域から様々な協力を得ながら取組を進めてきました。国語の授業力を高めるための職員研修、郷土への愛着を深めるための学習、また高い人権感覚を養うための学習会など、様々に取組を進めてきました。地域消防団と連携した防災教育、社会福祉協議会の皆さんの協力による車いす・アイマスク体験学習など、地域と共にある学校として子どもたちに豊かな心を育む取組を行いました。

○　お話の会や読み聞かせなどの取り組みから読書に親しむ子へ

朝のチャレンジタイムの読書タイムに加え、地域の方を講師に迎え、全児童対象の「お話の会」１年生対象の「本の読み聞かせ会」など定期的に年間を通して行ってきました。読書好きの子どもたちを育てるため、それらの機会を増やすとともに、その活動に使用する図書整備などに本事業を活用し、取り組みを進めていくことができました。

○　みんなで花いっぱいの学校づくり

地域の団体である万年青年クラブの方々の協力を中心に、教職員児童が主体的に環境整備に関わってプランター栽培に取り組み、年間を通して花いっぱいで、常に花の絶えない校内環境整備に取り組み続けてきました。

○　体育や外遊びの充実から運動好きな子に

放課後子ども教室や地域の方々の運営のもと行ったミニ運動会など、地域の方々と共に楽しみながら健康・体力づくりに取り組みました。

今年度のまとめ

地域の方々と子どもたちが共に活動する機会をたくさん持つことで、子どもたちは地域の方々と親しみをもって触れ合い様々なことを学ぶことができた。子どもたちは地域の一員としての自覚と誇りをもち、自尊感情を高める取組につながった。今後も学校と地域が連携を図ることにより、子どもたちが自己肯定感を持てるような取組等を更に進めていきたいです。

来年度に向けて

地域との連携を更に深め、新たな取組の創設、人材発掘に努め、今後も「地域と共に歩む学校」をめざして取り組みを続けたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立帯解小学校運営委員会**

めざす子ども像	○みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども ○「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども ○感性豊かで、たくましく自立する子ども ○地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども ○共に汗して働くことのできる子ども
取組目標	豊かな感性をもち地域とともに主体的に生きる子どもの育成

今年度の取組紹介

帯解小学校では、地域の方をゲストティーチャーとして招き、地域の方と共に活動したり、学んだりする取組を栽培活動や体験・交流活動、聞き取り学習として組み込んでいます。特に５年生における栽培活動においては、地域の方からお借りした田で実際に籾まきから田植え、秋に稲刈りの体験をさせていただいています。身近なお米の栽培に関わり、地域の方とつながることで、地域の良さを知り、感謝の心が育まれています。また、年間を通して図書ボランティアの方に絵本の読み聞かせや本の修理などにお力添えをいただき、児童は読書への興味や物を大切にする心を育んでいます。３年生の体験・交流活動での干し柿作りは万年青年クラブの方をはじめ地域にお住まいの方の知恵をいただく貴重な機会となっています。こうした地域学校連携は、児童の豊かな感性の育成につながっています。

「３０万人の市民を先生に」という奈良市教育振興基本計画の基本方針の実現の一歩に、さらに地域の方と子どもたちがつながり、学びの輪が広がることを願って取組を進めています。

今年度のまとめ

地域の方とともに学ぶ聞き取り学習や体験・交流学習・栽培活動は、児童が地域の方と関わる中で知見を広げ、豊かな感性の育成につながりました。地域の方との活動は、学校評価において、児童･保護者共に 96%以上の肯定的な回答を得ました。学校教育の様々な場面で地域の方に見守られ、支えられながら地域の歴史を知り、地域に愛着をもつ子どもたちの育成を目指しました。

来年度に向けて

精華・帯解両地区の良さを生かした取組を大切にしながら地域で学んだことを誇りに思う児童の育成と、豊かな感性をもち主体的に生きる子どもの育成を目指していきたいと考えています。また、取組の内容を多くの方に知っていただくためにさらに広報にも力を入れていきたいと考えます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立明治幼稚園運営委員会**

めざす子ども像
- **みんなと力を合わせ、なかまと共に高まって行く子ども**
- **「学ぶ力」「生きる力」を見つけ、生活や将来に活かせる子ども**
- **感性豊かでたくましく自立する子ども**
- **地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども**
- **共に汗して働くことのできる子ども**

取組目標
- **豊かな心をもち、いきいきと活動する幼児の育成**

今年度の取組紹介

《子ども用防災頭巾作り》

毎月の避難訓練（火災・地震・不審者対応）の他に、毎年６月は地域の女性防災クラブ・消防分団・保護者の皆さんと、合同の避難訓練を行っています。１月は、地域の女性防災クラブの皆さんに園の避難訓練の様子を見てもらった後、防災避難時に必要なグッズを紹介してもらい間近で見せてもらいました。また、バスタオルを利用した手作りの「防災頭巾」を２年間、教えてもらい好評だったので今年は、「子ども用の防災頭巾」の作り方を教えてもらい、毎月の避難訓練に活用しています。いざという時に、子どもたちが使いやすいように考えて工夫してくださいました。子どもに合うミニバスタオルの中には、最低限必要とする下着・靴下・シャツ等が入っています。地域の女性防災クラブの皆さんが、丁寧に保護者に寄り添い指導していただいたので、短時間で作ることができました。園児達が出来上がった防災頭巾をかぶり，大喜びです。出来上がった防災頭巾は、普段は、椅子の背もたれにかぶせ、防災訓練のたびに活用しています。１月１７日の地域の女性防災クラブとの合同避難訓練には、今年も新聞社から取材を受け、新聞にも掲載されました。

今年度のまとめ

毎年、熱心で温かい地域の方々との連携を大切にしながら、様々な生活体験を広げることができています。今年の活動事業の中で「明治地区女性防災クラブ」の皆さんとの活動は、今までの活動よりまた一歩前進し、これからいつ何時起こるかもしれないあらゆる災害に対して、みんなで防災意識を高め、身の安全を守ることの大切さを学べたと思います。結果、自分たちのことを大切に思ってくれる人たちがいるということに気づくことができました。様々な活動を通して、地域の方から、たくさんの温かい気持ちをいただいたことが、園児達たちに伝わり、いきいきと活動する幼児の育成につながっていると思います。

来年度に向けて

これからも温かい地域の方々に見守られながら、事業活動を保育に取り入れ「ひと・もの・こと」とのつながりにおいて、一人一人が感謝の気持ちや自分を取り巻く地域・環境を大切に思う気持ちを育み、豊かな心へとつないでいきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立辰市こども園運営委員会**

めざす子ども像

〇みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
〇「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
〇感性豊かで、たくましく自立する子ども
〇地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
〇共に汗して働くことのできる子ども

取組目標　**ひとりひとりの笑顔がかがやく辰市こども園**

今年度の取組紹介

今年度より、保育園・幼稚園が一つとなり「辰市こども園」として、開園初年度を迎えました。それぞれの保育・教育の良さを大切にしながら、目の前にいる子どもたちに必要な力を身に付けられるよう努めてきました。今年度はゲストティーチャーを招き、5歳児が陶芸を体験しました。土粘土を前に子ども達は、「冷たくて気持ちいいな」「お母さんにプレゼントする茶碗作るねん」と心弾ませる姿がありました。ろくろを一人に一つ貸していただき、粘土を回しながら形を整えたり、粘土を滑らかにしたりしました。陶芸の先生から「うまく回せているよ」「いい模様がかけたね」と言葉をかけてもらい、子どもたちが笑顔で取り組む姿に繋がりました。

焼きあがった作品は、園内の作品展に展示しました。5歳児は地域の方に「これ僕が作ってん」と嬉しそうに自分の作品を見てもらい、地域の方から「うまいこと作ったね」と言葉をかけてもらい、とても満足していました。また、乳児クラスの保護者からも「5歳児になると、こんなことができるようになるのですね」と成長を楽しみにされる声を聞くことができました。また、見ていただいた方から感想を書いていただき、子どもたちにその声を返すことで満足感や更なる自信へと繋げられるようにしました。

今年度のまとめ

今年度は、園舎の移転に伴い来てくださる地域の方が減少したり、新しい園庭での環境整備事業など新たに取り組んだりすることが多く、難しいところが多々ありました。その中で地域の方の教育力を生かし、「おはなしの会」や「サッカー教室」など子どもたちの心と体を満たすような事業の取組みを続けることができたように思います。今後も地域に開かれたこども園となるように地域の方と共に歩んでいきたいと思います。

来年度に向けて

今年度は開園初年度で、立案・実施とうまくいかないこともありました。次年度は子どもの姿、園の状況に合わせ事業の取組みに努めたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立帯解こども園運営委員会**

めざす子ども像
〇みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
〇「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
〇感性豊かで、たくましく自立する子ども
〇地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
〇共に汗して働くことのできる子ども

取組目標　**地域に開かれた幼保連携型こども園をめざして**

今年度の取組紹介

〇教育支援活動「地域の方と畑づくりをしサツマイモや野菜を育てよう」

5 歳児 35 名が、山町地域環境保全協議会の方に畑とサツマイモの苗・肥料などの用意をしていただき、5 月 29 日に地域の方と一緒に植えました。苗の植え方を教えて頂き、初めて苗を植える子どもたちを見守り、分からないところは声を掛けながら手助けしてくださいました。10 月 2 日、大きく育ったサツマイモを 4･5 歳児 65 名が地域の方のお世話になり、自分でサツマイモを掘ることができました。11 月には焼き芋パーティの準備もしていただき、焼き立てを味わう嬉しい体験となりました。

畑の先生として地域の方に来ていただき、4 歳児 30 名の子どもたちと畑づくりや種まき・間引き等を教えていただき、キュウリ・カボチャ・カブ・玉ねぎ・ブロッコリー・白菜などの野菜にふれる経験となりました。種や苗を植えて、水やりの世話をし生長を感じながら、収穫の喜びと食への感謝など豊かな心の育ちと共に貴重な経験となりました。

そして継続して行っている“花いっぱい運動”“生け花体験”などでは、子どもたちには地域の方とふれ合いながら教えていただき、親しみを感じ、感性豊かな経験を得ることができ、大きな学びにつながっています。

今年度のまとめ

○ 畑での活動をして通して、地域の方から生長や収穫の喜びなど様々なことを教えていただき、学び多い経験となりました。継続して行っている“花いっぱい運動”“やきいもパーティ”“生け花体験”“太鼓を楽しもう”など地域の方の協力なしでは経験できない体験を積み重ねていくことができ、地域の方に親しみをもつなど社会や人と関わる姿は、たくさんの学びや成長につながったと思います。

○ こども園の教育・保育を地域の方々にご理解していただきながら、多くの協力を得て、事業や取組が進んだと思います。

来年度に向けて

○ 子どもたちが夢中になって遊び込み、主体的な遊びを展開し、活動する中で子どもたちの学びにつながるように地域や保護者の方の協力を得ながら、園庭・遊び場などの環境整備や菜園・花壇づくりに努めていきたいと思います。また、これらの事業や活動を保護者や地域の方と共に進めていき、こども園の教育・保育への理解を更に深められるようにしていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立高円こども園運営委員会**

めざす子ども像

〇みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
〇「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
〇感性豊かで、たくましく自立する子ども
〇地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
〇共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

・地域との関わりを通し、お互い認め合い、助け合い思いやる心を育てる。
・夢中になって遊び込める環境を提供していく。
・地域の良さを生かした、豊かで多様な体験をしながら、生きる力の基礎を培う。

【今年度の取組紹介】

＜和太鼓演奏＞

地域の方に、バチの持ち方、良い音の出るたたき方など和太鼓演奏の指導をしていただきました。一人一人に熱心に教えていただき、体に響く太鼓の音を全身で感じ、友だちとリズムを合わせる心地よさを味わうことができました。また地域の昔からの伝統の行事に参加する事で、地域とのつながりが深めることが出来たように思います。５歳児は、運動会でのオープニングを飾り、沢山の方々にその成果を披露することができ、達成感や自信に繋がることが出来ました。

＜3B 体操教室＞

地域の方を講師に招いて、ベルを使って全身を動かしたり、音楽に合わせて踊ったりしました。初めて使うベルに子ども達もとても喜んで元気に動いていました。地域の方と体を動かし交流する中で、コミュニケーション能力を高めながら心と体の豊かな感性を育てる機会となりました。

【今年度のまとめ】

こども園として開園して３年が経ちましたが、地域の方々とのつながりも少しずつ深まり、ご支援やご協力を頂く機会が広がってきました。様々な活動を通して、子ども達は心と体を育んできたように思います。また地域の方との交流を通してコミュニケーション能力を育てることにもつながってきたように思います。地域の方や保護者にもこども園の特色として浸透しつつあります。この活動が、子ども達の豊かな心を育むきっかけや素地となっていっていることを感じます。

【来年度に向けて】

子ども達が今後も地域の方々との交流を深め、様々な経験を重ねていけたらと考えています。また地域の方には、活動を通して地域の中にあるこども園として協力や見守り、関わることを今後もお願いしたいと思います。そして、『心身共に健康で人間性豊かなたくましく生きる幼児の育成』を目指していけたらと思います。

令和元年度　取組報告　　**田原中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像
・ふるさとを愛し、誇りとする子ども
・思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども
・よく考え、よく学び進んで実行する子ども
・人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標
地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、将来地域活性化の中心となる人材を育てる。

今年度の取組紹介

「田原の子どもたちは、田原に住むすべての人で育てる」という考え方に基づき、これまで「交通安全立哨活動」、環境整備活動「どんごが丘整備作業」「田原ふれあい夢花壇」など児童生徒が安心・安全で心地よく学校教育に臨めるように、児童生徒とともに学習環境の整備に努めました。また、学習支援活動として、外国語の授業補助「外国語科授業支援」、放課後の学習支援「田原学び舎プロジェクト（英語検定に向けて、中国語講座、English 講座）」、地域に伝わる伝統文化の継承「祭文踊りの指導」、キャリア教育の一環として行う「地域の魅力発信のためのリーフレット製作」・「職場体験ポスターセッション」における取材や助言など、地域人材を活かした支援を行うことができました。

今年度、２回目となる地域と合同で開催した「田原合同大運動会」や、文化鑑賞会・人権講演会の共催など、学校の取組を地域に周知するための、多くの機会を設定することができました。

今年度のまとめ

田原は、豊かな自然や伝統文化を地域の努力によって現在にまで引き継いでいる地域です。これまで学校では「よく考え、よく学び、進んで実行できる児童生徒」「思いを伝えあい、人とのつながりを大切にする児童生徒」「ふるさとを愛し、誇りとする児童生徒」の育成を目標に、様々な活動に取組んでいます。地域教育協議会では、人材の育成が大切であると考え、学校の教育活動を支援してきました。今年度は、テーマを定め、地域と学校がそれぞれの考えを共有できるように地域教育協議会で話し合ってきました。未来を生きる子どもたちに付けたい力を今後も共に考え、学校とともに「田原の教育」がさらに充実したものになるよう取り組みたいと考えています。

来年度に向けて

近年、田原地区では少子化・高齢過疎化が一層すすんでおり、学校においても、それにともなう児童生徒数の著しい減少がみられますが、令和２年度から奈良市特認校制度により、田原小中学校に他校区の子どもが就学することができるようになりました。田原小中学校の特色ある取組を深めるとともに、内外にそのよさをアピールし、地域、学校がより魅力あるものになるよう、地域と学校が、連携協働した事業の運営を進めていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立田原中学校運営委員会**

めざす子ども像
- **ふるさとを愛し、誇りとする子ども**
- **思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども**
- **よく考え、よく学び進んで実行する子ども**
- **人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども**

取組目標　**地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、将来地域活性化の中心となる人材を育てる。**

今年度の取組紹介

田原小中学校では、施設一体型小中一貫教育校としての特性を生かし、前・中・後期の各ブロックの発達段階に応じた特色ある活動に取り組んでおり、児童生徒は上級生をモデルとすることで、自ずとブロックの中でリーダーの育成がなされています。

今年度は、これまでに引き続き「キャリア教育」を学習の中心に据え取り組んできました。地域の方々からは、４年目を迎える起業家教育における、田原の魅力発信のためのリーフレットの作成のために田原やま里市場様、メリーガーデン様、日笠ワークス様での取組を教えていただいたり、探究的職場体験（ジュニアインターンシッププログラム）取組発表での幅広い助言をいただいたりと、多くの協力をいただくことができました。地域より温かく支援をいただけることは、日々の教育活動において大きな助けとなっています。

今年度のまとめ

学校では、「９年間の連続性・継続性を生かした一貫教育を行い、豊かな心と確かな学力を身につけた世界にはばたく人間を育成する」ことを学校教育目標に据え、教育活動を進めてきました。

これまで、地域と学校の間では、教育目標の実現に向けて多くの意見交流を重ねながら、活動支援にあたっていただきました。

今年度の活動を通じて、学校と地域とのつながりを強化し、地域の学校教育への関心を一層高めることができたと考えています。

来年度に向けて

今年度も、多くの地域の方々のご協力によって、取組を進めることができました。一方で、今後の活動の継続に向けて、コーディネーターやボランティアスタッフの高齢化が問題となっています。また、学校・地域との交流を通して、少子化・高齢過疎化という学校・地域の抱える共通の課題解決に向けて、取り組む必要性について、改めて確認することができました。

今後は、より多くの方々に積極的に関わってもらえるよう、事業内容の工夫や、参画・運営方法の改善を図るとともに、特に、保護者世代への呼びかけを積極的にすすめることで、学校・地域の活性化につなげていきたいと考えます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立田原小学校運営委員会**

めざす子ども像
・ふるさとを愛し、誇りとする子ども
・思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども
・よく考え、よく学び進んで実行する子ども
・人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標
地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、将来地域活性化の中心となる人材を育てる。

今年度の取組紹介

今年度は、２、３年生が水間地区をより詳しく学ぶために６月に校区探検に繰り出しました。旧水間小学校、八幡神社、西岸時、満天ひろばと水間地区にある施設を地域の方やボランティアから多くのことを学ぶことができました。この取組を進めるにあたり、地域の方が市の文化財課等との調整をしていただき、子どもたちは水間地区の秘密を数多く知ることができました。

５年生は、世界遺産学習を通じて、京都大原学院の子どもたちと交流をしています。６月に京都大原学院の５年生が奈良にある東大寺や奈良国立博物館に来ました。１２月に田原小中学校の５、６年生が京都大原学院を訪問し、京都大原の地域遺産について学びました。この交流を通じて、奈良のよさ、田原のよさに気付くとともに、京都大原との共通点も子どもたちは見出していました。そして、田原地区を学ぶだけでなく、自分たちで田原地区をどのようにピーアールしていけばよいか考えるよい機会となりました。

今年度のまとめ

田原地区は豊かな自然や伝統文化が地域の方の努力で現在にまで引き継がれてきています。小学校は「ふるさとや自然を愛する心を育てる」「地域に伝わる文化や伝統を守り伝える」そして、子どもたちが気付いた田原の魅力を発信する取組を様々な方の力を借りながら行っています。また、中学校と施設一体型の小中一貫教育校の特色を生かし、中学生の取組を参考に今、自分たちのできることを考え、取り組んでいる。このことが地域を支える次の世代の人材育成につながると考えています。

そのためには、地域と学校が連携協働して、子どもたちを見守り、地域とのつながりを大切に「ヒト・モノ・コト」のかかわりを通して、ふるさとや自然を愛する心を育てる取組を進めることが大切であると考えます。

来年度に向けて

これまでの取組を継続し、充実した取組になるように改善を図っていきたいです。令和２年度から奈良市特認校制度により他校区の子どもが田原小中学校に就学することができます。田原小中学校の特色ある取組を進めるとともに、内外にその魅力をアピールし、地域と学校が連携協働した事業の運営を行っていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**興東館柳生中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標　**校区の自然・歴史・文化等の良さを知り、様々な体験活動や地域の方々との交流を通して豊かな心と自主的に行動する力を育てる**

今年度の取組紹介

ふれあい広場 2019

中学校区の園児から中学生までが一つになれる行事として「ふれあい広場 2019」が今年も開催されました。午前中は、各学校園の文化的な取り組みの場として中学校の体育館にて発表を行いました。柳生こども園の子どもたちによる歌と表現､柳生小学校児童による歌やリコーダー奏、そして興東小学校の児童による歌・ダンスなどみんな大きな声で歌い舞い、一所懸命で生き生きとした発表は会場の方々を満面の笑顔にしました。また中学生は１．２年生が箏・歌を披露し日ごろの学習の成果を発揮しました。全校生徒で取り組んだ伝統芸能「大柳生太鼓踊り」は２年生が大柳生太鼓踊りの説明、１年生が口上を読み上げ、３年生は、歌・笛・鉦・太鼓・踊りすべてを今年は生徒たちが演じ、参加された地域の方々を魅了し大きな感動を与えました。午後からは、奈良市野外活動センターへ会場を移し、地域産品の販売や将棋・オセロゲーム、宝釣りやビンゴゲームなど地域の方と子ども達のふれ合いの場となりました。子どもたちが地域の中で生き生きと成長していく様子そのものが、地域みんなの楽しみでもあると実感した一日でした。

今年度のまとめ

今年度も地域の皆様方の協力により「ふれあい広場 2019」が開催されました。園児から中学生までの発表や、地域の方と一緒にゲームなどを行うことで、地域の方々からは「元気をもらうことができました。」「毎年楽しみにしています。」といった感想がよせられています。大柳生太鼓踊りは、踊り保存会、地域の皆様方の暖かいご指導のもと本番を迎え、毎年毎年違った感動が生まれるように思います。この他にも夏休みに開催された、望遠鏡を覗いて土星や火星・木星などの天体観察やトールペイントなどは親子一緒に活動できる場としても大盛況でした。

来年度に向けて

今年の取組をより一層魅力的な内容とするため、学校園と地域との連携をさらに密にし、協働しながら企画運営していくことが必要です。また地域全体に浸透させ、新しい人材の育成、さらに地域が主体的に行事に取り組めるよう広報活動の充実を図ることも大切な取り組みとなります。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立興東館柳生中学校運営委員会**

めざす子ども像　**郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標　**故郷を愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成**

【今年度の取組紹介】

～いつまでも美しい白砂川へ～

豊かな自然の中で、地域人材を活かした多彩な体験学習を進めてきました。また地域の自然や伝統文化などの本物にふれる体験を通し持続可能な社会活動について考える取り組みも行っています。昨年度は大雨のため、出来なかった白砂川の河川調査、今年度は大柳生町環境保全向上組織の皆さんと高校の生物の先生を招聘して９月９日に実施しました。

川の生物を調べることを河川調査といいますが、川の汚れは指標となる生物調査を行うことで４段階（きれい・ややきれい・汚い・大変汚い）に分類します。

今年の結果は、水質階級Ⅱ（やや汚い水）でした。やや汚いという評価ではありますが、それは生き物がたくさん暮らす豊かな水であるということです。

ホタルの里として有名な白砂川、これからも美しいこの川を未来に残すために、地域の方々と一緒になって自然環境の観察を続けることで環境保全に努めていきたいです。

【今年度のまとめ】

上記の他にも、「自分で浴衣を着よう」と家庭科和装の授業、そば打ち体験などの体験学習や伝統文化を学ぶ木剣体操や大柳生太鼓踊りのなど、地域の方々の支援により生徒達の学びは広がっています。これらの活動を通して人とのつながりの大切さを実感し、そして何より地域の方の熱心な姿は、生徒が主体的に学ぶ力を自然と引き出させてくれています。

【来年度に向けて】

少人数を生かした全校体制の取組が本校の特徴でもあります。来年度もこの利点を生かしつつ地域人材を活かした体験学習など、より一層積極的に進めていきたいと思います。また、あらゆる機会において地域の方々に本事業の取組を伝えることで、更なる協力体制につなげていきたいです。

令和元年度　取組報告　　奈良市立柳生小学校運営委員会

めざす子ども像　**郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標　地域の特色を生かした体験的な活動を多く取り入れる中で、
「いきいき・わくわく・元気な柳生っ子」を育成する。

【今年度の取組紹介】

１、柳生の伝統を体験的に学ぶ

柳生は「剣聖の里」として知られています。春は竹刀を用いた木剣体操に取組み、子どもたちは剣道を通して先人から引き継がれてきたことを体験的に学んでいます。105 回目を迎える柳生地区大運動会では、今年も木剣体操を地域や保護者に披露しました。柳生剣友会や保護者のご協力による秋恒例の「剣道大会」は、49 回目になります。防具のつけ方・作法を一から教わり、稽古や試合に挑む経験は、きっと子どもたちの人生の中で活かされる場面があると考えています。

２、学んだことを伝えた学習発表会

今年も学習発表会で、一年間の体験・見学学習で学んだことを、各学年でまとめ、地域・保護者の方々に伝えました。２年生は「町探検」で訪れた柳生の町の名所や郵便局・お店などについて、自分の感想を交え発表しました。本年度はコミュニティースクール導入一年目ということで、中学校区の学校運営協議会委員の皆様にも参観していただきました。

気を引き締めて防具装着

柳生の名所「一刀石」の説明

【今年度のまとめ】

剣道以外にも、柳生ゲストティーチャー（ＹＧＴ）を招き「茶工場見学・茶摘み体験」「米づくり体験」「いちご農家体験」「闘茶会」「柳生焼体験」「炭焼き体験」「柳生歴史教室」等、地域にゆかりのあるさまざまな学習活動を展開しました。地域の方による、地域を知る充実した内容の体験学習により、子どもたちは自らが住む地域の魅力を味わうことができました。

【来年度に向けて】

・地域人材の更なる発掘や若い世代への協力を要請し、現在の取組を深化させていきたいと思います。そのために、本事業の計画や目標等を、保護者や地域の方々により理解していただくため、学校便りやホームページ更新を継続して行っていきたいです。

・興東館柳生中学校として統合５年目になり、中学校区で協力し合い「ふれあい広場２０１９」を開催しました。今後、地域の方・教員・保護者の連携の場を組織的に設けるなど、企画運営方法を工夫し、関係者の共通理解を図り、地域の和も深められる有意義な取組にしたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立興東小学校運営委員会**

めざす子ども像　**郷土に誇りを持ち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標　**地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実をはかる。**

今年度の取組紹介

地域の方々との出会いを大切にし、地域の教育力をお借りして、本校教育を推進しています。なかでも“もち米作り”を昔ながらの農法で行い、米に関わる様々な体験学習を今年度も実施しました。田おこし、田植え、稲刈り、脱穀と年間を通して地域の方々に支援していただき“しめ縄づくり”“大とんど”までの活動を今年度も盛大に実施できました。本校にとってこの米作り体験は、地域で学ぶ体験学習事業の軸となる取り組みです。昨年度から低学年の“燻炭イモ作りの体験や、６年生の歴史遺産学習として、校区にある国宝を持つ円成寺を訪問しています。また４年生の白砂川でのニジマスの放流体験。３年生の蜜蝋でのろうそく作り体験等々、それぞれ本校校区の地域の方々のご協力あってのたまものであると感謝しています。

今年度より、教育活動支援事業（学力向上事業）として、英会話教室を実施しました。学校にほど近い古民家にオランダ人ご夫婦が越してこられ、興東小学校学び舎英会話教室の講師をお願いしました。子どもたちの学びの場が、またひとつ増えました。

今年度のまとめ

本年度も地域教育協議会との連携の下「ふれあい広場２０１９」の開催を含め、地域の方々の熱心な支援・協力のもと学校としての取組も順調に進めることができました。「たくさんのお客さんの前で発表して、大きな拍手をもらいとてもうれしかった。」という児童の作文からも、地域の思いや願いを知り、感謝の気持ちを表現し、学校に対する地域の方々とのつながりがさらに深まった様子がうかがえました。

来年度に向けて

校区から得られる人の温かさ、地域の産業、伝統文化の再確認と伝承していくことの大切さを学び、郷土のことを誇れる児童に育てていきたいと考えています。そのために、校区の歴史や伝統・産業を学び、先人の知恵や思いに触れ、体験を通して感性を育てていきたいと考えます。また、次年度も、これまで行ってきた活動を糧に、地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切にし、学校・地域の実情に合わせた取組を考えて、地域との絆をさらに強固たるものにしていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立柳生こども園運営委員会**

めざす子ども像　**郷土に誇りをもち、自らの夢をかなえようとする子ども**

取組目標　**自然や地域の人との関わりを通して、豊かな心を育み主体的に活動に取り組もうとする態度を育成する。**

【今年度の取組紹介】

地域の特色を活かした伝統文化や歴史に触れ親しむ経験や、地域の方に『地域の先生』として来ていただいての様々な体験活動を計画的に取り入れ、園と地域が一体となっての取り組み活動ができました。

○菜園活動

・畑の先生として地域の方から、その時期のいろいろな野菜苗や種のまき方を教わってきました。秋には、『収穫祭クッキング』を行い、地域の方を招いて、とれた米とさつまいもを使い、おにぎり、豚汁にしていただきました。

○藍染め体験

・T シャツとバンダナに、ビー玉や割りばしを使い輪ゴムでしばり、藍に染めると、綺麗に模様が出来ました。出来上がった T シャツを着て、運動会や『ふれあいひろば 2019』 に参加しました。

○柳生焼体験

・土をこね、ひも状にして積み重ねていき器の形に仕上げました。
重ねた所が薄くならないように伸ばしていくことが、難しかったようです。
できた器をつかって、地域の先生に教わり茶道体験をしました。

【今年度のまとめ】

地域が一体となっての取り組みを継続していたことで、子ども達は園の教育活動では経験できないたくさんの人との出会いと交流ができ、自然と人と人とのつながりができていきました。いろいろな経験を通して、認めてほめてもらえる事は、子ども達の大事な育ちの根源であり、少人数の園であるからこそ大事に育みたい思いやり、認め合い、たくましさに繋がっていく取り組みであるとこれらの活動を通して実感しています。また、地域の方の温かいまなざしとご理解・ご協力により実践できたことに深く感謝をしています。

【来年度に向けて】

地域全体で少子化が進み利用園児が減少する中で、本園が担う課題は大きいです。地域の中で子ども達が豊かに育つためには地域の人・もの・こと(地域資源)と触れ親しみ、顔見知りとなることで関係が豊かに広がっていきます。今年度、取り組んできた活動の成果を次年度に繋げ、地域と共に子どもの育ちや学びを大事に見つめ、活気ある豊かな地域活動をこれからも展開していきたいです。

令和元年度　取組報告　　**登美ヶ丘中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**幼小中・地域の確かなつながりの中で自ら考え未来を切り拓く子ども**
・課題解決に自ら取り組む　・規範意識を身につけ人権感覚を持つ
・未来を切り開く力を身につける　・地域に貢献する

取組目標　**協議会と学校の連絡を密にし地域に発信していく取組をしながら、地域の方々と子どもたちが一緒に参画できる場の提供と企画をする。**

今年度の取組紹介

今年度も中学生対象ですが放課後学習を取り組みました。英会話（イングリッシュカフェ）は当初から取り組んでいますが、ここ３年は、英会話以外に英語・数学・国語の３教科にも力を入れ取り組んでいます。講師は、地域の方にお願いして数学・国語は毎週１回、英語は隔週ですが週２回開催、講師も複数体制になってきております。部活動や塾に通う子も多く出席数は、ばらついていますが、生徒と地域の方との交流は年々深まり、今では教えている教科以外のテストの点数をも報告にくるくらい打ち解け会っています。その子が苦手とする個所を中心に学習することで、自信につながり、挑戦してくれることにつながればと願っています。

また、地域の方も、熱心に力を入れてくださり、「回数を増やしたら」「あの子生き生きしてきたな」「話しかけてくれるようになった」とお声をかけていただけるようになりました。

今年度のまとめ

放課後活動も少しずつ定着してきたと考えられます。地域協議会が何をしているのかは、子どもたちとのかかわりから分かっていただけるようになってきました。

が「学校の中に足を運んでいただく」ということにはまだ一部の方でしかなくつながってないように思われます。子ども達は、挨拶も、お礼も、声掛けもすすんで掛けてくれます。地域の皆さんにも肌で感じていただけるよう、普段の学校の様子、先生方のお顔をも、知っていただきたいと思います。

来年度に向けて

「誰かがしてくれる」ではなく「私もしてみよう」と思える活動であり、地域でありたいと思います。

令和元年度　取組報告

奈良市立登美ヶ丘中学校運営委員会

めざす子ども像　**幼小中・地域の確かなつながりの中で**
自ら考え、未来を切り拓く子ども

取組目標　**地域を愛し、地域に誇りを持ち、自ら学び、考え、判断し**
手応えのある夢を持ち、たくましく生きる子どもの育成

【今年度の取組紹介】

・授業において「繋がり合い、学び合う集団」を育成するため、計画的に校内授業研究会を実施し改善に努めました。また、広く地域や保護者にも公開し、理解と協力を得ました。

・未来を担い自立できる生徒の育成を目指し、本年度も生徒自ら考え取り組む事業を行いました。具体的な内容として、リーダー育成のため生徒会が中心になって行うリーダー研修会、クリーン作戦や苗植えなどを実施しました。特に、プロジェクト「ひまわり」では、生徒会・保護者・地域が一体となって、阪神淡路大地震後の環境から育った「はるかのひまわり」を育て、採取した種を、校区だけに止まらず、広く地域に配布しました。１学期にシンガーソングライターの堀内佳さんをお招きして行った人権講演会で「挑戦する心」「幸せを感じる心」「自尊感情」などについて考えるよい機会になりました。

・キャリア教育の一つとしての職場体験学習の事業所開拓や事業所の休業日における環境整備事業（花壇の整備）に協力を得て取り組みました。

・日常的な学校生活における支援の充実として、職員会議中の部活動見回り隊や図書館ボランティアによる昼食時の図書館開放や整理等にも取り組んでいただきました。また、一昨年度より図書室を地域にも開放し多くの方に来校していただきました。

・学力向上プロジェクトとして昨年度国語、数学、英語の３教科で月、水の放課後、土曜日の午前中に地域在住の指導者を招き、基本でつまずく子供たちに学習の場所を提供し基礎学力の向上に努めました。

今年度のまとめ

・今年度もコーディネーターや多くのボランティアの方々の支援を受け、一つひとつの取り組みが計画的に進められました。また、一層の工夫と改善を加えていただきより充実したものになりました。特に学力向上プロジェクトも軌道にのり、少数ではありますが生徒にも定着してきました。

・広報紙の発行をはじめ、ホームページの充実を図ることで、これまで以上に協議会の取り組みの啓発が進みました。

来年度に向けて

・来年度は、これまでの取り組みを継続しながら、昨年度動き出した「学力向上プロジェクト」にさらなる改善を加え地域と連携して取り組む予定です。地域の方の講師を探すことが困難ですが、コーディネーターを中心に進めていきます。

・「ホタルフェスタ」など校区の幼小中が連携して取り組める事業を模索し実行することや、地域の「夏祭り」等を通して小中一貫教育の一役を担っていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立鶴舞小学校運営委員会**

めざす子ども像　**幼・小・中・地域の確かなつながりの中で自ら考え、未来を切り拓く子ども**

取組目標　**地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる**

今年度の取組紹介

昨年度、本校キャリア教育の取組と関連付けて、自ら希望したボランティアの子どもたちが「鶴舞フラワー」という会社をつくり、地域の方が育てられた花の苗を学期に１回販売するという活動を行いました。今年度は、昨年の活動をさらに継承・発展させ、全校の子ども達が、地域の方と共に制作した作品（藍製品・花製品等）を広告作成・掲示も行いながら販売（保護者参観時）する活動を行っています。これらの活動は異学年の児童で構成した縦割りグループで、上級生がリーダーシップを発揮し、相談・協力もしながら、力を合わせて行うことが出来ました。

今年度も、防災教育の一環として地域の方に講演・ご指導いただき、地域の方と触れ合い、つながりながら「守られる側から守る側への気づき」を体感し「今、自分たちが安心して毎日の生活を安全に送ることが出来ていること」に感謝することが出来ました。

また、昨年「ゆうゆう学級」の仲間の活動をもとに全校のみんなで作詞し歌った「君のかわりはだれもいない」と「僕らの夢は無限大」の歌作りの取り組みは、今年も継承され、自分達が暮らす地域の方に感謝の気持ちを伝える歌の製作へと発展しました。完成した歌は、登美ヶ丘中学校区出身の音楽プロデューサーの方と共に体育館で全校児童が参加してレコーディングを行い、CDにすることが出来ました。地域のみなさんを学校に招待し、完成した歌も歌いながら「感謝の気持ちをを伝える集会」（2月）も行うことが出来ました。

地域の方々と、子ども達が触れ合うことが増えることで、「子ども達が地域の中でしっかりと生活し、地域とのつながりを深める」という目標に近づいているという実感を学校みんなで持つことが出来るようになってきています。

今年度のまとめ

前年の活動を踏まえ積み重ねることで、子ども達の取り組みはさらに発展・充実し、地域の方々の心も動かし、取り組みの深まりが増してきています。ボランティアの方々の熱心な関りと、子ども達への温かい心配りのおかげで、子ども達は、ますます成長し、ふるさと鶴舞を思う気持ちも強くなっています。学校・家庭・地域が、お互いの役割や機能を十分理解し、連携・協働することで、これからも「確かなつながりの中で自ら考え未来を切り拓く子ども」の育成をめざしていきたいと考えています。

来年度に向けて

これからも、学校の年間教育カリキュラムとの関りを重視しながら、地域の方々と共に協働して活動を継続することで、「地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる」鶴舞を創りあげていきたいと考えています。共に歩んで下さっている保護者・地域・関係団体の皆様、今後共、宜しくお願いいたします。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立平城西小学校運営委員会**

めざす子ども像　**幼小中・地域の確かなつながりの中で**
自ら考え、未来を切り拓く子ども

取組目標　**～自ら学び、考え、行動するやさしくたくましい子どもの育成～**

【今年度の取組紹介】

◆学習支援事業　「裁縫ボランティアさん」

５年生は毎年１０月に行われる野外活動で使うナップサックを家庭科の時間に作ることになっています。限られた時間で作品を完成させるのに苦手な子どもたちもいるので毎年大変なのですが、今年は地域にお住いの裁縫上手な方たちにサポートを受け満足のいく作品を時間内に完成することができました。また、野外活動当日も全員ナップサックのひもやホックが外れる事なく使えることができました。

◆読書推進事業「読み聞かせ」

毎日朝休みと中休み、昼休みに図書室を開放していますが、いつもたくさんの子どもたちでにぎわっています。本好きな子が多い理由に地域のボランティアさんからの読み聞かせがあります。毎回、その時期ならではの内容など子どもたちの興味がわく作品を選んで下さるので、子どもたちはいつもこの時間を楽しみにしています。

【今年度のまとめ】

今年度は、学習支援事業に重点を置いて地域の方にご協力いただきました。子どもたちにとって地域の方に支えられていると実感している１年だと思います。また、昨年から充実した図書環境になり、益々読書活動が楽しくなったのではと感じています。今年も地域の方々のおかげで子どもたちは元気で健康な生活を送ることができました。

【来年度に向けて】

今後もたくさんの地域の方にご協力いただき、自分の地域を自慢でき、健康でたくましい子どもの育成につながればと考えております。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立鶴舞こども園運営委員会**

めざす子ども像	**幼小中・地域の確かなつながりの中で自ら考え、未来を切り拓く子ども**
取 組 目 標	**子どもたちの興味・関心を湧きたてる体験活動の実施**

【地域とのつながり】

ゲストティーチャーを招いて、野菜や花を栽培・収穫を繰り返し体験させていただいたことで、昨年はタマネギ販売から地域のパン屋さんで園のタマネギを使ったパン「鶴舞オニオン」を商品化してくださいました。さらに今年もパン屋さんからの提案で、子どもたちが園内でパンの販売を経験することができました。地域の方の協力を得て、今年度は栽培から商品化そして販売と拡がり、キャリア教育につながる貴重な体験は、子どもたちの自己肯定感を高めることができました。

【3 色の染め物に感動】

四季を通して草花であふれる園庭は、子どもたちの主体的な遊びを引き出してきました。草花に深くかかわることで、子どもたちの知識や技能、豊かな感性が育まれました。そんな中から一昨年度はマリーゴールドを、昨年度はアイを絞り染め体験しました。今年は「ベニバナに挑戦してみよう」と種から育ててみました。子どもたちはこれまでの年長児の姿から、「3 種類の染め物をやってみたい」という思いが生まれ取り組むこととなりました。黄色いベニバナから紅色をおびた色に変化したときは「うわー！すごい！」と歓声が上がりました。3 色の染め物は運動会の大旗になりました。

【それいゆさんとの交流】

「それいゆ学園前」より高齢者の方々にお越しいただき、園児が運動会でのダンスを披露したり、「もったいないばあさん音頭」を一緒に踊ったりして過ごしました。音頭の輪の中には車椅子の方も入ってくださり、子どもたちと目線を合わせ触れあって共に笑顔があふれました。園で栽培したコーンを使ってのポップコーンも一緒にいただきました。高齢者の方は毎年楽しみに参加していただき、子どもたちも車椅子を押したり手をつないで案内したりなど、進んで触れ合う姿が見られるようになりました。

【今年度のまとめ】

取り組み紹介の他にも、地域の方が「弦楽器に親しもう」と大切な楽器を持参して音色を聴かせてくださったり、サッカーや英語も継続して体験させていただいたりしました。これまで積み上げてきた取り組みの中から、つながりが生まれ広がっていき、子どもたちにとっての興味・関心を引き出され、自ら学ぼうとする意欲や心情、態度がさらに育ってきました。

【来年度に向けて】

来年度から民間法人の運営となりますが、公私連携幼保連携型こども園として地域で決める学校予算事業が引き継がれます。今年度の教育目標も引き継がれますので、園で強化したい教育・保育内容や地域にサポートしてほしい方針を明らかにして更に豊かな体験活動につなげていただきたいです。

令和元年度　取組報告　　**平城西中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標　**「地域を守る人づくり」を目指し、学校・保護者・地域各種団体の連携をより一層促し、子どもたちの「人、事、物」の様々な体験の取組を充実する。**

【今年度の取り組み】

平城西中学校区防災フェス 2019

避難所開設訓練

避難者カードを全戸配布し、受付をスムーズに

体育館に段ボールベッド・仕切りを設置

【今年度のまとめ】

昨年度、「防災フェス」が熱中症対策のために開催中止となったことを反省点とし、開催時期を2学期に設定しました。地区自治連合会・自主防犯防災協議会など地域全体を巻き込み、地域主導の防災イベントを開催できました。初めて平城西中学校の体育館・校庭での避難所開設訓練を実施し、高齢者から幼児まで多く方々が参加し、「地域の繋がり」を育む大切な機会となりました。

ボランティアのそれぞれの活動は年間を通じて定期的、継続的に行なわれ、学校支援の輪は保たれています。しかし支援者の高齢化は進み、地域全体への事業の周知はいまだに途半ばと思われ、広報の充実を今年度のコーディネーター活動の課題として取り組みました。

【来年度に向けて】

・取組全体を振り返り、組織、運営方法を見直し、持続可能な活動へと構築したいです。
・心に響く広報活動を心掛け、事業の理解を深め、活動への興味をかき立て、参加者を募ります。
・子ども達が自らのエネルギーを引き出す企画を広い視野を持って立ち上げ、スタートします。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立平城西中学校運営委員会**

めざす子ども像　**確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標　**・防災体験学習やゲストティーチャー招聘などの事業を通し、地域の多くの方々との出会いやつながりをもつことによって、学校が地域の課題（防災）への取組の場となり、子どもたちの心や夢を育む豊かな学びの場となるようにする。**

今年も中学校を中心とした地域の防災活動、人と人との絆を大切に地域との交流を深める取組をポイントとして活動を行いました。

◆救急救命講習　11 月 29 日(金)

平城西中学校区地域教育協議会では、幼稚園・小学校からの連続した学びとして「防災」教育に取り組んでいます。その一環として、中学校では地元の奈良市北消防署のご協力のもと「助けられる側から助ける側に！」を合い言葉に、１～２年生で心肺蘇生法やＡＥＤの使用法などを中心とした「普通救命講習」を受講し、３年生ではもう一度復習の講習を受講しています。災害時のみならず家族や仲間の命を万が一の時に助けられるよう準備をしています。

◆防災フェス 2019　12 月 8 日(日)

中学校が避難所となることを想定して、「難所開設訓練」を中心に地域の防災隊や北消防署、高の原中央病院など様々な団体のご協力のもと「防災フェス 2019」を行いました。後半では「放水体験」や「大声体験」などの取組が実施され、中学生も非常時を想定した様々な体験をすることができました。

◆地域一斉清掃　12 月 14 日(土)

中学校周辺の一斉清掃に地域の方々と共に取り組みました。200 名を超える参加があり、中学校・神功小学校・神功こども園周辺の落ち葉清掃・溝掃除に汗を流しました。「ご苦労様」と声を掛けて頂き、生徒たちは地域の一員であることを実感していました。

地域ボランティアのみなさんによる日々の環境整備活動・図書室支援活動において、中学校では地域の方々との交流がごく自然な当たり前の風景となってきており、生徒は地域の人々とふれあい、見守られていることを理解し、安心して学校生活を送ることができています。また「校区一斉清掃」においては、貴重な体験を通して防災や地域環境への意識が高まると同時に、普段は学校と直接かかわることがない地域の方々と接することで、地域住民としての自覚も芽生えています。

地域における中学生の存在が、防災活動でも重要になってきています。これまで行ってきた「防災フェス」の中身も含め、取組のより一層の充実と改善を図り、「頼られる存在」としての自覚をもたせたいと考えています。また来年度は学習面においても地域の協力を得るなど、ボランティアの皆さんと一緒に活動する機会を増やしていくことによって、さらに地域の一員であるとの意識と同時に感謝の気持ちをもたせられるようにしていきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立右京小学校運営委員会**

めざす子ども像　**確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子**

取組目標　**地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる**

今年度の取組紹介

○地域・親子合同清掃（９月７日）

２学期が始まって間もない土曜日、保護者・地域の方・本校教職員など、１５０名ほどが右京小学校の運動場に集まってくださいました。年々児童数が減少し、夏が過ぎると運動場が草一面になります。今回も集まっていただいた方で草引きを中心に清掃活動を行っていただきました。おかげさまで運動場の草はなくなり、安全に安心して運動会の練習に取り組むことができ、運動会も大成功をおさめることができました。
また運動会当日は、清掃活動に来ていただいた地域の方も多数参加してくださり、子ども達に声援を送ってくださっていました。

○右京地区防災訓練（１０月２７日）

異常気象等による災害が各地で発生しており、「自分の命を守るため（自助)、家族や隣近所の方々を守るため（共助)」地域での防災訓練に参加して万一の災害発生時に備える目的で実施されました。６年生が防災訓練ポスターを描き、掲示でアピールしてくれたおかげで、保護者・地域の方・本校教職員と多数の参加がありました。煙避難訓練、救急救命訓練、炊き出し訓練など、様々な体験活動を通して防災意識を高めることができました。

今年度のまとめ

○プール学習に、地域の方と共に８年連続で外部機関から講師を招聘したことは、児童の泳力向上に成果がありました。泳げることに自信をもち、意欲的に授業を受ける児童が増えました。

○消防署の協力も得て、各学年で系統的に取り組んでいる防災学習や地域の防災訓練への児童の積極的な参加等を通じて、防災や地域の一員であることの意識をより一層高めることができました。

○環境ボランティアさんの活動や万年青年クラブをはじめとする地域の方々の学習支援、右京おはなしの会の活動は学校力を高める大きな一助となっています。

来年度に向けて

○今年度のテーマ・目標・事業を継承し、さらに地域・家庭・学校のつながりを深める取組を進め、自分の住んでいる町の魅力についてより知ってもらいたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　奈良市立神功小学校運営委員会

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取 組 目 標

地域と共に心を耕し、夢を育む神功の子　～学びの場をともに豊かに！～

今年度の取組紹介

●落ち葉拾い

１２月１４日、平城西中校区清掃活動として、落ち葉拾いを行いました。この季節になると学校内外が大量の落ち葉であふれます。学校のクリーンタイムで児童が校内と遊歩道の落ち葉清掃をしていましたが、なかなか追いつきません。地域、保護者、社会体育の関係者、平城西中学校の生徒など、多くの人々の協力によって落ち葉がすっかりなくなりました。

●福祉・高齢者疑似体験

１０月２５日、１１月２１日３・４時間目に、４年生福祉・高齢者疑似体験が行われました。神功地区社会福祉協議会と奈良市社会福祉協議会にご協力いただき、１１名のゲストティーチャーに教えていただきました。車いす体験は体育館からピロティ・職員室前の廊下を通って正面玄関までのルートを、車いすに「乗る」「押す」を交代して往復する体験をしました。ちょっとした段差があるとたちまち押せなくなり、前へ進めません。学校は段差だらけで大変でした。バリアフリーはとても大切なことだと改めて実感しました。

今年度のまとめ

ゲストティーチャー招聘事業の中で出会ったたくさんの地域やボランティアの方々から、子どもたちは豊かな体験や知識を学ぶことができました。そして、自分たちのくらす地域や奈良を愛し、大切に思う心も受け継ぐきっかけになりました。このような取組を通して、子どもたちの中には、地域の見守り活動をして下さる方々に、あいさつする姿が増えてきています。

来年度に向けて

防災学習を継続する中で、子どもたちに「自助」の力をつけつつ、地域の中での「共助」へと高めていけるように取組を継続・発展させていきたいと考えています。

児童見守り事業については、昨年度に続いて学校、PTA 及び地域の関係者が集まり意見を交換しました。今後も年１回のペースで意見交換会を実施する方向です。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立神功こども園運営委員会**

めざす子ども像

確かなつながりの中で、自ら学び続ける心豊かなたくましい子

取 組 目 標

地域の方とのかかわりを通して子どもが豊かな経験をし、遊びや生活の刺激となるような取組の充実

今年度の取組紹介

教育支援事業（科学で遊ぼう）

傘袋を使用したロケット作りをした後、園庭でペットボトルロケットを見せてもらいました。ペットボトルが勢いよく飛び出す様子を見た子どもたちは、「すごい！」と歓声をあげ、「どうしてロケットが飛び出すのかな」と興味をもちました。そしてボランティアの方から燃料がクエン酸と重曹であることを教えていただきました。この時期、クエン酸、重曹等を使って「粉遊び」をしていた５歳児にとってクエン酸、重曹は、身近なものであったため、「え！重曹とクエン酸」「だから、（混ぜた時に）プツプツしてたんや」と自分たちの経験したことと、ペットボトルが飛び出す様子を結び付けて驚きながらも納得した様子でした。

今年度のまとめ

教育支援事業では、子どもたちの生活や遊びの刺激となるような活動内容、時期を考慮し、計画した。それによって、活動内容と子どもたちの経験が結び付き、遊びや生活の刺激となりました。また今年度は、新たに絵本整理の活動を地域ボランティアとともにできたことで、お話が大好きな子どもたちは、家庭でもお話を楽しんで読む姿につながりました。

このような世代や職業の異なる地域の方とのかかわりは、多様な世代とかかわることが少ない園児にとってよい機会となっており、子どもの人とかかわる力の基盤となっています。

来年度に向けて

単発的な活動に終わらないように、保育のねらい、子どもの実態を職員間で共通理解し、事業を年間計画に位置付けていきます。また、子どもの興味・関心に応じて保育内容を見直し、より子どもにとって豊かな経験になるようにします。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立二名中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**人との出会いを通じて、地域で学んだ事を誇れる子ども**

取組目標　**「子どもの元気は校区の力、地域の力。育てよう地域の輪・話・和」**
子ども達と活動を進めながら地域住民の絆がつながっていく地域、
学校が連携協働できるようにする。

今年度の取組紹介

「さわやかクリーンデイ」＆「100 人絵本とカラフル市」

暖かく良い天候にめぐまれた 12 月 1 日、二名中学校と二名公民館とで、狭い道路をはさんで向かいあった立地を活かし、イベントを同日開催しました。

中学生が、学校周辺・会場周辺の落ち葉などをきれいに掃除してから、それぞれの分担された場所で大活躍してくれました。

学校敷地内では、生徒の作品展示や柿プロジェクトで作った柿クッキーや柿渋染め作品の販売や、かまどベンチを使い非常時の炊き出し体験として、参加者に豚汁をふるまいました。

西消防署・富雄消防団のご協力を得て、テント内で火災時の濃煙体験を実施致しました。

また、生徒のデザインの「顔出し看板」を教員と協力して作成することができました。

公民館での「100 人絵本」の受付にも中学生が一緒に携わり、多くの地域方々と交流することができました。

今年度のまとめ

今年度は、公民館と中学校の向かい合った立地を活かして、スタッフの方々と計画段階から連携・協力し、地域の方の参加が多かったので、中学生の活躍をたくさん見ていただくことができました。

スマイリー登校で仕上げた生徒の作品を教員の協力を得て看板作成できました。作品を通して行事に参加ができ、達成感や充足感が得られ生徒の自信につながったように思います。

プリント等で事前の防災学習を採り入れることで「さわやかクリーンディ」と各小学校区の「防災訓練」参加の、中学生の積極的な行動にもつながり、防災の意識を高めることができました。

来年度に向けて

中学生をはじめ子どもたちの防災意識を高めていくことを目標に、次世代の人材を育成のため防災学習をカリキュラム化とし、学校・地域が協力してすすめていきたいです。

また活動内容によって行事の名称変更も検討しています。

地域の子どもたちを、より多くの人材で見守り育てていきたいので、ボランティアの募集を継続してすすめたいです。

令和元年度　取組報告　　奈良市二名中学校運営委員会

めざす子ども像

人との出会いを通して、地域で学んだ事を誇れる子ども

取組目標

仲間と共に積極的に学び合い、自らの考えを発表し、表現できる力を持たせる。
自主的に行動し、地域社会に貢献できる生徒を育てる。

今年度の取組紹介

二名中学校では、多くの地域の方に、この１年間、関わっていただきました。その中の２つの取組を紹介します。

まず、「放課後等の学習支援」です。５月から、２月までのほぼ毎週月曜日に、「二名中寺子屋事業」として、地域の方に来校いただき、数学や英語等の学習支援を行っていただきました。夏休みには、各学年で行っている「学力補充事業」にも入ったり、「宿題サポート事業」も行ったりしていただきました。生徒もたくさん参加し、本当にお世話になりました。

次に、「読書活動推進事業」です。今年度、奈良市西部図書館の司書の方に毎月１度来校いただけることになりました。その機会を有効利用しようと、地域の方や多くの方にお越しいただき、本の整理の仕方などを教えていただきました。今では、図書館司書が来ない日も、地域の方のご支援で、図書室の本が整理され、図書委員も生き生きと活動し、図書活動が活性化されました。

二名中の活動に関わっていただいた全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度のまとめ

放課後の学習支援については、本校区では例年、力を入れた取組を行っています。今年度は、その活動に加えて以下の点が大きく前進しました。

一つは、「教育環境の整備」です。生徒自ら花を植え、学校の環境を美化しているだけでなく、中学生は地域の防災活動の大きな担い手であることも意識して、「さわやかクリーンデイ」などの行事を積極的に行いました。その中で、本校の災害時に活用できる「かまどベンチ」での豚汁などを地域の方に、ふるまいました。

もう一つは、各種取組の定着です。東大寺などの世界遺産での英語ガイド活動、障がい者や高齢者の理解体験活動、仕事の専門家から学ぶキャリア教育支援、地域と共に集う音楽発表会、一つ一つの取組が、本校の教育の柱としてカリキュラム化され定着し、生徒にとって有意義な活動になっています。

来年度に向けて

現在、地域の方と共に、不登校生徒の居場所つくりとして「スマイリー登校事業」を行っています。今年度は、本校区の園・小学校の教職員だけでなく、地域の方と共に研修を行いました。生徒一人一人に寄り添いながら、学校と地域で何ができるかを模索し、さらによりよき持続可能な教育を推進していきたいと考えます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立青和小学校運営委員会**

めざす子ども像　**人との出会いを通して、地域で学んだ事を誇れる子ども**

取組目標
- **地域の方々やゲストティーチャーの支援のもと本物を体験し、地域を愛する心、生きる力を育むとともに、自ら考え行動できる児童を育てる。**
- **読書活動等を通して、読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。**
- **校内における子どもたちによる「あいさつ運動」を始め、登下校時、地域の方々と元気にあいさつを交わすことで地域との関係を深めるとともに、自尊感情やコミュニケーション能力を高める。**

【今年度の取組紹介】

本年度も地域のボランティアやゲストティーチャーの方々の支援を受けながら、豊かな体験を通して学ぶ活動、子ども達に学ぶ楽しさが体験できる活動、子ども達の生きる力を育む活動となるように事業を進めてきました。

「学校図書館の充実」と「図書環境の整備」を目標に昨年度から始めた「図書環境整備事業」ですが、本年度も順調に継続して活動することができました。本年度は奈良市立図書館から図書館司書さんが支援事業として月に２回定期的に来ていただけました。豊富な専門的知識に裏付けされた示唆のもと、子どもたち自身がすること、学校ができること、地域の支援をいただくところの方向性を導いてくださりました。魅力ある図書室になるためには、蔵書の充実、そして借りたい本がすぐに見つかり、子供たちの手によってすぐに元にもどせる配置や表示が欠かせません。それを実現すべく、本の除籍作業から始め、今では分類を明確にし、ラベルの張替え、配置の改善、分類の表示の明確化を進め、目に見えてステキな図書室に変化しました。無理なく継続できる地域教育支援活動となるように今後も取り組んでいきたいです。

【今年度のまとめ】

今年度も、交通ボランティアの方々による見守り活動で、子どもの安心安全、地域を愛する子どもの育成に繋げていただきました。また、家庭科等における学習支援やゲストティーチャーを招いての体験学習、図書ボランティアの読書活動などが、子どもたちに学ぶ楽しさを体感させ、豊かな学力を育成することに繋がりました。図書環境整備という新たな事業も軌道に乗りました。これまで築き上げてきたことを大切に継続させながら、学校・保護者・地域が協働してより充実した取組とすることができました。

【来年度に向けて】

目指すべき「地域としての学校像」をしっかりと共有し、学校と地域が協働して、本校の「目指す子ども像」「取組目標」をより高いレベルで具体化できるように努めたいと思います。その為に、今までの活動を継続可能なより充実したものとなるよう、内容の改善を図っていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立二名小学校運営委員会**

めざす子ども像　**人との出会いを通して、地域で学んだことを誇れる子ども**

取組目標　**地域で育ち、地域に学び、地域とつながる二名っ子**

今年度の取組紹介

○地域人材を活用した、「地域を学ぶ学習」と「地域でふれあう学習」（地域ふれあい事業）

本校では、地域に出向いたり、地域人材を学校に招いたりして「地域を学ぶ学習」を行いました。２年の生活科として、いつも見守りをしていただいている方々と地域を歩いて「まちたんけん」をしました。安全面に配慮していただきながら、ともに住む地域の話をしたり、お店の見学をしたりしました。３年では地域の神社やお寺でお話を聞き、６年は、地域の方から、地域の歴史を教えていただきました。

また、地域の方をお招きし、学びを豊かにする学習を実施しました。１年の生活科「むかしあそび」で、地域の方や保護者の方にコマまわし、だるま落とし、あやとりなどコツを教えてもらいながら一緒に楽しみました。そのほかにも、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、どんぐり工作（１年図工）、声楽体験授業（４，５年音楽）を行いました。

○市立図書館の学校図書館支援と連動した「図書室環境整備と読み聞かせ」

今年度から市立図書館の司書の方の訪問が始まったことを機に、図書室環境の整備を図書委員と地域ボランティアの方が中心となり、ラベルの張り直し、本の並べ替え、見出しの作成など、整備を進めています。休み時間には、他の利用児童も参加することで、本への興味が高まっています。

また、以前から読み聞かせを行ってくださっている図書ボランティアの方と司書の方の座談会を行い、読み聞かせについての知識を深め、児童への読み聞かせやおはなし会がさらに充実したものになりました。

今年度のまとめ

今年度の取組でも、地域の方々にたくさん関わっていただきました。登下校の見守りや図書ボランティアなど、長年にわたり行っている内容もあります。また、教科学習に位置付けた交流等では、目的や実施方法を再確認しながら実施し、豊かな体験と地域に根ざした学習の充実につながりました。

このような活動をＷｅｂページ等で発信するとともに、地域の方を保護者に向けて紹介できる場面や地域の方をふれあい音楽会等に御招待し、児童の頑張りを見ていただける機会を設けました。このことで、児童と保護者、地域が学校という場を通してつながることができました。今後児童が、さらに「地域を誇れる姿」を見せてくれることを地域の方と一緒に心待ちにしています。

来年度に向けて

児童は直接地域の方と関わることで、見守っていただく安心感や感謝の気持ちをもつことができています。このようなことを保護者に向けて発信することで、家庭でも「地域とつながる」気持ちを深め、さらに地域とのつながりを深められる工夫をし、地域と共に児童を育てていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立青和こども園運営委員会**

めざす子ども像　**人との出会いを通して、**

地域で学んだ事を誇れる子ども

取組目標　**心豊かにたくましく地域とともに生きぬく子どもの育成**

今年度の取組紹介

<体験事業―お米をつくろう―>

地域の方にお米作りを教えていただきました。６月、田んぼの土と水を用意してくださり、一人一人が自分のペットボトルに田植えをしました。土を触りながら園庭の泥との感触の違いに気づいたり、成長を楽しみにしたりしながら土が枯れないように毎日少しずつ水を足して見守りました。夏休み明けには、ぐんと伸びている稲の様子に驚き、保護者も興味をもち子どもたちと一緒に生長を楽しみにされていました。10 月、大きく成長した苗を刈り取り、はさがけ、乾燥、脱穀をしてやっと１０月末、子どもたちの収穫したお米（玄米）を持って帰る日となりました。各家庭で食され、『白米と一緒に炊くと青和米はプチプチとした歯ごたえがあり、家族に自分が作ったお米だと自慢しながらいただきました』『「お米１粒１粒を大切にいただこうね」と家族でおいしく食しました』等感想をいただき家族で生長・収穫を体全体で受け止め満喫できました。世話をし、生長や収穫の喜びを感じながら興味・関心・観察力が育ちました。子どもたちは継続して関わってくださった地域の方を‘お米の先生’と呼び、親しみを感じ、お礼の手紙を送りました。この事業にはたくさんの地域の方々が興味をもって関わっていただきました。

今年度のまとめ

○　地域の方々がコーディネーターの方を中心に積極的に関わっていただき、子どもたちは感動を共有し、地域の方々との触れ合いを通して人の温かさや優しさを感じることができました。

○　地域の方々の子どもたちに体験してほしいと考えてくださる熱い思いを受け連携しながら保育内容を工夫し「花生け」「柿渋体験」「木工遊び」等園児は様々なひと・もの・ことと出会い、ふれあい、心動かし、生活の幅を広げることができました。「家庭では経験できないことができた」「今後も続けてほしい」「貴重な体験を教えていただいた地域の方々に感謝します」などとの保護者からの評価を受けました。

来年度に向けて

本年度の取組をさらに深め、地域の方々にも積極的に参画していただき、地域の特色を生かした保育内容を工夫し、園運営をすすめていきたいと考えます。また、子どもたちや保護者にも地域の方々に見守られていることを発信しながら、地域を知り、好きになり、大事に思えるように様々な体験活動の充実を図っていけるよう努めていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立二名幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**人との出会いを通して、地域で学んだ事を誇れる子ども**

取組目標　**地域の方々との関わりを通して、子どもたちの興味・関心を湧きたてるような体験活動の実施**

今年度の取組紹介

〈ふれあいデー（未就園児保育）サツマイモの栽培〉

在園児やふれあいデー参加の未就園児親子に、サツマイモの成長や収穫の喜びを感じてもらうことを目的に、地域の方々をゲストティーチャーとして迎え、サツマイモのつるさしを行いました。最初に地域の方からつるさしの仕方を教わり、子どもたち一人一人に「上手く植えられていますよ」「大きくなるのが楽しみですね」など優しく声を掛けていただきながら、サツマイモのつるさしをしました。参加した未就園児の保護者からは「収穫するのが楽しみです」「こんな経験は初めてで楽しかったです」などの感想を聞かせていただきました。在園児からは「やさしく土をかけよう」「植えたら水あげよう」「大きなサツマイモになるかな」など成長を楽しみにする姿が見られました。

その後、在園児は水やりや草引きなどの世話を通してサツマイモの成長を感じ、未就園児は、ふれあいデーの時に「つるが長くなっている」など興味をもって成長を見ていました。地域の方も時々園に立ち寄ってくださり成長の様子を見て、世話の仕方を教えてくださいました。

１１月収穫の時期を迎え、地域の方々や在園児ふれあいデー親子でサツマイモを収穫しました。地域の方と一緒に土を掘りサツマイモが出てきた時は、「すごい」「大きい」と歓声が聞こえ、みんなで収穫の喜びを味わうことができました。

今年度のまとめ

地域の方々の協力を得て、様々な体験をすることで子どもたちは地域の方へ親しみを感じ、感謝の気持ちを伝えたり自分から話しかけたりする姿が見られるようになりました。子どもたちは、地域の方々の温かい心に触れ安定し、人とのかかわりを広げていくことができました。また、今年度は、ふれあいデーの内容の見直しを行い、さくらんぼ組（０・１歳児）といちご組（２・３歳児）に分け、年齢に応じた活動を実施してきました。年間を通して地域の方に参加していただき「１年間の子どもたちの成長を感じました」という意見を聞かせていただきました。

来年度に向けて

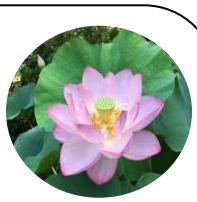
子どもたちが、地域の方々の協力を得て行った様々な活動で学んだことや感動体験を日々の保育の中に活かし、より保育を充実させていきたいと考えます。今後も地域の皆様と連携を密にしてご協力やご理解を得ながら、地域に開かれた幼稚園になるよう努めます。

令和元年度　取組報告　　**京西中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**『自らのまちに誇りをもって、自らの街のことを語れる子ども』**

取組目標　**～守ろう地域のたから　育てよう故郷を愛する子どもたち～**

今年度の取組紹介



【『史跡散策』（ 計画どおり実施）】

地域の特徴を活かした『史跡散策』は今年で5年目となるメインの取組みで、今年度は「薬師寺」を見学しました。

【小学校交流ボッチャ大会】

今年度は、新しい取り組みとして、二小の交流を目的としたボッチャ大会を中学校で開催し盛況でした。

【学校園の授業サポート・図書ボランティア活動】

福祉体験授業（車イス体験）・わかばふれあいレストランや家庭ボランティアのサポートや地域探訪時の見守りは地域の諸団体にも協力を得て実施しました。

図書ボランティア活動は本の読み聞かせや英語カードの作成など幅広い活動を展開しました。

【広報紙「京チュン通信」（3回/年　計画どおり発行）】

地域で決める学校予算事業や放課後子ども教室事業の内容を多くのひとに知ってもらい理解してもらうための「京チュン通信」は多くのコーディネーターが関わって写真や原稿を準備して作り上げています。

【世界遺産学習全国サミット】

今年度、奈良市で開催された世界遺産学習全国サミットで、京西中学校区の取り組みを発表しました。

今年度のまとめ

・「史跡散策」は“地域を知ることができる”取組みとして好評で定着しつつあります。
・小学校での活動がメインであった図書ボランティアの活動が中学校・幼稚園でも展開できるようになり、奈良市の司書さんの協力もあり、図書室に来る子どもが増えてきました。
・「京チュン通信」は子どもたちや地域の皆さんにも好評で発行を心待ちにする人が増えています。

来年度に向けて

・来年度も地域・家庭・学校が連携・協働して子どもたちを育成する活動を推進します。
・『継続は力なり』と考えており、今年度の取組みをメインに内容をステップアップさせながら、「史跡散策」「授業支援」「京チュン通信の発行」などの活動を地道に取組んでいきます。
そして、ボランティアの輪を広げ、サポートが必要な場面で必要な支援ができる組織をめざします。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立京西中学校運営委員会**

めざす子ども像　**自らのまちに誇りをもって、**

自らのまちのことを語れる子ども

取組目標　**学校を美しく　こころを豊かに　挨拶が響き合い**
互いの思いを語り合える学校に

今年度の取組紹介

・第 11 回京中オープンスクールでは、～学ぼう地域の方々から・考えよう生き方～と題して、地域の方々が自分の職業やキャリアに即した授業を行っていただき、生徒たちは楽しく学習させていただきました。
本年度は、新しく 2 名の地域の先生方を紹介いただき、講義内容の幅も広がりました。

・学習支援活動では、福祉体験の講師として、また図書ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱや本の読み聞かせなど取り組みの内容に深まりが出ました。

・昨年度中止したふれあい作業は、校舎内の壁のペンキ塗り・ガラスふき作業を行いました。
生徒と保護者・地域の方が、学校の美化活動を行うことで交流が深まり、学校を大切にする意識も強まりました。

今年度のまとめ

・多くの事業が定着し、生徒や地域にも受け入れられています。

地域の皆さんが温かく見守り、時には一緒に活動してくださることで、生徒の心の中に学校愛や地域愛が生まれつつあるように思えます。挨拶がしっかりできる生徒が多くなり、朝から元気な声が響いています。

来年度に向けて

・各取り組みが、生徒・保護者・地域の皆さんに深く浸透していることがうかがえます。
マンネリの活動にならないように工夫を行うとともに、地域の方々が参加してよかったと思っていただける活動方法を模索したいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立六条小学校運営委員会**

めざす子ども像　**自らのまちに誇りをもち、まちを誇れる子ども**

取組目標　**命こそ宝、地域も宝、宝を活かそう！**

【今年度の取組紹介】

・　本年で５年目の家庭科の実習（調理やミシン作業）サポートボランティアさんは、今年も欠くことのできない存在でした。リアルタイムで、高学年の子ども達の質問に、担当教員と同じ応答をしていただき、安心安全な空間を醸し出してくださいました。

・　低、中学年の子ども達には、環境整備（種植えや委員会活動）活動のサポートや、七輪を使った昔の暮らし体験の支援を、例年同様にしていただきました。そして何よりも、校区探検などの校外学習における交通安全指導（同行）は、教員と子ども達にとって、頼りがいのある大きな応援団でした。地域を知り、地域の人たちを知る。その人たちの熱い思いまで知ることができる。今年も、ありがたい学習時間でした。

・　今年で３年目になった夏季休業中の「ふれあいペンキ塗り作業」。酷暑にもかかわらず、１００人近くの地域の方と職員で校舎内の壁をきれいに塗り、子ども達へ気持ちの良い学習環境を整えることができました。ペンキに塗れながら作業を担われた皆さん、これこそ地域の力で、地域が宝です。

【今年度のまとめ】

・　学校や子ども達のためにご尽力いただいている地域のボランティアさんをお招きして、感謝の気持ちを表す「ありがとう集会」。日ごろの感謝の場面を思い起こさせる朗読や写真紹介、それに加えて全校合唱など、いつも以上に会場が盛り上がりました。１月最初の登校日には、「あけましておめでとうございます。」と自発的に挨拶できた児童もいました。『感謝しなければならない』という姿勢（気持ちや態度）から、『感謝（挨拶を）したい』気持ちに変わる児童が増えました。

【来年度に向けて】

・今年から、熱中症対策の飲料については、ボランティアの皆さんご自身にお持ちいただいていましたが、それだけでは足りない位に暑かったです。今後は「冬場であっても保水は大切」、ご参加いただくボランティアさんの安全、体調をさらに考慮した無理ないご参加を HP や広報紙で呼びかけていきます。ボランティアの皆さんの高齢化が進んでいます。保護者の皆さんからボランティアさんを増やすため、HP やプリントなどで広報活動を広げていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立伏見南小学校運営委員会**

めざす子ども像　**自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども**

取組目標　**かしこく　なかよく　たくましく**

伏見南で学んだことを誇れる子の育成～見つけよう　今の自分　未来の自分

【今年度の取組紹介】

地域 CN やふしニャンの会の皆様と共に話し合いを重ね、「天の川の集い」「しめ縄づくり」「ふれあいの日の餅つき」「とんどの集い」などの土曜日活動を通してたくさんのボランティアから学校を支援していただくことができました。昔からの伝統行事を体験するだけでなく、地域の方とのふれあいを楽しむ良い機会となりました。また、地域の方をゲストティーチャーとして招聘し、平和学習や防災学習、薬物乱用防止教室、ボッチャ体験など開催していただき、多様な学びを取り入れた教育を推進することができました。

毎週、図書ボランティアと図書館司書によるブックカバー貼りや図書室の環境整備、図書コーナーの設置、読み聞かせなど子どもたちが本に親しむ場を作っていただき、読書をすることが楽しいと感じる子どもが増えました。読書だけでなく、基礎学力向上のために漢字の学習にも取り組んでいただき、２月８日に本校での漢字検定も地域 CN が中心となり開催することができました。

【今年度のまとめ】

地域の方と共に体験的な活動を通して、子ども達の道徳的実践力を養い、自己肯定感を高めることができました。「豊かな心・人間関係力の育成」を目指し、地域の方をゲストティーチャーとして招き、キャリア教育の視点から様々な学習場面で体験的な活動を展開しました。こうした活動や登下校の見守り活動を通して、地域の方とのコミュニケーションをとる機会が多くなり、地域・学校・家庭が三位一体となって子どもの成長を見守っています。

【来年度に向けて】

地域の方の協力を得ながら、子どもたちの学びを深める体験活動や環境整備、子どもの見守り等を中心に取り組みを進めていきたいと考えています。今後、さらなる改善のために地域の方が学校教育に参画していただけるような学習場面を設定し、ゲストティーチャーや学習ボランティアとして参加していただけるような年間計画の作成を行うとともに新たな人材発掘をしていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立六条幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**『自らまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども』**

取組目標　**「こころとからだで感じられるこども」**
～おもしろそう　やってみたい　できた喜び～

今年度の取組紹介

○染め物教室では、地域の方の協力で園内に咲いたマリーゴールドや赤しそ、ヤマモモの実を使いジュース屋さん等の遊びを十分経験した後の染め物体験ということで取組目標の「おもしろそう　やってみたい　できた喜び」を実践することができました。自分たちが普段している花や実をすりつぶしてする色水遊びで面白いな不思議だなと感じていることが、形ある作品になったことで感動体験として子どもの心に残るものとなりました。またそれを運動会の鉢巻きや生活発表会の道具にして活用することができ、継続した経験となりました。

○運動遊びの会では、「なわとび」「フープ」を使ってからだをいっぱい動かす遊びを指導していただきました。子ども達が「こんな遊び方を見つけた」と伝えにいくと「すごいね。みんなでやってみよう」とまわりを巻き込んだ声掛けをしてくださるので、健康な心とからだだけでなく認められた喜びや達成感、考えたり工夫したりする思考力が身についていきました。

今年度のまとめ

染め物教室や運動遊びなどでは、地域のゲストティーチャーに教えていただき、みんなで一緒に活動していくことの大切さや面白さを学ぶことができました。また、毎年継続している『菜の花プロジェクト活動』の中で、薬師寺や唐招提寺へ親子で幼稚園で採れた菜種油を奉納しに行ったとき、昔から変わらずにあるお寺の姿を見て、ある園児から「みんなが大事にしてきたからあるんやな」という言葉が出てきました。園児なりの「自らまちに誇りをもった活動」が地域や保護者の方々に協力していただきながらできたように思われます。

来年度に向けて

取り組みを地域や保護者に啓発、発信することで年々関心も高まり、子どもと共に参加してくださる人も増えてきています。地域との活動の中身もホームページや園内掲示で伝えていき、園児がいきいきとしている様子や地域の方と関わり、幼稚園・地域が活性化している様子を広めていきたいと考えています。子どもの好奇心は思考力の芽生えとなり、自信や意欲につながります。今後も様々な不思議との出会いを大切にし、地域の方々と楽しい体験を増やしていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　奈良市立伏見南幼稚園運営委員会

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども

取　組　目　標

いろいろな人や身近なものとの関わりを通して、心豊でいきいきと活動する幼児を育てる。

今年度の取組紹介

【のびっ子クラブ　～健康な心と体を育てる～】

今年度より、日々の遊びだけでなくゲストティーチャーを招いた運動遊び「のびっ子クラブ」を年間計画に位置づけました。身近な道具や用具を使い、子どもたちの興味関心に合わせたいろいろな動きを取り入れながら、思い切り体を動かす楽しさを味わいました。子どもたちから日々の遊びにも取り入れる姿も見られ、意欲的に挑戦したり活動したりする姿が見られるようになりました。

【お話ひろば　～いろいろな話に親しみ豊かな心を育てる～】

お話ひろばでは、定期的に地域コーディーネーターの方やボランティアの方が園児に絵本の読み聞かせをして頂いています。子ども達はいろいろなお話に触れることで豊かな心を育み、聞く力にも繋がっています。また今年度は地域コーディーネーターの方が小学校の図書委員会や図書ボランティアの方とも繋いでいただいたことで、小学校の児童絵本の読み聞かせを行ったり、保護者の方にブッカーによる絵本の補修作業を教えて頂いたりしました。

【すくすくクラブ　～未就園児親子と在園児の関わりを通して～】

未就園児「すくすくクラブ」では、今年度は活動内容を見直し、年間１１回から１３回と回数を増やし、在園児との交流の機会を増やしました。回数を重ねることで保護者から離れることのできなかった未就園児が在園児と一緒に遊ぶ姿が見られるようになり、互いに良い刺激となっています。

また、地域ボランティアの方が毎回、活動がスムーズにできるように手伝っていただいたり、子どもたちや保護者の方と関わったりしていただくことで、未就園児、園、地域の繋がりを共に感じることができています。

今年度のまとめ

核家族が多い子ども達が、地域の方、小学生、年下の子等、様々な年代の方と触れ合う機会を意図的、継続的につくり活動してきたことで、愛情や親しみを感じ身近な人と意欲的に関わろうとする姿が見られるようになりました。様々な活動にいきいきと参加し、事業を通して子ども達の心や体の成長に繋がり、保護者の方からの関心が高いです。

来年度に向けて

地域の方々の協力や支援により、子どもたちが地域を知り、人との関わりを広げ、豊かな経験ができています。今後も継続しながら、目指す子ども像に向けて地域、保護者、幼稚園の連携を密にし園活動の更なる充実に繋げていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**富雄南中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像

・学びを大切にする園児児童生徒
・仲間を大切にする園児児童生徒
・命を大切にする園児児童生徒

取組目標

豊かな心を育み、地域を大切にし、たくましく生きる力を持った子どもの育成をめざす学校支援活動の促進と地域全体で展開する美しく、安全・安心な繋がる地域づくり。
・子どもも大人も生き生きできる地育
・結ぼう地域の絆「豊かな心、しなやかな学び、確かな安心」

今年度の取組紹介

◆地域防災・減災への意識を高める取組の一つとして、「防災フェスタ in 富南」の開催を継続していることで、生徒、児童の防災への意識も高くなり、地域との結びつきも強くなってきています。この取組で、地域の方との打ち合わせも生徒から意見が出るようになり、当日に運営スタッフとなった生徒たちは、個々が自分で考え動けるようになってきています。

また、近隣及び地域の団体に協力を依頼し、防災教育・防犯教育を通して社会的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てています。

今年は異常気象による水害対策として、「浸水体験」を開催。消防団より災害時の対処方法などを学びました。

◆小学生にもボランティア意識が高まり、防災フェスタでスタッフとして活躍してくれる児童が増えてきました。今年度は花苗の買い付け、値付け、販売までを経験し、経済の仕組みを学びました。◆昨年度同様、漢字検定を開催。家庭で親子が同じ目標を持ち、家庭での会話を持つ良い機会になりました。

今年度のまとめ

「防災フェスタ in 富南」を積み重ねてきたことで、子どもたちの防災への意識も年々高まり、自分たちがどのように動けばよいのかを自ら考える力も大きく身に付けてきています。また、防災フェスタで出会った方へのあいさつも増え、地域とのつながりも少しずつではあるが強くなってきています。

中学校区に定着してきたマスコットキャラクター「とみにゃん」を使っての校区産品を作ろうと生徒会やボランティアサークルが教員や地域と一緒に考案した産品も好評で、製品を安定して作る大変さを経験できました。

来年度に向けて

漢字検定の継続と、中学校で定着してきたボランティア活動を各小学校にも拡大し、自ら考え行動できることは勿論のこと、リーダーシップの取れる子どもの育成への取り組みを行っていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄南中学校運営委員会**

めざす子ども像　**学びを大切にする園児児童生徒**
仲間を大切にする園児児童生徒
命を大切にする園児児童生徒

取組目標　**子どもたちが地域とのつながりを意識できる**
学習環境整備･取組を充実する。

今年度の取組紹介

○ 地域人材の協力を得ながら実施している**キャリア教育事業**(福祉体験・職場体験学習等)は、子どもたちが将来の職業を考える指針となっています。ポスターセッションではご協力いただいた地域の方々や保護者に参観いただくこともできました。地域の方々の協力により、生徒たちの表現力とコミュニケーション力を高める機会をつくることができています。
また、今年度は新事業として、**放課後等学習支援事業**をスタートしました。夏季休業期間や定期テスト前に設定した『とみにゃん学習会』に、多くの子どもたちが参加しています。**教育活動支援事業**(情報教育支援・特別支援教育支援等)も継続支援いただいています。

○ 中学校区地域教育協議会の**自主的行動促進事業**としての『とみにゃんコンサート』、『防災フェスタ in 富南』といった協議会主催行事に、多数の生徒や教職員が部活動単位で協力および積極的に参画しており、地域との協働体制が定着してきています。
また、吹奏楽部やギター・マンドリン部への地域からの演奏要請も増加し、本校運営委員会としての**地域交流事業**が広がりをみせており、学校・地域双方の活動理解につながっています。

富南焼
カスタード入りです!

今年度も『防災フェスタ in 富南』で、地域ボランティアサークル「とみにゃんクラブ」の生徒たちが《富南(とみにゃん)焼》を調理し、《とみにゃんせんべい》とともに販売することで地域キャラクター「とみにゃん」を広報できました。本校の生徒が作詞・作曲した『とみにゃんの歌』も生徒が**キャリア教育事業**の職場体験で披露する等、幼小中連携のもと、中学校区の子どもたちが「知っている歌」になってきています。地域キャラクター「とみにゃん」の知名度は着実に高くなってきており、「とみにゃん」とともに地域の子どもたちがつながり、成長しています。小学生ボランティアの「とみにゃんＫＩＤＳ」の体験やコミュニケーション能力が、中学生の「とみにゃんクラブ」の活動を経て地域活動の担い手につながっていくことを願っています。

○ **環境整備・栽培事業**では、人的・物的支援をいただき地域の「花いっぱい運動」と生徒会活動、「とみにゃんクラブ」の活動により、温もりのある美しい学習環境づくりを進めることができています。ＰＴＡ･地域合同清掃活動をはじめ、トイレ環境整備にもご協力いただき協働実施することができました。

今年度のまとめ

地域行事や地域教育協議会主催の行事への協働体制が定着してきており、事業の取組が地域と生徒・学校、双方向の活性化、地域活動・学校活動それぞれの活動の認知や理解につながってきています。本校生徒作詞作曲の『とみにゃんの歌』の広報も園小中連携を示す取組となっていました。
また、本校のめざす「美しい学校」づくりは本事業の地域の支えによる環境整備により充実推進できています。ただ本校に必要な教育活動支援や環境整備支援等の人材確保はまだまだ難しいのが現状であり、今年度スタートした『とみにゃん学習会』の運営方法も検討の必要があります。

来年度に向けて

地域とともに子ども達を育成する視点を大切に、諸協働活動、キャラクターを活かした広報活動等の取組等により、子ども達の「自尊」「他尊」「地尊」の心と主体的に行動できる力を育てていきたいと思います。ホームページ等の情報発信も、さらに充実していきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄南小学校運営委員会**

めざす子ども像　**学びを大切にする園児児童生徒**
仲間を大切にする園児児童生徒
命を大切にする園児児童生徒

取組目標　**・読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる**
・地域の方々とのふれあいを通して、コミュニケーション能力を高める

今年度の取組紹介

本校はこれまで、地域の特性を生かした体験活動を実施することにより、地域のかたとのふれあいを通して豊かな人間性の育成を図ってきました。自分たちが生活する地域社会と積極的に関わり、体験活動を通して学ぶ楽しさを味わうことが、地域を愛する心やより良い生き方・考え方を身につけることができると考えました。

地域の方の人材を生かした野の花ぶんこ読み聞かせ事業として、絵本読み聞かせ体験を設定

全学年全学級および特別支援学級（学習室）で、地域の方を迎え、情操力の向上を目指して、野の花ぶんこ絵本読み聞かせ事業を行いました。毎学期１時間ずつ全ての学級で、地域の野の花ぶんこの方々が、それぞれの学年の実態に即した絵本を読んできかせてくださり、児童は、とても楽しみにしています。教卓の上にろうそくをのせて、その火をつけたり消したりすることで、幻想的な雰囲気もつくっていただいています。子ども達は「絵本が好きになった。」「次のお話は、どんな話かな。早く聞きたい。」など、本に対する親しみがわき、表現能力の向上につながっています。また、本校では、たくさんの保護者の方に来ていただく絵本読み聞かせ事業（ファンタジータイム事業）も行い、学校全体で絵本に親しむ様々な取組を行っています。

今年度のまとめ

「地域の環境を生かした体験活動」「読書環境の充実」「校内および地域の環境整備事業」「楽器演奏体験やお茶の体験など地域の人材を生かした学習」「放課後学習の充実」を柱に、学校・保護者・学生・地域が協働して様々な取組を推進してきました。どの取組でも、ボランティアの方々に多大のご苦労をいただいたが、事後、どの方も「学校に来て、子どもに元気をもらった」等の肯定的なご意見を多数いただいています。また、児童からも「大学生のお姉さんにやさしく宿題を教えてもらい、よくわかった。」「昔遊びを教えてくれたのは、近所のおじさんです。」等の話を聞くことができました。児童に自分が住む地域への関心を深め、地域の中で生きているという意識を持たせることができました。地域の方々が学習活動に参加していただくことで、本校教育への理解を深めていただくことができました。

来年度に向けて

あたえられた環境の中で、活動内容を深化発展させるとともに、地域の方々との絆をさらに深め、ボランティアおよびコーディネーターの人材発掘も今年度以上に積極的に進めていく必要があります。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立三碓小学校運営委員会**

めざす子ども像　**・学びを大切にする園児児童生徒**
・仲間を大切にする園児児童生徒
・命を大切にする園児児童生徒

取組目標　体験　発見　創造ひろがる「三碓学習」
児童の豊かな感性を醸成する
～学習環境の整備・充実　地域の方々と連携し本物にふれる体験を～

今年度の取組紹介

「三碓の町たんけん」「いのちの学習」「三碓（なら）の祭り」「むかしあそび」「伝統文化～書道」「人権と平和」「米作り」など各学年で、テーマに基づき、様々な本物に触れる活動を行いました。これも長年本校を支えてくださる地域の方々のお蔭です。

児童の「なぜ？」から環境問題に対する課題を設定し、地元を流れる富雄川に目を向け、様々な人と関わって水質を調べたり水生生物を捕獲し飼育したりして、それらをまとめ、自分たちができる環境の守り方を相談し交流することができました。児童の疑問は専門的な知識や技術が必要なこともあり、様々な専門分野の方々のご協力を得、児童は本物を体験することができました。他にも、書道の指導者・獣医師会の先生方・昔遊びの達人(地域のお年寄り)など、多くの方々に実体験をさせていただきました。

また、豊かな感性や情操を育む事業として、1年を通しての「図書ボランティア」読み聞かせ活動と「校内緑化」事業を継続し、新たに「校内環境整備」事業を始めました。

今年度のまとめ

「学び」「仲間」「いのち」を大切にする感性豊かな子どもを育成することは、本校保護者をはじめ地域の方々の強い願いです。様々な専門性をもった方々との出会いから、新たな人とのつながりが生まれました。地域を愛する方々とともに本物を体験した児童は、「みつがらす」を愛し、郷土ならに誇りをもつことができました。ボランティアの方々と進めてきた「校内緑化・環境整備事業」が根付き、今年度は学年を超えた子どもたちが自ら企画・作業を行い、新しく畑や花壇・寄せ植えを作り、育てました。子どもたちが「主体的に生きる」取り組みを行うことができました。

来年度に向けて

児童の自発的な思いに寄り添ったテーマを設定し、本物体験ができる「環境」と「人」を提供できるのかが今後の課題です。そのためにも、コーディネーターさんとの密な連携が重要です。次年度は、さらに校内緑化事業や三碓学習などの事業を推進し、「学び」「仲間」「いのち」を大切にできる児童を育てたいです。来年度も今年度からの継続で、校内整備事業（壁面のペンキ塗り）に取り組んでいきます。さらに地域の方の支援をいただきながら、子どもたちとともに行っていきます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄南こども園運営委員会**

めざす子ども像　**・学びを大切にする園児児童生徒**
・仲間を大切にする園児児童生徒
・命を大切にする園児児童生徒

取組目標　**ぐんぐん　伸びよう　笑顔　いっぱいタイム**

今年度の取組紹介

・園庭にある“わくわく畑”で、その時期の作物や野菜を育てています。種まきをしたり苗を植えたり、水やりや草抜きをしたりしながら大切に世話をすることで、収穫の喜びも格別で、苦手な食べ物にも挑戦して食べようとする姿も見られるようになりました。栽培活動では、地域の方が度々気にかけてくださっています。収穫がスムーズにできました。お世話になった地域の方を給食の時間に招いて、一緒に収穫したサツマイモをふかして食べる機会を持ち、親しみを深めることができました。

・サッカー教室では、サッカーボールを蹴って走るだけではなく、ボールに片足をおいてバランスを取ったり、用具を使ってケンケンパーをしたりして、体幹を育てるための運動を取り入れてくださいました。また試合をすることで簡単なルールを守って遊ぶ楽しさを感じることができ、進んで体を動かすことの心地よさを教えていただきました。４・５歳児は年２回経験し、来てくださるコーチにも親しみを持ってかかわる姿が見られました。

今年度のまとめ

・サッカー教室やキッズイングリッシュ、運動遊び（みんなであそぼう）の講師の方々や、畑の手伝いをしてくださっている地域の方々にきていただき、いろいろな人とのふれあいを通して愛情を感じたり親しみをもったりすることができました。自分から挨拶をしたり話しかけたりする等、人とかかわる力やコミュニケーション力が育ってきています。

・栽培活動では、生長の過程を子どもたちと共に見たり世話をしたりすることで、収穫への期待が膨らみました。手間暇をかけ栽培物を育てる経験をして食べることで食育に繋がり、食することの喜びを味わい、一緒に世話をしてくださる地域の方と感動体験を共有することができました。

来年度に向けて

・健やかな心と体の育成に向けて、活動内容や方法の見直しと工夫を行います。定期的に指導講師の招聘や、地域の方の協力も得ながら、これまでの取り組みを継続してさらに様々な体験を積み重ねていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立三碓幼稚園運営委員会**

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒
仲間を大切にする園児児童生徒
命を大切にする　園児児童生徒

取組目標

さまざまな経験、体験を積むことにより「豊かな心」「やる気」を育み「しなやかな身体の育成を行うことにより、「生きぬく力」を身につけさせる。

今年度の取組紹介

地域の高齢者クレインクラブやグリーンクラブの方々と交流する機会をもちました。「奈良の大仏様」や肩たたきなどふれあい遊びをしました。おじいちゃんやおばあちゃん達に「気持ちいいね」、「ありがとう」と喜んで頂きとても嬉しそうな表情の子ども達でした。また、お手玉や、コマ回しなど昔あそびなども教えてもらいました。紐の巻き方、コマの投げ方など手を添えて教えて頂き、成功すると自分の事のように一緒に喜んで下さいました。

『お茶会』では年間 3 回講師の先生に来ていただき、お茶の作法や点て方などを教えていただきました。初めてのお抹茶の味になじめない子どももいましたが回を重ねるうちにその美味しさに気づき始めたようでした。お茶会では飲んでくれる友達やお母さんの事を思って「おいしくなあれ」と気持ちをこめてお茶を点てました。お茶の世界を通して日本の文化である相手をおもてなしするという事を学びました。

今年度のまとめ

様々な体験を計画的に積み重ねてきた事で子ども達の生活体験を広げる事が出来ました。お話の会では子どもが入園してから卒園まで二年間お世話になっています。初めは、最後まで坐って話を聞く事もままならない子ども達も、お話の会の方々の温かさや、お話の魅力にふれ卒園する頃にはお話の大好きな子ども達に育ち、話を聞く力も備わってきたように感じます。この事は、お話の会の方々からもお褒めいただく事が出来ました。

来年度に向けて

来年は年少児の入園が少なくなりさらに小規模園になります。今後も、地域の方々の協力を頂きながら、事業の継続を行い、内容を見直しながらさらに充実していきたいと思います。そして、人とのふれあいを大切にしながら「しなやかな身体」の育成をめざし、「生き抜く力」を身に付けていけるように取り組んでいきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立学園南こども園運営委員会**

めざす子ども像　**学びを大切にする園児児童生徒**

仲間を大切にする園児児童生徒

命を大切にする園児児童生徒

取組目標　**人や自然との豊かなふれあいができる環境を整え、地域とのつながりを感じられる取り組みを行っていく。**

【今年度の取組紹介】

JA の方にご指導いただきながら、一年間を通してお米作りをしてきました。プールの田んぼの土を整える「しろかき」に始まり、「田植え」「稲刈り」「脱穀・精米」と、活動を続け、最後にご飯を炊いて「おにぎり作り」まで体験しました。稲を観察する力、お米をありがたく思う心が育ってくれたと思います。

音楽療法士の方に来ていただき、音楽に合わせてリズムにのり、踊ったり楽器を鳴らしたりして、友達と心通わせて心地よい時間を過ごしました。ミュージック・ケアのセッションを通して、気持ちを開放し、一人一人を受け止めてもらう体験は、「自分も友達も好き」という気持ちのねっこが育つ時間だったと思います。

人や自然とのふれあいから、子ども達は様々なことを学んでいます。

【今年度のまとめ】

一年間を通して、地域の方にご指導いただき野菜栽培事業、稲作事業に取り組んできました。田んぼや畑で土の感触を楽しみ、野菜や稲を観察して生長に驚き、虫を見つけて大騒ぎし、収穫した野菜を味わい、五感を十分に使って活動しました。運動遊び事業や読み聞かせ事業では、講師の先生から普段できない体験をさせてもらい、「おもしろーい」「もっとしたーい」と、心がワクワクしている様子でした。集団として、地域の方とふれあう中で、集会でのマナーや講師やボランティアの方に対しての礼儀も自然と身に付けることができたと思います。防災事業やコンサートなどで、中学校区の方々とふれあえたことも豊かな経験となりました。

【来年度に向けて】

園舎・園庭の工事も終わり、豊かで整った環境を最大限に利用し、園の活動として大切にしている野菜栽培やお米つくりを異年齢で取り組んでいきたいと思います。その中で、地域の方とのつながりを広げていけるよう、取り組み方を工夫していこうと思います。また、新たな世界に挑戦できるような取り組みも考えていく予定です。

令和元年度　取組報告　　平城中学校区地域教育協議会

めざす子ども像　**「地域の絆を深めよう」～平城の地でいのちを育もう～**

取組目標　**～“食と農”を通して地域の絆を深めよう～**

【今年度の取組紹介】

今年も田植え・稲刈り・芋つくりと楽しみながら体験しました。学校のすぐ前に地域教育協議会の会長の田んぼがあり、そこをもう何年もお借りしています。

こども園（幼稚園）のころから地域の方に教えてもらっているという恵まれた環境にあります。本当を言いますと、お手伝いをしているコーディネーターでさえ「初めて稲刈りをしました。面白いです。」と、子どもたちと同じくらい当日はテンションが上がります。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

また、しめ縄教室の準備も手伝いますが、藁からすぐにできるのではなくて、まず編みやすいように藁を柔らかくします。これがまた大変なのです。

でもそれよりも何よりもこの藁を準備するのが大変なのです。平城はもう何年も前から、地域でもち米を作っておられる西川さんが準備をしてくれています。しめ縄にはもち米の藁がいいのです。機械で刈ってしまうと楽です。でも昔のように手で刈るのです。本当に有難いです。

しめ縄教室

フェスタ用のジャガイモ堀

【今年度のまとめ】

こども園・小学校・中学校と子どもたちはそれぞれ緑豊かな、ゆったりとした環境の中で生活をしています。それぞれの活動の集大成として平城“食と農”ふれあいフェスタがあり、毎年開催します。お手伝いをしている私たちとは、ふれあう機会が多くあり、話す機会も増えて、子どもから普通に声をかけてくれることもよくあります。心がホット暖かくなります。先生からも、直接だったり子どもを通じてだったり、分からないことなどがあるとよくお呼びがかかります。言葉は悪いように聞こえますが、地域の方を上手に使ってくれているなあ・・・と。これからもそのような間柄でいたいと思っています。

【来年度に向けて】

・農業を通じて、自然との繋がりがわかる人間つくり。この地域の環境がいかに優れているかを勉強します。体感します。食育の大切さを家庭にも発信します。それを素直に有難く感じられる人になってほしいです。自分で考え行動できる力を養ってほしいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立平城中学校運営委員会**

めざす子ども像　**「地域の絆を深めよう」**　**～平城の地でいのちを育もう～**

取組目標　**食と農の活動を通して、地域との絆を深める**

今年度の取組紹介

① 校区小学校への出前部活

9月18日・11月13日に、校区の西大寺北小・平城小へ出前部活に訪問。サッカー・野球・バド・バスケ・卓球・吹奏楽・美術・家庭部などが、日頃の練習で培った技術の披露や作品の交流を行い、普段からの活動について披露しました。児童からは、拍手とともに校区の格好いい先輩たちとして迎えられ、部員たちは誇らしげな表情を浮かべ、素敵な時間を過ごしました。

② 職場体験ポスターセッション

7月10日、2年生が6月に取り組んだ職場体験の取り組みを、1年生を招いてポスターセッションの形で発表しました。3日間の職場体験を行う前に各自で探求するテーマを設定し、体験を通じて学んだことを発表しました。観客の質問にも精一杯答える姿に、たった3日間でしたが確実な成長の様子を感じることが出来ました。

③ 平城“食と農”ふれあいフェスタ2019

11月11日、奈良競輪場を会場として今年もフェスタが開催されました。ホールでは平城こども園、平城小、西大寺北小、平城中の２年生や吹奏楽部が歌や器楽演奏などの発表を行い、中学１・２年生は、カレーの炊出し、焼きそばなどの模擬店、ストラックアウトなどの園児や小学生が遊べるこどもコーナーのスタッフとして活躍し、多くの地域の方々との交流を深めました。

今年度のまとめ

○　「平城“食と農”ふれあいフェスタ2019」で生徒達は、地域の方やこども園児、小学生との交流を深めることができました。また、地域、家庭、学校が連携した諸活動を通じて、地域に対する愛着とつながりを持たせることができました。

○　こども園や小学校への「出前部活」や「小６部活体験」などを通して、地域のこども園、小学校と交流を深めることができました。

○　コーディネーターを中心に地域内の各種団体の連携ができました。

来年度に向けて

○　来年度は「平城“食と農”ふれあいフェスタ」の取り組みを通じて、生徒たちが主体的に取り組む視点をさらに取り入れて、改善点も取り入れながら継続していきたいと考えています。

○　放課後学習などコーディネーターの協力を得て、学習支援の取り組みを行いたいと考えています。

○　生徒一人一人が平城地域の諸活動に対して主体的に取り組み、継続的な取り組みにしていくとともに、地域の方の協力を得て、環境美化活動への支援の輪をさらに広げていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立平城小学校運営委員会**

めざす子ども像 **「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～**

取組目標　**地域･家庭･学校が、栽培･生産･命を育む取組を中心に、協力して学んでいく**

今年度の取組紹介

◆米作り体験

地域の方から学校の南に隣接した田圃をお借りして、５年生が田植え・稲刈り体験を行いました。今年で１０年目になります。田植えや稲刈りには、地域の方々や農協の方々が多数応援に駆け付けてくださいました。また、体育館で収穫祭を行い、地域の方々を招いて、おにぎりを一緒に味わいました。

◆平城“食と農”ふれあいフェスタ２０１８

今年で９回目を迎える「ふれあいフェスタ」を 11 月 11 日、奈良競輪場において地域の方々約 3000 名の参加者を得て、盛大に行うことができました。中学校や地域のバザー、炊き出し、大道芸人によるパフォーマンス、人形劇、そして、学習発表・学習展示と充実した時間となりました。

地域・家庭・学校が三位一体となり、地域の絆をより深めることができました。子どもたちも、園・小・中の交流を深めることができました。

今年度のまとめ

地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また、顔を合わす機会や、自然に挨拶を交わし話すことも増え、コミュニケーション力の育成につながっています。

家庭科学習・図工科学習の支援、低学年の生活科への支援、環境整備への支援など、様々な面で地域の方々のお世話になり、教育活動を進める上でもなくてはならない存在でした。

朝の会や昼休みに、読書ボランティアの方がクラスや多目的室で、読み聞かせを行ってくださったことで、児童の読書への関心も高まり、国語科のアンケートにも「読書が好きだ。」と答える児童が９割に達しています。

来年度に向けて

各学年の児童により効果的な栽培体験学習を年度当初に計画し、地域の協力を得て実行していきたいです。教職員と地域の方々とのつながりをより深めるためにも、顔合わせや意見交換の場を設定し、密接な関係づくりを図っていきたいです。ふれあいフェスタやクリーン活動などを通して、小中一貫教育の立場から子どもや教師の交流を深めていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立平城こども園運営委員会**

めざす子ども像　**「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～**

取組目標　**食と農の活動を通して、地域の絆を深めよう**
～園・家庭・地域が連携し、様々な体験を通して豊かな心と健康な体を育む～

今年度の取組紹介

地域の方の指導のもと、５歳児がさつま芋の苗植えや収穫体験をしました。収穫の時には芋掘りをしやすいようにツルの処理を事前にし、ツルを残した畑を見せ「こんなに大きくなっているよ」と子ども達に知らせてくださいました。また、子ども達に寄り添いながら、土が固くなかなか掘れない子にはシャベルで土を柔らかくしてくださり、掘り方を教えてくださいました。子ども達は「いっぱい掘れたよ」「重たい」「大きいお芋がとれた」と一緒に収穫を喜んでいました。

１２月には地域の方と一緒に、全園児で焼き芋パーティーをしました。事前に焼き芋の時の焚き木用に木の剪定をし、枝を集めてくださり、子ども達は園庭の落ち葉や小枝を集めて準備をすすめました。当日朝から藁やもみ殻、落ち葉、枝を使って火を起こしてくださり、子ども達は芋をアルミに包み、地域の方と一緒に火の中に入れ焼きあがるのを楽しみに待っていました。焼きあがると一緒に焼き芋を食べ、「おいしい」「あまいね」「もっと食べたいな」と、大喜びで食べる姿がありました。焼き芋パーティーの日が迫ると、「焼きいも苦手」と不安そうにしていた子も「こんなにおいしいとは！！もっと食べたい！」と、嬉しそうに食べていました。火を起こしている様子を見て、友達や地域の方と一緒に賑やかに食べたりしたことで、おいしさが一層増し、苦手な気持ちがなくなりました。

今年度のまとめ

こども園の畑はスペースに限りがありますが、地域の方に借りている「平城っこの畑」は、面積も広く、存分に収穫を楽しむことができました。栽培活動を通してかかわりをもち、地域の方を知ることで、感謝の気持ちや見守られていることへの安心感をもつことができました。収穫したさつま芋を使って、一緒に焼き芋パーティーをしたことで、より一層、子ども達の食への興味・関心が高まりました。

来年度に向けて

地域の方の協力を得ながら、園・家庭・地域が連携し、子ども達が豊かな体験ができるように、取組を継続していきたいです。

また、年度末に地域の方の協力で、園内に畑を整備していただいたので、来年度は、その畑を活用し少量でも園内で育てた作物を平城“食と農”ふれあいフェスタに届けていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立飛鳥中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**地域に対する誇りと、地域を大切にする心を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標　**飛鳥の地域で生きる喜びを感じる子どもが育つこと。そのために、地域の土台となる家庭を支え、地域の中で教師が育ち、学校園と関わる地域人材が育つこと。**

【今年度の取組紹介】

飛鳥中学校区では、「飛鳥ブランドの子ども」として、一幼・一小・一中の強みを生かして、幼小中をひと続きとして、子どもたちの価値観を多様に育て、子どもたちの豊かな育ちを支援しています。家庭任せ、学校任せでは無く、地域のみんなで地域の子どもたちを育てる為に、常に地域の協働を軸とした取組をしています。幼稚園、小学校では地域の方々との交流と見守りを大切にしながら、次第に子どもたちに役割を渡し、子どもたちの活躍の場を広げ、やがてこの地域の担い手として主体的に地域に関われるよう期待をしています。地域の大きなイベントである飛鳥フェスティバルにおいてはコーディネーターが中心となり、幼小中それぞれの園児・児童・生徒が役割を担い、活躍できる場をつくることができました。それ以外にも幼小中の様々な場面で常に地域との協働で取組を進めました。最終的には、コーディネーターによる中学校生徒への面談の中で、現在の取組の成果とこれからの課題を把握し明確化して今後の活動につなげています。

また、今年度も昨年度に引き続き「飛鳥 CS だより」の発行を行い、飛鳥中学校区の取組を広く地域全体に知ってもらうことができました。

【今年度のまとめ】

常に地域の方々との協働の中で、子どもたちの中に、地域の方々への感謝の声がふえています。その中から、自分もこの地域の一員であることを自覚し、自分はどのように頑張りたいかを言えるようになったり、取組ごとにその準備から片付けまでを積極的に行動できました。特に中学校では地域の方の見守りでの学習支援において自尊感情を高め、キャリア教育とてして取り組んでいるポスターセッションで、地域の方々に発信することで、自己発信力にも自信を深めているところです。

【来年度に向けて】

今年度の取組紹介の中にも挙げたように、「飛鳥 CS だより」の発行や、各事業を地域と子どもがより密に、かつ多角的に連携できる場や機会を設ける工夫を行い、より広く地域に協議会の取組を知ってもらい、興味を持ってもらうことと、ボランティアなどの形で活動に参加してもらえる裾野を広げていきたいとおもいます。

令和元年度　取組報告　　奈良市立飛鳥中学校運営委員会

めざす子ども像　**地域に対する誇りと、地域を大切にする心を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標　**自分を知り、自己の考えを育て、それを皆の前で表現し、行動できる力を育てる**

【今年度の取組紹介】

平成 29 年度から、本校区では地域コーディネーターが中心となって、飛鳥小、中学校それぞれで学習支援を行ってもらっています。中学校では、地域の学習支援ボランティアや校区内にある大学の学生による学習支援ボランティアなどをコーディネートしてもらい、毎週あすかスタサポ（放課後学習教室）を開室（定期テスト前には毎日開室）していただいています。この取組も３年目を迎え、必ずこの教室に来る生徒も増え、定着してきています。また、テスト前のあすかスタサポでは教室に入りきれないほどの生徒が集まって学習に取り組んでいます。その中で、コーディネーターやボランティアに教えてもらったりしながら、コミュニケーションを取ることも深まってきており学力向上だけではなく、コミュニケーション力も向上しています。また学習の成果も出始めた生徒は「やればできる」という自尊感情を少しずつではあるが高めることができていきています。

また、飛鳥中学校区では、子どもと大人、保護者と地域と学校（教職員、生徒）が協働することを目標にしています。校内環境整備事業による花いっぱい運動の推進、夕べのコンサートやあすかフェスティバル、校内クリーンキャンペーンなどによる地域行事・育友会行事の活用、地域の方々による３年生の面接練習など、様々な場面で生徒と地域とが関わり合える取組を推進してきており、年間を通じて数多く、大人と子どもで協働できるように取り組んでいます。

【今年度のまとめ】

「未来を切り拓く力」の育成に向けて地域行事、学校行事、そしてキャリア教育においても、常に地域との協働を基本にすえ、活動にとりくんできたことで、子どもたち自身が自分たちに期待されていることと、常に支援されていることをしっかりと理解し、あらゆる面で積極的に安心して取り組むことができました。子どもたちが記す文章でも、地域の方への感謝の言葉と地域の中で自分に出来ることを探す姿勢がみられました。また、そのような子どもの姿勢に対する地域からの評価も高まり、次への期待につながってきています。

【来年度に向けて】

今年も「(地域の中で、地域の方と共に）自ら考え主体的に取り組む」ことをテーマに取り組んできました。来年も『キャリア教育』の基盤となる「人と関わる力」「自分に誇りを持つ力」「確かな学力」の育成に向けて、これからもコーディネーターと教職員がしっかりと連携し、地域行事・学校行事での地域との協働を深化しつつ、生徒の学力支援などに取り組んでいきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立飛鳥小学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域に対する誇りと、地域を大切にする心を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標　**地域に根差した学習活動等において、地域の方々がより活躍できる出会いの場を計画し、児童が様々な地域の方々と出会うことで、地域のよさに気付き地域を大切にしようとする意識を育てる。**

今年度の取組紹介

今年度も、地域の方々や保護者ボランティアの方々に協力を依頼して、「夏休み宿題サポート学習会」を夏季休業中の７月下旬に開催しました。今年度は各教室にエアコンが導入されたこともあり、昨年度よりも多くの児童が参加してくれました。宿題を早く終えた児童には、地域と相談して準備した補充プリント等を配布するなど地域の方々が積極的に子どもたちとつながり、地域の教育力を高めることができました。また今年度も、２学期末に、地域の方と環境委員会の児童たちが、「葉牡丹の寄せ植え」を作成しました。地域の見守り活動に協力をいただいている方々や校区の公共施設などに、感謝の気持ちを込めたメッセージカードと共に配り回りました。多くの方から感謝の言葉をいただいたことで、子どもたちは地域の方々との良い出会いを経験し、地域を大切にしようとする意識につながる良い取組となりました。

今年度のまとめ

町探検などの地域学習やカヌー教室などの体験学習、学校図書室の整備などといった取組が年間行事として定着し、地域の方々が積極的に参加していただける体制になっています。

このことにより、地域の方々の学校への関わりや思いが、子どもたちにも確実に伝わっており、いろいろな機会で学校や地域を良くしていこうという気持ちが子どもたちにも広がっています。

来年度に向けて

小学校と中学校また地域との連携の強化を更に図り、常に教育力を支える拠点として機能できるように、しっかりと見通しと計画をもって様々な事業を実施していきます。また活動に対する評価をしっかりと行い、見直しや改善等が必要な場合は、話し合いを密接に行い、子どもたちと地域がしっかり繋がることができる充実した取組となるようにしていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立飛鳥幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**地域に対する誇りと、地域を大切にする心を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標　**地域の一員として、友達や地域の方々や文化財にかかわり、親しみや感謝の気持ち、大切にしようとする心を育むため地域との連携を密にする。**

今年度の取組紹介

◇　ゲストティーチャー(誕生日会)

年間に４回地域の方にゲストティーチャーとして誕生日会に来ていただき、腹話術、お話、アンサンブル演奏、リコーダー演奏などを披露してもらって一緒に楽しむことができました。誕生児のお母さんたちも楽しみにしておられ、誕生日会にきてもらうことで子どもたちにとっても特別感がありました。

◇　わらべうた教室

年３回、音声館より講師を招き、わらべうた遊びを全園児で楽しみました。今年度は大縄跳びを取り入れ友達と息を合わせて跳ぶことで、一人で跳ぶだけでなくリズムに合わせて体を動かすことを体感できました。また、地域のお年寄りとわらべうた遊びを通して交流することもでき、世代間交流のツールにもなりました。

今年度のまとめ

地域の方々が、幼稚園に足を運んでくださり子どもたちに声をかけていただくことで、安心して様々な活動において自己発揮ができるようになってきました。また、年間を通していろいろな行事や、栽培・収穫活動に協力してくださる中で、子どもたちが周りの人への感謝の気持ちを持ったり人とかかわる心地よさを感じ、親しみを持って接することができました。地域に出かけ、周りの環境に触れたり見たりする機会が持てたことで、自分の地域を身近に感じ自分から挨拶をする等の姿につながっています。

来年度に向けて

今年度の取り組みを継続して実践していく中で、地域の方々の教育力を得ながらより一層連携を深め、豊かな経験を積み重ねていきたいです。また、保育園との交流・連携を進めていく中で活動の様子を見ていただいたり、意見をいただいたりする機会も持ち、よりよい実践につなげていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**登美ヶ丘北中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**気づく、学び、考える、子どもを地域と学校が共に育てる**

取組目標　**私たちは子どもに何が必要（ニーズをキャッチ）なのかを考え、常に何が出来るのかを考え活動を行う**

今年度の取組紹介

【クリスマスコンサート】

イオン登美ヶ丘、ロータリクラブなどの企業の支援により毎年恒例のクリスマス・コンサートが、イオン登美ヶ丘店の店舗で開催され、保護者の人や多くの買物客の人たちに聞いていただきました。同時に「ひつじ放牧」の写真パネル展も開催しました。今年で６年目のクリスマスコンサート、企業や地域の人が支えていただいている事業です。

【とみきた塾の発表会】

とみきた塾は１３の講座で２９１人の生徒が学んでいます。生徒を主体とした活動の発表会を開催しました。各クラブの発表に引き続き、保護犬の話やこども落語も楽しみ、あらゆる年代の人や、他校区の中学生など、多くの人との交流があり楽しいひと時を過ごしました。

今年度のまとめ

・地域のシンボル的存在である「ひつじの放牧」は本年度再復活し、事業を行う事ができました。「ひつじの放牧」が地域に幅広く定着し、地域コミュニティの構築に大きく貢献していたことが、よくわかりました。地域からも暖かいメッセージが送られ、スタッフは勇気づけられました。
・保護者から「学校カレンダーアプリ」は便利であるという評価で加入率は安定していますが、今後レベルアップした取り組みをジョルテとも打合せて行きたいです。
・いろんな事業の企画を考えられますが、それを担い人材が不足しておりこれが大きな課題です。

来年度に向けて

・過去の事業は、学校、ＰＴＡ、自治会の活動ではない、教育協議会独自の活動を目指してきました。
・「ひつじ放牧」「とみきた塾」「学校カレンダーアプリ」に加え、来年度は「わんわんパトロール」を新たな事業として行います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立登美ヶ丘北中学校運営委員会**

めざす子ども像　**気づく、学ぶ、考える子どもを育てる**

取組目標　**様々な活動を地域に発信する意識を持ち、できる限り子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組の充実**

【今年度の取組紹介】

学校と地域とより深く連携していくために、昨年度に続き、今年度の生徒会が目指す取組を地域の方に理解していただきながら具体的な活動と支援をお願いしました。

「地域ふれあい事業」では、東登美ヶ丘小学校や登美ヶ丘高校と朝のあいさつ運動を行い、登校する児童生徒や通勤途中の地域の方々への挨拶を行いました。

「防災教育推進事業」の炊き出し訓練では、地域の方と保護者の方に来校していただき、避難所運営カードゲーム「HUG」を活用した防災教室やハイゼックスを使った米炊きや非常食の仕分け作業を一緒に行っていただき、災害時の非常食の段取りや、それらに関わる苦労が体験できたことはよい経験になりました。さらに災害時に自分たちが取るべき行動についての心構えを持つことができました。「キャリア教育推進事業」では、講師の方に来校していただき、マナー教育や、面接指導、「労働に学ぶ」の講座などで人間関係形成能力や課題対応能力を培いました。

【今年度のまとめ】

地域のつながりを深めるため、防災教育推進事業に力を入れております。今年度も、地域の方や保護者の方と連携して、防災訓練を行うことによって、被災時の行動を学び、自分たちも災害時には地域の一員として貢献しなければならいことを理解し、災害に対する心構えに変化が見られました。地域の大人から学ぶことの大切さも理解され、自分たちでできることの一つに地元の方へのあいさつ運動を計画することなど、地域に出向き大人と関わることでつながりを活性させ、その中で果たすべき自分たちの役割と責任を理解してくれているようです。

【来年度に向けて】

小中連携と中高のつながりを深めつつ、地域の方と協働する活動の内容を充実させ、本校区の学校ブランド力を高めていくとともに、学校活動に幅広い年齢層の方々に参加を求め、学校を起点とした新たな交流と地域の活性化につなげていきたいと考えております。また、地域に誇りを感じることができ、激変する未来においても活躍できる人材の育成に努めてまいります。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立登美ヶ丘小学校運営委員会**

めざす子ども像　**気づく、学ぶ、考える子どもを育てる**

取組目標　**地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりを感じられる取組の充実**

今年度の取組紹介

《学習支援事業》地域の方による学習の支援

◆家庭科実習支援

家庭科の調理実習、裁縫実習を中心に支援をしていただきました。複数の大人による支援が得られ、実習もスムーズに進めることができました。

《体験学習事業》ゲストティーチャーによる授業

◆平和の話　/　おはなしの森　/　獣医師によるいのちの授業（いきものとなかよし）等

一年間を通してさまざまな体験授業を実施しました。どの体験も多くの児童たちとっては初めての体験であり、活動を通してその楽しさや難しさを知りました。また、伝統ある仕事に取り組んでおられる方が大切になさっていることや仕事への思いなどを知ることができ、今後の生活などに生かしていくことができる取り組みにもなりました。

《環境整備活動事業》地域の方と共に行う環境整備

◆通学路清掃、花壇整備、

保護者の方や学校近隣の方に学校環境の整備を進めていただいています。特に年度初めの花壇整備を児童としていただくことで、働くことや環境整備の大切さを知る良い機会になっています。

今年度のまとめ

子どもたちは、戦争体験の講和や葛餅つくり体験、信楽焼体験等、日頃体験することのできない様々な体験を通し、多くの事を学びました。また、「いきものとなかよし」等のふれあい学習や体験学習では人との関わりや命の大切さを学びました。

また、地域の方を招聘しての学習の中で地域の方とお話しをする児童が増え、登下校時にも進んで挨拶をする児童が増えてきました。「地域で育っている心豊かな登美っ子」を意識させることができる貴重な学習や体験であったと思いました。

来年度に向けて

学年に応じた様々な体験学習や行事等を通じて、今後ももっと保護者や地域の方々と連携を深め、さらなる交流や繋がりをもつことにより、心豊かで自分が生活をするこの地域に誇りを持てる登美っ子の育成を目指していきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　奈良市立東登美ケ丘小学校運営委員会

めざす子ども像　**「気づく、学ぶ、考える子どもを育てる」**

取組目標　**〇地域人材を生かした体験的学習の充実と読書活動の推進。**
〇恵まれた環境を生かした栽培活動や遊び・運動の推進。

今年度の取組紹介

〇体験学習事業（１年　体験学習「昔遊び」）

１年生の体験学習事業として地域の方々をお招きしての体験学習を行いました。昔から伝わる伝統的な遊びを教えていただきながら，地域の方々と交流を深め，コミュニケーションの育成だけでなく，人との付き合い方を学ぶ貴重な場にもなったようです。

〇読書活動推進事業（お話の会）

読書推進活動は朝読書・昼読書，お話の会，図書整備活動の３つの活動を中心に進めています。また，北部図書館の司書の方とも連携し，本の整理をしたり，様々なジャンルの本を紹介してもらったりしています。読み聞かせの活動も定期的に行い，子どもたちも楽しみにしています。

〇環境整備事業

学校の広大な敷地を生かして，花いっぱい，緑いっぱいの素晴らしい環境づくりに取り組んでいます。東登美ガーデンや校門前の整備をはじめ，講師を招いての花植え教室では，基礎から教えていただき，高学年の児童も熱心に取り組んでいました。

今年度のまとめ

〇各学年の体験学習事業では，実際に触れて，自ら経験する貴重な機会になっています。様々な方との触れ合いの中で，コミュニケーション力や仲間と力を合わせて協働する力を身に付ける良い機会になっています。

〇環境整備事業では，東登美ガーデンの整備をはじめ，花や自然いっぱいの素晴らしい環境が保たれています。子どもたちもこの素晴らしい環境を維持しようと，工夫しながら取り組んでくれています。

〇読書活動推進事業では，取組がしっかりと根付き，休み時間も本に触れる児童が数多くみられました。また，図書室の整備も進み，様々なジャンルの本に親しむ児童が増え，子どもたちの知識の広がりにも役立っています。

来年度に向けて

〇地域に根付いてきた取組も多く，年間計画による位置付けを工夫しながら，来年度以降も継続及び推進を目標に事業を進めていきたいと考えています。また，協力していただける人材を増やし，新たな計画と組み合わせながら，さらなる充実を図っていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立登美ヶ丘幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**気づく、学び、考える、子どもを育てる**

取組目標　**豊かな心を育み、いきいきと活動する幼児をめざして**
自ら関わる・感じる・考える環境構成のあり方

今年度の取組紹介

◆「環境整備事業」花苗植えから藍染

保護者や地域の方の協力を得て花壇や畑の環境整備を子ども達と一緒に行いました。その花壇やプランターに子ども達が様々な花苗を植えました。「水やりをしょう」「この花私が植えた」と登園すると友達と水やりをしたり「綺麗な花が咲いてきた」と、降園時にお家の人と一緒に植えた花を見たりする姿がありました。また、自分達で育てた花や葉で色水遊びを楽しみました。藍の葉のたたき染めでは、「葉っぱが写った」「緑から色が変わった」と葉の綺麗さと色の変化に驚いていました。藍染は園内作品展に掲示し、家族や地域の方など多くの方に見ていただき、子ども達の自信になりました。

◆「感動体験事業」地域・親子ふれあいコンサート

今年度のふれあいコンサートは、地域の方や未就園児親子、保護者、園児が一緒に歌やピアノ、ギター、サックスの生演奏を聴き、感動的な時間となりました。子ども達の大好きな曲やクリスマスソングを口ずさんだり、弾き語りに耳を傾け聴き入ったりしました。「パプリカ」の演奏では曲に合わせて自然とリズムをとり、踊り出す子ども達の様子に地域の方も保護者も心ひとつになり笑顔が溢れ、心温まる時間を過ごすことができました。子ども達は楽器に興味をもったり音楽にふれたりする楽しさを味わったりして本物に接することでより感動が深まりました。

今年度のまとめ

年間を通して様々な方の協力を得て、全ての活動が充実した取り組みとなり多くの感動体験の場となりました。活動を継続することで楽しさが増し、行動や気持ちに積極性が見られるようになりました。また、友達や地域、保護者の方と一緒に活動することで子ども達はさらに楽しさを感じ言葉で表現したり、考え工夫したりする機会となりました。そして、子ども達の活動の様子を地域や保護者の方に知っていただくことで子ども達も力を発揮できる場となり、自信や意欲に繋がりました。

来年度に向けて

○来年度も子ども達の興味や関心を踏まえて感動体験事業を計画し、地域の方との関わりの中で園生活が豊かになり、いきいきと活動する幼児の育成を進めていきたいと思います。

○地域や保護者の方の協力を得て環境を整えることで子ども達が豊かな体験を積み重ねていけるようにしていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立東登美ヶ丘こども園運営委員会**

めざす子ども像　**気づく、学ぶ、考える子どもを**

地域と学校が共に育てる

取組目標　地域とのつながりを大切にしながら取り組み、子どもたちが楽しさ、温かさ、思いやりを感じられる取り組みの充実

今年度の取組紹介

今年度新たな取り組みとして、土曜参観の活動の中に登美ヶ丘北中学校で行われている『ひつじ牧場』の羊に来てもらい、ふれあい感動体験を行いました。地域で決める学校予算事業や中学校での取り組み、地域の方々など幅広く知ってもらう機会となりました。また、中学校で募集していた羊の名前を園児と保護者が考え応募し、中学校の生徒会で採用されたこともあり、羊に興味をもち中学校に足を運んだという保護者の話からも、事業の成果がうかがえます。園内でも園児が絵をかきながら「もこもこした毛やった」「葉っぱ食べていたよ」と興味をのびのびと表現活動を楽しむ姿も見られました。

「ふれあいコンサート」では、声楽をされている地域の方に来ていただき、本物に触れる機会となりました。きれいな歌声を聞きたり、歌い方を教えていただいたりしたことで、歌う楽しさをより感じることができました。

環境整備事業では、地域の方の草刈り、剪定、花壇整備等園児がのびのびと活動できるように整えていただきました。今年度は、花苗を多く植えたことで、「この花をゴシゴシしたら、紫色の水ができる。」「下の方からちっちゃな丸いのが出てきているよ。」など、園児の興味や関心、遊びへの活用につながりました。

今年度のまとめ

○　今年度は、新たな事業内容を計画してきたことで、園児の新しい感動体験ができた。地域の方とのかかわりと共に、羊を通して中学校に興味をもつきっかけとなったので、来年度以降も地域・学校とのつながりを大切に行っていきたいと思います。

来年度に向けて

○　地域の人材を発掘し、今後も連携をとり地域の教育力を生かし、園活動の充実に取り組んでいきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**都跡中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成**

「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむことをめざす

取組目標　**学校が大好きで、ふるさとが大好きな都跡の子どもを育てる。**

今年度の取組紹介

＊読書大好きな子どもたちを育てるために、今年度もこども園や小学校、そして新たに中学校でもボランティアによる読み聞かせを行いました。本好きの児童生徒が増える工夫を考える中で、小学校に加え今年度から中学校にも司書の方に来ていただき、蔵書の整理に取り組み、本が選びやすく、だれもが来ようと思う図書室になるよう作業しています。

＊地域の教育力を高めるために、自治会と協働して教育講演会を地域のふれあい会館で開催しました。また毎回コーディネーター会議に参加する公民館館長らとともに公民館主催の「みあとキッズチャレンジ隊」等の子育て活動に協力しました。この活動には現在、地域の中学校を卒業した大学生たちがボランティアとして子どもたちの活動をサポートしています。

今年度のまとめ

＊毎年行っている小・中学校の教員とのそれぞれの交流会も、今年度小中一貫教育と関連付けて、地域・小学校・中学校が合同で行い、変化をつけることで意識の向上につなげることができました。

＊今年度から中学校でも読み聞かせが始まり、園小中で継続して実施することができました。中学校ではまず、図書準備室の環境を整えることで作業を効率的に行えるようにしました。

＊中学校の「いきもの係」発足により、環境整備活動に参加してくれる生徒が格段に増えました。そのことにより、生徒とボランティアとの交流も活発になりました。

＊どの事業も多くのボランティアが参加しているが、メンバーの固定化が課題となっています。

来年度に向けて

現在行っている広報活動の方法を工夫します。

＊年に 1 度の広報紙のほかに、学期ごとに発行するボランティアの募集案内に、実施した活動報告を掲載します。参加者の人数や様子等を知らせることで、どの活動が人数不足なのかもわかり、次回の協力依頼や、参加してみようという意欲向上が見込まれます。

＊年度初めに実施しているＰＲ活動の各種団体数を増やします。各校園の保護者会等にも積極的にコーディネーターが出向くようにします。

＊各校園教職員との交流会は定着しているが、交流会の持ち方に工夫することで、都跡中学校区の協議会への理解を深めてもらいます。

＊地域教育協議会で作成した四神をデザインした赤の T シャツを様々な活動で着用し、他団体にも働き掛け、色違いＴシャツという目に見える形でも子どもたちを見守っていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立都跡中学校運営委員会**

めざす子ども像　**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成**
「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむことをめざす

取組目標　**人を愛する心や学校・地域を愛する心を育てる。**
地域で育つ中学生として、地域の一員としての役割を担える子どもの育成

今年度の取組紹介

①ゴーヤカーテン、みあと農園・花壇をはじめとする栽培体験事業について、今年度各クラスに「いきもの係」を新たに創設しました。いきもの係とボランティアの協力により継続的に活動を行うことができるようになりました。その結果「植える」だけではなくその後の水やり等の活動へつなげていくことができ地域の方と協力している場面が増えてきています。そのような活動を通して学校をきれいにしていく美化意識の向上や地域の方との協働につなげました。

②読書推進事業では、今年度中学校でも「読み聞かせ」を行い、こども園・小学校・中学校と１つにつながる事業ができました。そして図書館司書が月に１回来ていただけるようになり、今まで来ていただいていたボランティアとともに図書室の書籍管理や整備をしていただいています。そうして足を運びたくなるような図書室にしていくことで読書が好きな子どもを増やしていきたいと考えています。

今年度のまとめ

コーディネーター・ボランティアを中心とした数々の取組(ゴーヤカーテンづくり、みあと花壇・みあと農園での栽培体験活動、図書室の飾り付け・整備・読み聞かせ等)をしていただいていますが、これらの取組を継続するとともに、生徒との協働する場面を増やすために「いきもの係」を作ったり、読み聞かせを始めたりしました。

地域ができる支援と学校が必要としている支援をリンクさせるためのコーディネーターと教員の交流会を今年度は小中合同ですることによって、地域と教員だけではなく、小中それぞれの支援の実情を知ることができました。その中で新たな支援が生まれてくると考えています。

来年度に向けて

生徒には、地域に貢献しているということを感じるため、生徒と地域が協働する場面を新たに地域と共創していきたいです。そして学校活動をしている気持ちから、場所は学校であっても地域の活動に参加しているという気持ちを持てるように伝えていきたいです。また、地域の方々の活動が学校、しいては自分達のためだと相互に満足感を感じるように、生徒や保護者に見えるように活動を工夫していきたいと思っています。

今年度も、中学校の HP の地域のページにいろいろな活動の様子をあげてきました。そのことで、生徒のボランティア活動の意識の向上や、保護者のボランティア登録につながるきっかけになればいいと思っています。

令和元年度　　取組報告　　**奈良市立都跡小学校運営委員会**

めざす子ども像　**やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成**
「確かな学力」と「豊かな心」を育むことをめざす

取組目標　**世界遺産のあるまち**
都跡で暮らし、都跡を誇れる児童の育成

【今年度の取組紹介】

○　地域・学校合同研修会

今年度より今までの「地域懇談会」の代わりに都跡中学校区として学校と地域が力を合わせ、どのように子どもたちを育てていくかをコーディネーターの方とともに考えて研修していく目的から「都跡ふれあい会」と称し、８月に開催しました。「都跡ふれあい会」では、小グループに分かれて熟議し、全教職員が地域の方々と親睦を深め、研修することができました。

都跡ふれあい会

また、今年度も校務分掌の中に「地域教育推進部」を設け、８名の教員を配置しました。「地域教育推進部」の担当者は運営委員会への参加や「地域懇談会」の企画、運営を行うことにより、学校と地域とのパイプ役として「学校の垣根」を低くする役割を果たしてくれています。

○　みあとありがとうフェスタ

日々の見守り支援、そして栽培体験活動や昔の遊び・昔の暮らし体験学習など、様々な場面でお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを込めて、今年も全校で「みあとありがとうフェスタ」を開催しました。当日は、各学年や全校による合奏・合唱を聴いていただきました。

みあとありがとうフェスタ

【今年度のまとめ】

○　地域の方々は、「子どものためなら」とか「子どもと一緒にいると元気をもらえる」と考え、様々な場面で学校に協力してくださっています。また、年々ボランティアを志望してくださる方も増え「絵本の読み聞かせ活動」など、地域の方が学校活動に参加していただく機会が増えてきています。教職員や児童は、このような地域の方々の温かい気持ちに実際に触れることで、地域の方々の思いを知ることができたと思います。こうした地域の方々と子どもたちが一緒に活動する場面が増え、教職員が打合せや学校活動を通して地域の方々とつながることが、「地域とともにある学校」として、学校と地域がともに子どもたちを育てていく推進力になっていると考えます。

【来年度に向けて】

○　今年度も「児童から地域の方々が見える」「教職員から地域の方々が見える」そんな関係づくりを進めることができました。来年度以降もこの歩みをより確かなものにするために、地域の方々と児童・教職員が触れ合い、つながる場面を確立・拡大していきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立都跡こども園運営委員会**

めざす子ども像 やさしさとたくましさをもち、未来をきりひらく子どもの育成
「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむことをめざす

取組目標 **みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園**

今年度の取組紹介

○　栽培活動事業では、年間を通じて地域の方と共に取り組みました。トマトの栽培では、今年もたくさん収穫でき給食の食材に使っていただき、地域の方を園にお招きして『リリコパーティー』(リリコという品種のトマト)をしました。５歳児が地域の方にどのようにしたら感謝の気持ちを伝えることができるか話し合い、企画し、そして一緒に食べることで地域の方により親しみが持てる活動となりました。他にも地域の方に、玉ねぎ、さつま芋などの苗植え時に、植え方、育て方を教わり、また畑の畝づくりをしてくださる姿を見ることで子どもも保育者もより関心を持って栽培活動に取り組むことができました。

○　お話の会では、地域の方による『わくわく絵本タイム』や、保護者による『ママの絵本』を実施し、預かり保育や子育て支援（未就園児保育）でも絵本の読み聞かせをしていただきました。年間を通じてたくさんの方に温かな語りで絵本の読み聞かせをしていただきました。一人一人内容を工夫し、心のこもった読み聞かせをしていただくことで、子どもたちはよりお話に興味をもち、絵本が大好きな子どもたちに育ちました。

今年度のまとめ

○　地域や保護者の方の協力を得て、栽培活動・お話の会・園内の環境整備・感動体験・広報活動に取り組みました。年間を通してたくさんの方に来園いただくことで、地域の方を身近な存在と感じ、人の温もりや優しさに接することで、感謝の気持ちや思いやりの心を育むことにつながりました。「保護者アンケート」から、子どもにとって地域の方の存在が大きいと感じている声が聞かれ、地域の方からも、子どもの様子を見守っていただき、１年の成長を感じてもらう良い機会となりました。

来年度に向けて

○　地域や保護者の方の協力を得ながら、子どもたちにとって豊かな経験となるよう、活動を継続実施し、さらに地域・園・保護者が『みんなで遊びを創る笑顔があふれるこども園』を目指していけるように連携を深めながら教育・保育を充実させたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立平城東中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標

奈良の文化や伝統などのよさを知り、地域に誇りをもつ子どもを育てる。
学習意欲や科学的な思考を育て、自ら考え、正しい判断ができる子どもを育てる。
どのような環境でも挫けない強い意志と体力、豊かな心をもった子どもを育てる。
親子、家族で楽しめるイベントを行い、ともに感動を分かち合える機会をつくる。
幼児児童生徒が地域で協力し、小さな地域単位でボランティア活動などを行い、
よりよい人間関係づくりを進める。

今年度の取組紹介

・【平城高校生と遊ぼう！】１月１９日（日）に北部会館で実施した。本年度で７回目を迎えたイベントは、幼児から高齢者まで７００人以上の参加がありました。
平城高校をはじめ、平城東中学校・こども園（朱雀、左京）・各小学校（朱雀、佐保台、左京）の発表もあり、イベントは大いに盛り上がりました。園児、児童、生徒が参加し普段は関わりの薄い異年齢の地域の子どもたちが交流することにより、育みの精神を培うとともに、自分の新たな一面を発見できる機会となり、地域の交流もでき、子から子へ残していきたい地域のイベントとなりました。

・【歴史ウォーク】11 月 3 日（祝）に、左京小学校を出発し大極殿、遺構展示館、東院庭園を見学し朱雀門をめざしました。当日はNPO なら・観光ボランティアガイド朱雀の方々に案内していただき、奈良の歴史・文化にふれることができました。参加者は約９５人にのぼり、郷土への愛着が育まれました。

【図書室開放】　図書室ボランティア活動を毎日行うことにより、利用する児童・生徒が増えました。
また、地域の利用者も多く本に親しむ機会が増えました。

今年度のまとめ

地域教育協議会主催のイベントやボランティア活動に参加し協力してくださる地域の方も増えてきました。今後にもつながることであり地域の絆が出来てきていると感じます。

来年度に向けて

来年度も同様の事業を予定しているが、【平城高校生と遊ぼう！】は高校再編等があり、今後はどのような運営をしていくのか等を話し合い、今まで地域と築き上げた取組をどのように継承していくか検討していく必要があります。また、新しい地域コーディネーターや地域ボランティアの方々の発掘が急務です。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立平城東中学校運営委員会**

めざす子ども像　**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標　**知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動を子どもたちに！**

今年度の取組紹介

【本物に学ぶ　講師招聘事業】では、ICT 教育、性教育講演会、マナー講習会、面接体験、お箏の演奏鑑賞及び体験等の講師の方を招いて本物に触れることができました。

【地域に開かれた文化発表会・体育大会】では、地域と学校の取組を地域に発信する機会としました。体育館での各学年のステージ発表では、1 年、2 年は合唱を行い、3 年は沖縄を舞台とした学年劇を発表しました。各教室では科学部の実験や文芸部の作品展示や学年・教科の展示発表を行いました。体育大会では３年生をリーダーとして生徒全員が一致団結をして行うことが出来ました。

【地域防災訓練・クリーン作戦】では各地区の防災訓練に参加しました。災害が起こったときに自分の身を守りながら地域の一員として出来ることは何なのか考える機会をいただくなど貴重な体験が出来ました。
また、地域ボランティアの方と校区内のゴミ集め・清掃活動等のクリーン作戦を行いました。

今年度のまとめ

今年度も地域の活動に参加することによって、地域の一員としての自覚やふれあいを感じることができ、平城東中学校運営委員会の取り組みの目標である「知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動を子どもたちに」の実現に向けた取り組みを工夫しながら行うことが出来ました。

また、昨年度より参加した地域の防災訓練は、地域の一員としての自覚や誇りがもてるための良い経験でした。地域の方にも高評価をいただき、学校と地域の絆につながると思われます。

来年度に向けて

地域の活動に参加する生徒の数も増えてきており、地域に学ぶ活動も定着しつつあります。しかし、まだまだ積極性に欠けるところもあり課題は多いが、広報や参加しやすい環境を作っていく必要性があります。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立朱雀小学校運営委員会**

めざす子ども像　**自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標　**地域の方々に支えられていることを実感しながら，児童が主体的に学ぶことができるための環境整備と取組の充実。**

今年度の取組紹介

（１）　学習支援事業「楽しい理科実験教室」

「楽しい理科実験教室」では、平城ニュータウン楽しい理科実験研究会のみなさんの協力のもと、毎年楽しい実験(今年はトラス構造やふりこ等)を通して、理科のおもしろさを伝えています。

（２）　学習支援事業「おはなしの会」

図書環境整備事業「図書ボランティア」

朱雀小学校の図書室は、図書ボランティアのみなさんが作成した季節の掲示物でいっぱいです。すてきな環境や低学年を中心にした朱雀おはなしの会のみなさんの読み聞かせ活動により、読書好きな子どもたちを育てています。

（３）　学習支援事業「収穫祭」（２年）

収穫した「さつまいも」を使って、味噌汁を作りました。地域の方々の協力のもと、安全に楽しく取組を進めました。

今年度のまとめ

今年度の事業は、継続事業や新たな事業への参画と、臨機応変に対応いただき、子どもたちの学習活動や学校生活が地域のみなさんによって支えられて進めることができました。

今年度は、上記した理科実験やおはなしの会、近畿大学農学部からの出前授業、収穫祭等、学習支援事業で、子どもたちが楽しく安全に学んだり、学習に興味を持たせたりといった内容がより充実したように思います。

また、環境整備事業においても、環境ボランティアや図書ボランティアのみなさんの安全かつ整頓された環境づくりにより、子どもたちに学ぶ条件を整えてくださり、感謝しております。

来年度に向けて

新たな教育が増える昨今、地域の方々の智慧や技術、マンパワーのご協力をいただき子どもたちの学びがより深められるよう、また交流の中でさらに子どもたちが地域の中で生活していることを意識できるよう、これまでの事業・取組をさらに充実し、新たな取組の検討も進めていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立佐保台小学校運営委員会**

めざす子ども像　**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標　**学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたり、子どもたちが感動するような体験活動を通した魅力あふれる取り組みの継続と地域人材の活用・発掘**

今年度の取組紹介

○読書活動推進事業について

７月４日（木）に児童や教員、地域の方が参加して選書会を実施しました。児童は自分たちが読みたい本を選び、教員や地域の方は児童に読んでもらいたい本や読み聞かせに適した本を選びました。今年度もたくさん本を購入してもらいました。例年、新書については教員が棚卸までの作業を担っており、放課後や長期休業中などに集中してするため、実際児童の手に届くまで時間がかかっておりました。そこで、今年度は新たに図書ボランティアを募集して増員し、図書ボランティアの方に棚卸の作業をしていただきました。おかげさまで、児童の手に早く新書が届き、児童は大喜びで読書に対する興味・関心が高まったように感じます。また、通常の図書委員会の活動の補助や図書室の環境整備など、多岐にわたり子どもとともに活動していただき大変助かりました。

今年度のまとめ

学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長の支援にあたり、子どもたちは体験活動を通して多くの事を学ぶことができました。さらに地域とのふれあいを支援し、地域の人材を活用しながら連携を深めました。この取組により、自分たちが住む地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育っているものと思われます。様々な学習を通して、また、ふれあい学習や体験学習で、人との関わりや命の大切さを学びました。

来年度に向けて

様々な取組は長期的な視野に立ち、事業を継続的に行うことにより大きな成果が得られると考えます。来年度も活動内容の工夫・精選を検討し、本事業を継続していきたいと考えております。

具体的には、佐保台小学校としての学校支援ボランティアの仕組みづくりを行い、教職員とともに、教育活動に参画していただき、「チームとしての学校」を創り上げていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立左京小学校運営委員会**

めざす子ども像　**自信をもち何事にも挑戦する児童・生徒の育成**

取組目標　**地域との繋がりを意識し、豊かな感性と知識・技術を身につける。**

今年度の取組紹介

「名人さん大会」

第２学年を対象に、地域の方々が企画・運営する取組として、地域の方々と共に「名人さん大会」を行いました。

【こま回しグループ】

・昔遊びの代表的な遊びの一つとしてあげられる「こま回しグループ」では、ただ単にこまを回すだけではなく、手に乗せたりひもを伝わしたりして技術を学びました。

【囲碁グループ】

・初めて囲碁を触る児童に対して丁寧にご教授下さり、地域の方々と対戦をすることが出来るようになると白熱した時間を過ごすことができました。

【紙ルービックグループ】

・正方形の画用紙を張り合わせて作成するルービックでは自分が思うような色の組み合わせになるように果敢に挑戦する児童の姿がみられました。

【手芸グループ】

・ひもと布を使ってネックレスを作成した。自分自身を飾る、ネックレスだけに布の形や大きさにこだわる児童が多かったです。

今年度のまとめ

・　学校での授業を拡充できる活動や、教職員だけでは取り組めない内容の活動を、地域の方を学校に招聘したり、地域へ出て行って行ったりして実施することができました。

・　地域の大人の方々と接することによって、子どもたちのコミュニケーション能力、規範意識、防犯意識が高まりました。

・　コーディネーターや運営委員をはじめ、多くの保護者、地域のボランティア、社会福祉協議会、民生児童委員会等、様々な方々や団体の協力を得ることができました。

来年度に向けて

来年度も、基本的に今年度の事業の継続と充実を目指して取り組んでいきたいです。加えて、新しい事業や取組の企画について、地域の方々の声を生かしながら進めていきたいです。また、事業への参画や協力者が増えるように広報活動や啓発活動を活発に行いたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立朱雀こども園運営委員会**

めざす子ども像　**自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標　**地域とのつながりを大切にし、地域の方々やコーディネーターとの連携を図り、子どもの心動かせるような、感動体験ができるようにする。**

今年度の取組紹介

〈体操教室〉

子どもたちの体力の向上、体幹を意識した運動能力の向上を目的に講師の先生を招いて体操教室を行いました。飛ぶ等の簡単な動きからルールのある遊び、運動用具を使って運動する楽しさを存分に味わいました。その楽しい経験から、子どもたちは日々の遊びの中でも自ら体を動かし、意欲的に取り組んだり挑戦したりと体を動かす喜びを感じられるようになりました。

〈おもしろ不思議理科実験〉

地域の教育力を生かし、地域の『平城ＮＴ楽しい理科実験研究会』の方々に来ていただき、スモークマシンと段ボールを使ってドーナツ雲を作りました。段ボールのたたく速さや押し方によって形が変化することに「どうして？なぜ？」と科学の不思議さや驚きを感じ心揺さぶる感動体験となりました。

〈ＡＢＣで遊ぼう〉

英語に親しむというねらいを持ち、時期に応じたいろいろな言葉の発音図形、リズム遊び、絵本の読み聞かせなど体を動かしながら英語に触れることができ、意欲的に参加する姿が多く見られました。講師の方や友達と一緒に活動する楽しさを十分に感じることができました。

今年度のまとめ

ゲストティーチャーを招いての事業では、遊びの中から楽しく自然に専門的な知識を身に付けることが出来ました。また、環境ボランティアさんや地域の方との触れ合い、お話の会、高齢者の方との交流では、子どもたちの心が豊かになり、優しい心、思いやりの心、感動する心が育まれました。地域の方から「子どもたちの笑顔や言葉に元気をもらいました」という嬉しい声をいただき、地域とのつながりを感じました。

来年度に向けて

今年度の事業をさらに充実し、自信を持ち何事にも挑戦する園児を目指して、来年度も園・地域・保護者が一体となって互いに協力し合い、連携を密にして継続して事業を進めていきたいと思います。さらに各取組で学んだことや感動が日々の子どもたちの遊びにつながっていくよう工夫していきたいと考えます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立左京こども園運営委員会**

めざす子ども像 **自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標　**子どもたちが地域を知り、地域の人達との繋がりを意識すると共に、豊かな感性や様々な知識・技術を身につけて成長していける取り組みの充実を目指す**

今年度の取組紹介

◆お話の会

地域の読み聞かせのボランティアの皆さんにより、継続して行っている「お話の会」では、毎月実施したことで、期待を持ちながら落ち着いてお話を聞く態度が身についてきています。また、絵本コーナーにその日に読んで頂いた絵本を掲示することで、より興味を持って絵本を手にとる姿が増えてきています。また、絵本貸し出しを楽しみにする子どもも増え、お話が好きな子どもに育ってきていることが感じられます。

◆おもしろ理科実験

地域の「平城 NT 楽しい理科実験研究会」の方々に来園していただき、今年度も「おもしろ理科実験教室」を実施しました。空気の流れにボールを浮かせたりキャッチしたり、牛乳パックを使った跳ねるおもちゃを作って遊んだりし、身近なもの使っての体験に改めて科学の不思議さやおもしろさに触れることができる貴重な体験となりました。

◆左京の森での芋ほり体験

今年度も左京グリーンサポートの皆さんのお力をお借りし、さつま芋のつる植えから収穫までの貴重な体験をさせていただくことができました。
共に活動してくださり常に見守りお世話してくださることに親しみを感じると共に感謝の気持ちを持つことが出来ました。

今年度のまとめ

○　計画的に継続して地域の方々と関わる機会をもってきたことで、地域の方々への親しみが増し子ども達からは、「楽しかった」「また、やってみたい」の声も聞かれ、交流の場に期待しながら参加し、次回を楽しみにする姿へとつながってきています。

○　地域の方々との心を動かす様々な体験の中で、温かい雰囲気や眼差し、言葉がけ等の優しさに触れ、人とかかわる心地よさや感謝の気持ちを持つことができました。

来年度に向けて

○　継続して地域の方々とかかわることで、園児の経験や体験を広げることができ、親しみも深まっていくので、来年度も継続して事業を進めていきたいと考えています。

○　地域の教育力を最大限に活かせるように情報収集に努め、無理のないよう保育に取り入れながら、園児の豊かな経験につながるようにし、地域に根差したこども園を目指していきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**月ヶ瀬中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見をしっかりと語れる子ども**

取組目標　**歴史・人・自然・もの‥未来につなげる　ＥＳＤ！**
ふるさとに夢と誇りを持とう‥故郷の良さを発見！　ふるさとの良さを発信！
ふるさとの文化をつないでいこう！地域ぐるみで特産品を作ろう！

今年度の取組紹介

２４年目が終わる「アルミ缶回収活動」は、当時の中学校生徒会の呼びかけで始まりました。今では地域福祉協議会、ボランティア愛歩２１、地域住民、学校が一つになり継続して実施しています。今年は、６台の車いすを寄贈することができ、これで今までに寄贈した福祉機器は１３２台になりました。この取組は環境保全の面でも認められ、今年度はきれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会と第２０回環境美化教育優良校等表彰の２つの大きな表彰をしていただきました。

８月１日には交流のつどいｉｎ月ヶ瀬を開催、地域、学校が一体となって準備に取り組み、当日は地域・教職員など３４６名もの方に来ていただき、素晴らしい交流ができました。参加者の方にも月ヶ瀬の魅力を肌で感じていただく良い機会となりました。

さらに今年は、公民館等社会教育との連携し、烏梅を使った紅花染めなど地域の特産物の商品化の可能性にも挑戦しました。パッケージのデザインのアイディアを児童生徒が考えたり、地域と学校が一緒に紅花染め商品を作ったりし、月ヶ瀬梅渓早春マラソン時には外部に向けて発信ができました。

☜令和元年８月１日に開催された「交流のつどいｉｎ月ヶ瀬」

☞地域、学校が一緒になって取り組んだ「紅花染め」

今年度のまとめ

今年度はまず大きな成果として２点挙げることができます。まず一つめは交流のつどいｉｎ月ヶ瀬を開催することができたこと、二つめはアルミ缶回収活動が環境美化の面からも評価をしていただいたことです。どちらも地域として大きな自信と励みとなりました。今後もこのような機会があれば、積極的に取り組んでいきたいと思います。

また、地域・学校が一体となって商品化や広く発信していくための仕組みとして、公民館などの社会教育との連携に取り組み始めたことも成果といえます。今年度は小さな一歩を踏み出したに過ぎないかもしれませんが、これまでの取組をさらに発展させる新しい試みとして来年度も取り組み、広く発信していきたいです。

来年度に向けて

来年度は、今年度から取り組み始めた公民館等の社会教育との連携し地域の特産物を生かした商品開発体制の充実を図ることと、キャリア教育の充実のための体制づくりが課題と考えています。学校ではふるさと学習など力を入れて取り組んでいます。その取組で生まれたアイディアを具現化し、地域の活性化アピールにつなげていきたいと思います。

また、月ヶ瀬は非常に人材にも恵まれています。広く活躍する人材などとつなぐ体制をつくり、キャリア教育をより豊かで充実した学習にする支援体制の構築にも努めていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**月ヶ瀬中学校運営委員会**

めざす子ども像　**ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見をしっかりと語れる子ども**

取組目標　**「ふるさとに夢と誇りを持とう」ふるさとの支援を受けながら、郷土愛を育て、ふるさとを守り、未来につないでいく生徒の育成**

今年度の取組紹介

本校では自分たちの暮らす地域をより深く知るためにふるさと学習に力を入れています。各地区を巡り、歴史や伝統を学ぶふるさと Walk、職場体験学習、梅干しづくり、地域花いっぱい運動、闘茶会、紅花染体験、奈良晒体験、地域清掃、梅林清掃への参加など多くの活動に取り組んでいます。

今年は新たな月ヶ瀬を知ろうと、梅やお茶以外にそうめんやはちみつ、豆腐など製造に携わっておられる方を中心に訪ね、思いや願いを知る学習にも挑戦しました。

ふるさと学習の集大成は９年生が取り組んできた「月ヶ瀬中学校観光戦略課」の活動や今年から取組始めた月ヶ瀬の特産品を生かした商品開発で発信します。今年も、地域の方の協力を得て、近鉄奈良駅前で月ヶ瀬を大いにＰＲすることができました。

茶業振興会の方の指導による「闘茶会」

こ小中合同で実施
梅の実採り

今年度のまとめ

ふるさと学習を通して、故郷を発見、故郷の良さを発信、故郷の文化をつなげたと考えています。また、ふるさとの抱える課題にも目を向けることができ、新しい試みにつなぐことができました。

本校の伝統でもあるアルミ缶回収活動」は、今年で２４年目になりました。今年度は「きれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会」と「第 20 回環境美化教育優良校等表彰　優秀校」の２つの大きな表彰を受けました。福祉だけでなく、環境面でも貢献できたと評価していただけたと思います。

９年生がおこなった近鉄奈良駅前で月ヶ瀬ＰＲ活動も、生徒だけではなく地域の様々な方が関わっていただき、メディアでも紹介され、成果を挙げることができたと思います。

来年度に向けて

少子高齢化の進むへき地であるが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。こども園・小中学校の子どもたちを地域ぐるみで育てる良い環境を今後も継続して構築していきたいと考えます。アルミ缶回収活動も継続して取り組んでいきたいと思います。また、広報活動に重点を置き若い世代の取り込みを積極的に進めていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**月ヶ瀬小学校運営委員会**

めざす子ども像　**ふるさとに夢と誇りをもち、自分の意見をしっかりと語れる子ども**

取組目標　**伝承芸能の継承、梅・お茶に関連した体験学習、万年青年クラブとの異世代交流など他校区にない特色ある活動を通して、ふるさとに誇りをもち大勢の前で発表したり、発信したりすることができる力。**

今年度の取組紹介

月ヶ瀬小学校で取り組む地域学習は、地域の方々に支えられて成り立っています。例を挙げると、1・2 年生では生活科の昔遊び、3 年生のお茶の学習、4 年生の地域の産業、5 年生は尾山万歳、6 年生では狂言を学びます。これらの良き先生となってくださるのが、地域の方々です。

子どもたちは、自分たちの暮らす地域の生活文化や習慣、産業、伝統文化まで幅広く月ヶ瀬を学んでいます。6 年生になると、月ヶ瀬地域を活性化するにはどうすればよいかをテーマに、自分の考えをまとめ、発表します。

発達年齢や教科・領域などの学習との関連も考慮しながら、子どもたちは無理なく、自然と月ヶ瀬を深く知り、故郷を思う気持ちを醸成させています。

この学びはやがて中学校での学びにつながり、さらに発展、発信へと深化していきます。これからも自分たちの地域を見つめ、深めていく取組を続けていきたいと思います。

☜ 保存会の方による尾山万歳の指導

☞ 茶業振興会の方による手もみ茶体験

今年度のまとめ

小学校における学習活動は、学びの基礎基本が中心であり、しっかりとした礎を作ることが大切だと考えています。本校の場合、地域で唯一の学校であり施設一体型の小中一貫教育校という特性を生かすために、小学校ではこれまで取り組んできた地域学習に基盤を置き、取り組んでいます。

今年も多くの地域の方々にご指導をいただき、月ヶ瀬の良さや課題を知ることができました。学びながら、月ヶ瀬の伝統芸能や文化の継承者として、次の世代をつないでくれるようこれからも取組を続けていきます。

来年度に向けて

指導してくださる地域の少子高齢化が進み、伝統芸能や文化の継承が危ぶまれるようになってきています。伝統芸能や生活文化を継承する人材の確保が難しい中、どのように続けていくかを地域も学校も考えていく必要が出てきています。

たいへん難しい課題ではありますが、子どもたち自身がそれらを継承していく自覚が育つように、これからもしっかりと取り組んでいきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立月ケ瀬こども園運営委員会**

めざす子ども像　**ふるさとに夢と誇りを持ち、自分の意見をしっかりと語れる子ども**

取組目標　**地域との繋がりを大切にして地域に親しみ、地域の産業に触れ、興味関心を持つ。**

【今年度の取組紹介】

・夏野菜の苗植え

地域の方と一緒にキュウリ・オクラ・トマト・ピーマンカボチャ・スイカパプリカを植えました。植え方や水やりにし方、カバーの掛け方など教えてもらい、優しく植え、毎日水やり頑張りました。

・茶工場見学・陶芸体験・さくらんぼ狩り。

例年より、工場見学や陶芸体験の他に地域の方にお誘いいただき、さくらんぼ狩りにも行きました。さくらんぼの取り方を教えてもらいたくさん頂きました。

・染物体験

今年は、お茶と、身近な園庭に咲いているしろつめ草を、染めました。タペストリーにしたり、運動会の演技に使いました。

・梅とり、お茶会、お茶摘み。

小中学校のお兄さん、お姉さんと梅とりに行き、優しく取り方を教えてもらいました。お茶会、お茶摘み、お茶もみもしました。お茶を摘んで揉んで作ったお茶を飲みました。お茶会では、月ヶ瀬のお茶を１番・２番・冷茶と３回味わいました。

【今年度のまとめ】

地域の方の協力のもと、地域散歩などで地域に出かけ地域の方や月ケ瀬の特産物に関わり、いろいろな発見に驚き、楽しい経験が出来、得るものが多くありました。福祉センターや香梅苑での交流でお年寄りの方に園の子ども達の様子を知ってもらい楽しいひと時を過ごすことでかわいいなあとすごく喜んでもらいました。子ども達も肩を叩いてあげたりして普段できない経験をしました。又、お茶の季節が過ぎても散歩に行くと茶山を見てお茶の思い出話をしていました。自分達が住んでいる地域に関心を持ち親しむ機会となりました。

【来年度に向けて】

様々な経験で得たことを次年度に生かせる様に又、目標に向け子ども達がさらにいきいきと活動できるように、事業内容を検討し進めていきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**都祁中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**ふるさとでの学びを誇りに**

たくましく未来を切り拓く　都祁の子

取組目標　**中学校が積極的に地域と関り交流することで，連携・協働する取組の開発と充実。地域・保護者・各種団体の参画への働きかけ。**

今年度の取組紹介

規模適正化による４小学校の統合再編から３年が経過し，これまで，地域・保護者・学校が一体となり取組むことができるように，事業内容の見直しをすすめてきました。今年度は，公民館等の社会教育施設・各種団体との連携を深めることができ，各事業を行うにうえで，子どもの実態や課題を地域全体で共有しながら子どもの教育の臨むという意識が高まっています。

中学校区では，キャリア教育を柱として教育に取り組んでおり，こども園・小学校・中学校で地域から学ぶ計画を組み，このことで園児・児童・生徒の地域への理解と愛着がさらに深まったと考えます。また，地域への理解が深まったことで，都祁地域の良さをアピールするためにプレゼンテーション資料を作成したり，災害時に地域に貢献しようと積極的に防災学習に取り組むことができました。

今年度のまとめ

今年度も，コーディネーターや委員を中心として，多くの地域の方々からのご協力をいただき，各事業を進めることができました。

都祁中学校区では，こども園・小学校・中学校が近距離に位置していることから，今年度も各事業を通じて園児・児童・生徒や保護者・地域の交流が進んだと考えます。また，教職員間の連携も深まり，学習の連続性や系統性を意識しながら，中学校区全体で学びを深めることができました。

来年度に向けて

今年度の取組を基本に据えながら，事業により多くの地域の方々に関わっていただけるよう，更なる活動内容・計画の見直しを行っていきたいと考えます。そのためには，コーディネーター会議の定期的な開催を通じて，地域の子どもの現状と課題の把握につとめ，問題解決に向けた取組を共通理解しながら進めていきたいと考えます。

令和元年度　取組報告　　**都祁中学校運営委員会**

めざす子ども像　**ふるさとでの学びを誇りに**

たくましく未来を切り拓く　都祁の子

取組目標　**中学校が積極的に地域と関わり交流することで，連携・協働する取組の開発と充実。地域・保護者・各種団体の参画への働きかけ。**

今年度の取組紹介

○「第４０回都祁高原マラソン」への参加

地域で実施されている最大の行事である『第４０回都祁高原マラソン』に全校生徒が参加しました。今年度で都祁マラソンへの参加は３回目を数えますが，今回は，大会スタッフとしてだけでなく，競技にも出場しました。大会準備にあたっては「式典会場の背景パネルの制作」や「会場周辺の清掃活動」を行い，当日は，「選手受付」「参加賞配布」「表彰式補助」「選手誘導」など，地域の方々と共に大会運営に取組みました。

全国より約１５００名の参加者を迎えての大会に地域の一員として参加しましたが，参加者や地域の方々より温かいお礼の言葉をいただき，都祁地域の一員としての誇りを再確認することができました。また，昨年度に引き続き『はるかのひまわり絆プロジェクト』として、神戸の震災にゆかりのあるひまわりの種も配布することで，命の大切さや防災についての学習も深めました。今年度は，中学校だけでなく，こども園・小学校とも協力して取組み，例年以上に充実した機会となりました。

【今年度のまとめ】

都祁高原マラソンへの取組に加え，「生け花教室」「郷土料理教室」「箏曲指導」「エイサー教室」などでは，地域の方々を講師にお迎えして専門的にご指導いただく地域交流会を開催し，学びを深めることができました。また，放課後に行われた「数学教室」では，学習内容を基礎から丁寧に振り返ることで，学力の向上につなげることもできました。

このように，地域より温かくご支援いただけることは，日々の教育活動において，大きな助けとなっています。

【来年度に向けて】

今年度も，多くの地域の方々のご協力によって事業を進めることができました。今後は，さらにより多くの方々に積極的に運営委員会の活動に関わっていただけるよう，事業内容の工夫や運営方法の改善を図り，学校や地域の活性化につなげていきたいと考えています。

令和元年度　取組報告　　奈良市立都祁小学校運営委員会

めざす子ども像　ふるさとでの学びを誇りに　たくましく未来を切り拓く　都祁の子

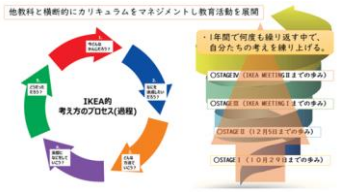
取組目標　**郷の良さを愛する心、協力し合える力を育むと同時に、自分には自分を必要とする仲間がいると思える『自己有用感』の芽生えと、自尊感情の高揚につなげる**

今年度の取組紹介

都祁の郷は豊かな自然や、三陵墓や御祭に関係する神社等、興味深い地域遺産が多く存在する地域である。しかしながら、過疎化が進み、統合再編からの２年間は新しい環境に入り込めず、自尊感情が高まらない傾向にありました。そこで、まずはポジティブに物事を捉えられる機会を教育活動の中で展開していきたいと考えました。ボジティブに捉えられる機会とは、持続可能な社会として『くらしの向上』を考えるとともに、自分たちの郷の良さをブランディングしていけば良いのかを考える教育活動のことです。この活動をもとに、従来地域の方々と行ってきた“ふるさと学習”を系統立てました。

例を挙げると、３年生では従来行ってきた“蚕の学習”の学びを通して、歴史等を様々なことを学ぶと同時に、SDGs 視点（つくる責任・つかう責任）で、服のリサイクル等を学び、他校への発信（都（MIYAKO)未来会議サミット）を行いました。その際にも地域のコーディネーター方々にインタビューをしたり、講座を開いていただいたりしました。

また５年生でも、IKEA さんの協力のもと、自分たちの郷の良さをブランディングする活動(起業体験学習：文科省事業)を行いました。従来の世界遺産学習とは違い、何度も PDCA サイクルを繰り返せる“学びのフィールド”を、カリキュラムマネジメントし、探究的な学びを展開した。その中でも、地域のコーディネーターの方々にインタビューをしたり、講座を行っていただいたりしました。



今年度のまとめ

田植えや稲刈り、野菜の栽培等の体験は恒例の事業となりつつあります。また、各学年のカリキュラムを系統立て地域を知る学習に取り組めることを意識した学習を行った結果、学校アンケート「地域の行事に参加していますか」において 81.5%もの児童が肯定的に答えました。また、こうした学びの構築は子どもたち同士のつながりをアカデミックな環境において学びの獲得を有することから「学校が楽しい」の回答において“とても思う”の数値が昨年より 50%も上回り約 50%に達しました。

来年度に向けて

６年間の学びの中で、多くの地域の方と関わりながら、地域が「継承してきた宝物」を題材に「くらしの向上」を「提案」出来る力を育んでいきたいです。そのために引き続き、地域との関り、地域の「くらしの向上」（地域創生）のために自分自身がどのように関わることが出来るのかを、どのように地域の方々の力を借りながら進められるかを、学校全体で考え、適切な形で教育活動に組み入れていきたいです。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立都祁こども園運営委員会**

めざす子ども像　**ふるさとでの学びを誇りに**

たくましく未来を切り拓く　都祁の子

取組目標　**地域とのつながりを感じながら、心豊かで、生き生きと生活する子どもの育成**

今年度の取組紹介

○文化体験事業で、地域の剣道クラブの方に来ていただき剣道体験をしました。座礼(挨拶)から始まり、剣道についての話や気をつけなければいけないことなどを聞きました。それから、ラダートレーニングや新聞切り、面を打つ体験をしました。大きな声で「めん！」「こて！」と言いながら打突をし、思い切り竹刀を振りました。剣道の先生方による技の見本も見せていただき、その迫力に子ども達はびっくりし一瞬シーンとなりその後大きな拍手が沸き起こりました。最後もきちんと正座をし、礼で終わりました。なかなか経験できない伝統文化に触れ、立ち振る舞いや礼儀の大切さなどを知るよい機会となりました。

○文化体験・環境整備事業で地域の方々に来ていただき、花や野菜を植えました。「穴を掘って、苗のおうちをつくるよ」と教えていただき、子ども達は「早くトマトできるかな？」「どんなお花咲くかな」「楽しみだな」とワクワクしながら取り組んでいました。また、育てていく中でわからないことがあると「畑の先生に聞いてみよう」と畑の先生が来てくれることを楽しみにしていました。地域の方々と触れ合うことで、親しみや感謝の気持ちが自然と培われてきました。

今年度のまとめ

地域の方々の協力のもと、おはなしのひろば・生け花・茶道・剣道体験・地域の行事への参加等、園だけでは経験できない様々な豊かな経験、感動体験ができました。また、地域の方々にあたたかく見守られ声をかけていただくことで、自分の住んでいる地域の方々や地域の行事に関心をもつようになりました。地域の方との出会いを通して、人とかかわる経験を積み重ねることができ、地域の方への親しみや感謝の気持ちを持つとともに、ほめてもらったり認めてもらったり大きな拍手をもらったりすることが、子ども達の自信や意欲にもつながりました。

地域や保護者の方々には、子ども達の様子を見ていただくことができ、園の教育・保育を理解していただくとともに、１年間の成長を感じてもらうことができました。

来年度に向けて

地域の方々の協力を頂きながら、その中で、地域の方とのつながりを感じ心豊かで生き生きと生活できる子どもをめざして、様々な感動体験ができるように取り組んでいきたいと思います。

令和元年度　取組報告　　**富雄第三中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像　**地域を愛し、思いやりのある子ども**

取組目標　**学校園と地域人材との連携協働の充実**

今年度の取組紹介

＊絵本の読み聞かせ

今年度、初めての企画として、ボランティアのみなさんによる絵本の読み聞かせを実施しました。週１回水曜日の朝読書の時間（8：25～35）に小学部 1～3 年生の教室に入って絵本を 1～2 冊読んでいます。

1 人で教室に入って読むのはとても不安というボランティアの方の為に、先ずは見学して頂き、本の読み方や選び方の講習会を開くなど工夫しました。

読み聞かせを始めた当初こそ落ち着かない子どももチラホラいましたが、回を重ねるごとにボランティアの方が来られるのを待ちわびる様子が見られたり、『もう 1 冊読んで欲しい！』と言う声が聞こえてきたりして、ボランティアのみなさんの喜び、楽しみにつながっています。

＊図書のクリーニング、修理、カバー付

以前から行っていた活動ですが、子どもたちに特に人気のある本の傷みが激しいこともあり、奈良市の図書館司書の方や本の修理の経験のある方から簡単な修理の仕方を教わり、本のクリーニングに併せて行いました。今年度は、延べ 120 名程のボランティアが参加して下さり、約 700 冊の本がクリーニングや修理をしてカバーを付けて綺麗になりました。

今年度のまとめ

以前より、ボランティアのみなさんから『 もっと子どもたちと関わりたい。』 と言う声があり、直接子どもたちとふれあえる絵本の読み聞かせを始めました。

先生方から『自分たちが読む時と子どもたちの表情が違う。』との声や、ボランティアのみなさんから『子どもたちが顔を覚えて話し掛けてくれるのが嬉しい。』などの感想を頂きました。

また、絵本の読み聞かせ活動に 10 名の新規ボランティア登録があり、地域のみなさんが学校園に関わる良いきっかけになっています。

来年度に向けて

・読み聞かせを通して、新規ボランティアの発掘や育成に努めるとともに、引き続き学校園と地域の方々とのつながりを深めたいと考えています。

・来年度は開校 10 周年を向かえるにあたり学校園と連携し活動を充実させ、さらなる発展につなげていきたいと思います

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄第三中学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域を愛し、思いやりのある子ども**

取組目標　**地域の教育力を生かした幼小中連携教育**
―豊かな心を育み、たくましく生きる児童の育成―

今年度の取組紹介

昨年度に引き続き、学校の教育活動全般にわたって地域の皆さんと生徒との交流がさかんに行われました。新しい取り組みである、熟練者による読み聞かせ講座には、図書委員会の生徒たちが参加し、これまでも行ってきた小学生への読み聞かせの技術をさらにアップグレードすることができました。

また、地域の方とともに行う環境整備活動や、さまざまな授業や放課後学習へのご支援、部活動中の見守りなどをしていただいて、生徒たちの学習活動、学校生活がいっそう充実したものになりました。

生徒たちも、自分たちが暮らしている地域への理解を深めるとともに、地域の皆さんとのつながりをいっそう深めることができました。

今年度のまとめ

今年度、中学生を対象に、ボランティアによる「読み聞かせ講座」を取り入れました。子どもたちが読書に興味を持つきっかけとなる読み聞かせ、ボランティアの方だけではなく、中学生が小学生に読み聞かせるという、開校当初から続く本校の伝統をさらに充実、発展させる取り組みです。これまで、中学生の活動を支援する、という形での支援をいただくことが多かったのですが、中学生に直接指導していただくという形でのご支援をいただけたことは意義深いことで、今後も発展的に継続していただけることを期待しております。また、学習支援、キャリア教育への支援の他、部活動の見守り活動等にも、多くのボランティアが参加してくださっています。特にキャリア教育への支援においては、職場体験学習の事業所開拓のみならず、事業所と学校とをつなぐはたらきを強化していただき、より充実した職場体験学習とすることができました。

来年度に向けて

各活動が学校の教育課程にどのように位置づけられるかをしっかり意識し、ねらいに沿った活動を設定する必要があります。そのために今後も、めざす子ども像を学校と地域が共有し、学校もボランティアもともに「良かった」と思えるよう工夫改善を進めていくことが大切だと考えています。「とみさんボランティア情報」と「ボランティアカレンダー」の配布等による広報を継続しながら、学校と地域が連携をより密にして、子どもとおとなが協力・協働する場を模索し、おとなも子どもも自分たちが「地域の中で役に立っている。」と思えるような取組にしていくために力を注ぎます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄第三小学校運営委員会**

めざす子ども像　**地域を愛し、思いやりのある子ども**

取組目標　**地域の教育力を生かした幼小中連携教育**
―豊かな心を育み、たくましく生きる児童の育成―

今年度の取組紹介

昨年度に引き続き、地域の皆さんと児童との交流が盛んに行われました。今年度新たに、定期的に朝読書の時間に地域の方による読み聞かせを行っていただきました。

また、地域の方とともに行った環境整備活動の他、さまざまな授業や活動で見守りや支援をいただき、子どもたちの学習活動が大変充実したものになるとともに、子どもたちも自分たちが暮らす地域への理解を深め、地域の皆さんとのつながりを深めることができました。

毎日の登下校時の安全見守りや、JA の協力を得てのバケツ稲作り、地域を知る学習、障害者理解の授業での盲導犬とのふれあい等、地域の方のご協力により、豊かな体験を積み学習内容が深まりました。

今年度のまとめ

今年度、地域のボランティアによる朝の読み聞かせを取り入れ、子どもたちはお話を楽しみ読書への興味が高まりました。お話を楽しむだけでなくボランティアの方に来校してもらい、出会えること自体を楽しみにしている様子の子どももいました。読み聞かせ本のリストを作成し、選書の工夫をしていただき、国語科の学習との連携も図りました。地域の方とともに読み聞かせについて学んだ中学生たちが小学生へ読み聞かせを行い、小中一貫としての取組が豊になりました。

これまで継続してきた環境整備支援、読書活動推進、学習支援、キャリア教育への支援の他、部活動の見守り活動等にも、多くのボランティアが参加してくださっています。子どもたちと地域の方々とが出会い、ふれあい、多くの経験をすることで、大人も子どももこの地域の中での存在意義を強く意識することができました。

来年度に向けて

各活動が学校の教育課程にどのように位置づけられるかをしっかり意識し、ねらいに沿った活動を設定する必要があります。そのために今後も、めざす子ども像を学校と地域が共有し、学校もボランティアもともに「良かった」と思えるよう工夫改善を進めていくことが大切だと考えています。「とみさんボランティア情報」と「ボランティアカレンダー」の配布等による広報を継続しながら、学校と地域が連携をより密にして、子どもとおとなが協力・協働する場を模索し、おとなも子どもも自分たちが「地域の中で役に立っている。」と思えるような取組にしていくために力を注ぎます。

令和元年度　取組報告　　**奈良市立富雄第三幼稚園運営委員会**

めざす子ども像　**地域を愛し、思いやりのある子ども**

取組目標　**地域の教育力を生かした幼小中連携教育**
―豊かな心を育み、たくましく生きる幼児の育成―

今年度の取組紹介

お茶会

地域在住の茶道の先生に来ていただき、お点前の仕方や立ち居振る舞いだけでなく掛け軸や季節の花などを通して日本古来からの伝統文化に触れることができました。また、地域の交流会においても保護者や地域、異校種などたくさんの方々にお抹茶を点てる貴重な体験ができました。そして、お茶会を通して「五つの心」（思いやりの心・やさしい心・感謝の心・譲り合いの心・美しさにふれる心）を養うことができました。

わくわく農園（畑・菜園活動）

望ましい食生活を送ることが困難になっている現代、保護者及び子どもたちへの食育活動の一環として、畑に詳しい地域在住の方にご指導いただき、わくわく農園の栽培活動に取り組んできました。わくわく農園を通して地域の方とのふれあいを楽しみ、食物を育てて収穫をする楽しさや調理をして食する喜びを味わい、生命を大切にする姿が見られるようになりました。

今年度のまとめ

・地域の方々や保護者に協力していただき、様々な事業に取り組む中で、子どもたちは、たくさんの感動体験を味わうことができました。その中で、「楽しかったね。」「もっとやってみたいなぁ。」と次につながる意欲が生まれてきました。

・地域の行事に参加することで、幼稚園の子どもたちのことを広く地域の方々に知ってもらえる機会になりました。また、小中学校、奈良西養護学校、未就園児、保育園との交流、近大生や一人暮らしの方など様々な人とのかかわりを重ねることにより、自分の住んでいる地域が大好きになり、その中でやさしさや思いやり、相手の気持ちに気付く心が育ってきました。

来年度に向けて

・園児が減少していく中、地域の支援や保護者の協力をいただきながら、様々な人とのかかわりを大切にし、コミュニケーション能力の向上に努めていきたいと思います。また、運動能力を高めたり、創造力を豊かにしたり、人を思いやる気持ちを育んだりしていくために、多様な経験を多く取り入れていきたいと思います。